

現場説明事項

工事名称 市立諏訪小学校トイレ改修工事（第2期工事）

担当部署 総合政策部 管財課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、市立諏訪小学校のトイレを改修する。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事は目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2に基づき、受注者は特別管理産業廃棄物管理責任者を選任すること。
- 3) 令和2年8月20日までに現場使用前検査を受け、令和2年8月25日（始業式）には使用できるように、引渡しをすること。
 - ・令和2年6月15日より施工可能とする。
 - ・令和2年7月20日（終業式）以前のアスベスト除去工事は、騒音の関係上、学校休業日におこなうこと。
 - ・主な工事の施工期間は、学校の夏季休業期間とすること。
 - ・令和2年9月18日までに竣工検査をおこない引渡しを完了すること。
- 4) 降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 5) 駐車スペースは、教職員も使用するため、工事車両5台・廃材コンテナ・現場事務所等程度とし、関係者（監督員・教育委員会・学校関係者）と協議し設置すること。
- 6) 仮設については、周辺施設、住民等に十分注意し、安全を確保すること。
- 7) 工事中の騒音・振動等の防止に努めるとともに、指定場所以外に車両等を駐車しないこと。
- 8) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 9) ホルムアルデヒド等有害化学物質の発生材は、MSDS（化学物質安全データシート）等を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。
- 10) 提出書類については、富士見市様式で遅滞なく提出すること。
- 11) 竣工図は、監督員と協議の上、CADデータを作成すること。

参考資料

設 計 仕 様 書

工事名称 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)

工事場所 富士見市 大字鶴馬 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

令和2年2月14日付国土交通省公表の労務単価適用

工事名称		市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)																						
請負工事費																								
工事概要		管理棟トイレ改修 建築:床・壁・天井の内装改修 電気:照明器具の改修 機械:衛生器具・設備配管の改修																						
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総括表</td> <td>上段</td> <td>設計変更</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>摘要</td> <td>数量</td> <td>単位</td> <td>金額</td> <td>下段</td> <td>原設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>備</td> <td>考</td> </tr> </table>					総括表		上段	設計変更	名称	摘要	数量	単位	金額	下段	原設計						備	考		
					総括表		上段	設計変更																
名称	摘要	数量	単位	金額	下段	原設計																		
					備	考																		
直接工事費																								
建築工事		1	式																					
電気設備工事		1	式																					
機械設備工事		1	式																					
計		1	式																					
共通仮設費		1	式																					
純工事費																								
現場経費		1	式																					
工事原価																								
一般管理費		1	式																					
工事価格						スクラップ控除前 スクラップ控除																		
改め																								
消費税相当額		1	式			10%																		
請負工事費																								

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	倉庫、下小屋、現場事務所 作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率) + (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0				
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	共通仮設費	積上げ分					
	交通誘導員 B	35人	1.0	式			
	A - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B	直接工事費						
I	建築工事		1.0	式			
II	電気設備工事		1.0	式			
III	機械設備工事		1.0	式			
	B - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
I	建築工事費												
1	仮設工事			1.0			式						
2	建具改修工事			1.0			式						
3	ガラス工事			1.0			式						
4	内装改修工事			1.0			式						
5	金物工事			1.0			式						
6	防水工事			1.0			式						
7	塗装改修工事			1.0			式						
8	雑工事			1.0			式						
9	撤去解体工事			1.0			式						
	I - 計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	仮設工事												
	墨出し(内部改修)												
		個別改修		173.0		m2							
	養生(内部改修)												
		個別改修(床)		399.0		m2							
	内部足場												
		脚立足場		204.0		m2							
	整理清掃片付(内部改修)												
		個別改修(トイレ、廊下、階段、教室)		572.0		m2							
	引き渡し前 床ワックス掛け												
		水性 (材工共)		173.0		m2							
	仮設間仕切り												
		LGS 石膏ボード片面 B種		48.5		m2							
	1 - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	建具改修工事					
	AW-1	830×815+465 カバー工法 既設撤去	8.0	箇所		
	TB-1	4,120×1,900×40	1.0	箇所		
	TB-2	955-1415-1,100×1,900×40	1.0	箇所		
	TB-3	630-730×1,900×40	1.0	箇所		
	TB-4	6,025-890×1,900×40	3.0	箇所		
	TB-5	900-1,330-1,213×1,900×40	3.0	箇所		
	PT-1	775×1,900×50	3.0	箇所		
	PT-2	1,575×1,900×50	3.0	箇所		
	PT-3	1,175×2,450×50	3.0	箇所		
	PS点検口	500×700	6.0	箇所		

積算用紙

							上段	変更設計
							下段	原設計
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
	2 - 小計							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	ガラス工事						
	型板ガラス						
		強化t4.0 ガスケット 両面清掃	5.6	m2			
	3 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	内装改修工事					
	床					
	カチオンタイト塗布	113.0	m2			
	レベラー塗布	セメント系 109.0	m2			
	抗菌防滑性ビニル床シート	t2.0 141.0	m2			
	床シート施工費	141.0	m2			A代価-1
	モルタル塗り	t20 3.3	m2			
	腰壁					
	LGS65	@450 材工 28.1	m2			
	耐水合板	t12 材工 28.1	m2			
	化粧ケイカル板	t6.0 材工 27.1	m2			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ホ°ストフォームカウンター						
	VPA W2,410×D150×t20	8.0	本			
カウンター取付費						
		19.3	m			
ホ°ストフォームカウンター						
	VPA W1,820×D150×t20	2.0	本			
カウンター取付費						
		3.6	m			
塩ビ製巾木						
	H65	15.4	m			
壁						
カチオンタイト塗布						
		273.0	m2			
耐水石膏ボードGL工法						
	t12.5	287.0	m2			
化粧ケイカル板						
	t6.0	280.0	m2			
LGS65						
	@450	16.4	m2			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製枠						
	30×45 スプルー	35.9	m			
モルタル塗り						
		7.5	m2			
廻縁						
塩ビ製						
		185.0	m			
天井						
LGS19型						
	@300	146.0	m2			
化粧吸音石膏ボード						
	t9.0 不燃	146.0	m2			
4 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	金物工事						
	平付けピクトサイン	150×150	6.0	枚			
	突き出しけピクトサイン	150×150	2.0	枚			
	モップハンガー	3本掛け	8.0	台			
	モップハンガー取付費		10.0	箇所			A代価-2
	掃除用具入れ	500×1,900×600	4.0	箇所			
	天井点検口	電気設備工事用含む アルミ製 450角	11.0	箇所			
	床点検口	アルミ製 600角 鍵付	1.0	箇所			
	5 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	防水工事						
	建具廻りシーリング						
		MS-2 10×15程度	75.2	m			
	内部シーリング						
		MS-2 10×10程度	105.0	m			
	6 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	塗装改修工事												
	EP-G塗装												
		木枠	細幅	糸幅100程度	35.9		m						
	EP-G塗装												
		木枠塗り替え	細幅	糸幅200程度	35.9		m						
	DP塗装												
		PS点検口	錆止	1級	2.1		m2						
	EP塗装												
		モルタル面塗り替え			81.8		m2						
	7 - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	雑工事						
	床コンクリート塞ぎ						
	型枠	普通合板材、型枠（材工共）	7.3	m2			
	〃	同 運搬費	7.3	m2			
	コンクリート	生コン N24 スランプ18 小型車	1.6	m3			
	ポンプ車	打設手間共	1.6	m3			
	差し筋アンカー	横向き	108.0	本			
	鉄筋	D10 小口	17.4	kg			
	運搬、組立費	土間	1.0	式			
	土間金ゴテ押え		3.0	m2			
	8 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	撤去解体工事					
	撤去解体					
	床ハツリ					
	人研ぎ見切り	0.7	m2			
	床ハツリ					
	RCスラブ(鉄筋残し)	0.6	m3			
	床長尺					
		23.7	m2			
	床点検口					
	500φ 鋳鉄	1.0	箇所			
	腰壁					
	CBライニング、人研ぎカウンター	4.2	m3			
	壁					
	CB	23.3	m3			
	壁					
	モルタル、タイル部溝ハツリ	43.2	m			
	木製壁					
	仕上げ共	13.7	m2			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製建具		13.0	m2			
天井	鋼製天井	150.0	m2			
トイレブース、パーテーション		102.0	m2			
人研ぎ流し		44.6	m2			
腰壁タイル	浮き部分のみ	1.0	式			
積込運搬費						
コンクリート類	2tダンプ 人力積込	72.9	m3			
ボード類	2tダンプ 人力積込	1.0	m3			
木材類	2tダンプ 人力積込	6.4	m3			
鉄類	2tダンプ 人力積込	1.0	式			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費						
コンクリート類	無筋	31.7	t			
ボード類	解体系混合廃棄物(ボード類)	1.0	m3			
木材類	解体系混合廃棄物(ボード類除く)	6.4	m3			
鉄類	金属くず	7.5	m3			
9 - 小計						

単価作成用紙

上 段	変更設計
下 段	原 設計

A代価-1 内装改修工事				
	床シート施工費			

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
張り手間		接着剤	0.30	kg			
		内装工	0.04	人			
	小計						
	改め						

(P - A 代 価 - 1)

(_____) 富士見市総合政策部管財課

単価作成用紙

上 段	変更設計
下 段	原 設計

A代価-2		
金物工事	モップハンガー取付費	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	内装工		0.06	人			
	その他	20%	1.00	式			
	小計						
	改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
II	電気設備工事費												
1	電灯・コンセント設備工事			1.0		式							
2	自火報設備工事			1.0		式							
3	撤去工事			1.0		式							
4	処分費			1.0		式							
	II - 計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯・コンセント設備工事						
	ケーブル (天井)	EM-EEF 1.6-2C	163.0	m			
	” ”	EM-EEF 1.6-3C	39.0	m			
	” ”	EM-EEF 2.0-3C	30.0	m			
	” (管内)	EM-EEF 1.6-3C	71.0	m			
	” ”	EM-EEF 2.0-3C	23.0	m			
	電線	EM-IE 1.6	105.0	m			
	合成樹脂可とう電線管	いんぺい PF22	99.0	m			
	アウトレットボックス	四角中浅	36.0	個			
	位置ボックス	四角中浅	17.0	個			
	ジャンクションボックス	四角中浅	28.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スイッチ	換気扇操作 SL	8.0	個			
	1P15A×2 金P付	1.0	個			
コンセント	2P15A×1 ET	28.0	個			
	2P15A×1 ロック式	8.0	個			
トイレセンサー	RAS	8.0	個			
照明器具	A	72.0	台			
	B	3.0	台			
2 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	自火報設備工事						
	自火報スポット感知器						
		差動 2種	1.0	個			
	2 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	撤去工事					
	ケーブル	VVF1.6-2C	43.0	m		
	電線	IV1.6	240.0	m		
	1種金属線ぴ	A型	4.0	m		
	〃 コーナーボックス		8.0	個		
	合成樹脂可とう電線管	PF16	12.0	m		
	スイッチ	1P15A×2	1.0	個		
	〃	1P15A×1+1P15A L付	8.0	個		
	コンセント	2P15A×1	8.0	個		
	照明器具	直付・富士型 FL40W×1	16.0	台		
	〃	壁付・カバー付 FL40W×1	8.0	台		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具	直付・富士型 FL40W×2	3.0	台			
<弱電>						
自火報スポット感知器	差動 2種	1.0	個			
3 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	処分費						
	スクラップ（有価物）	ケーブル、電線	1.0	式			
	産業廃棄物	混合	1.0	式			
	〃	照明	1.0	式			
	リサイクル	蛍光管	1.0	式			
	産業廃棄物 収集運搬	2t車 片道25km	1.0	台			
	リサイクル 収集運搬		1.0	台			
	4 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
Ⅲ	機械設備工事費												
1	衛生器具設備工事			1.0		式							
2	給水設備工事			1.0		式							
3	排水設備工事			1.0		式							
4	換気設備工事			1.0		式							
5	処分費			1.0		式							
6	アスベスト保温材撤去			1.0		式							
	Ⅲ - 計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	衛生器具設備工事												
	洋風大便器		FV+普通便座+紙巻器+その他付属品	13.0		組							
	和風大便器		FV+普通便座+紙巻器+その他付属品	8.0		組							
	和風大便器用耐火カバー			6.0		組							
	小便器		センサー一体型ストール小便器	20.0		組							
	カウンター洗面器		MB500 L=2,000 洗面器×3,自動水栓	7.0		組							
	カウンター洗面器		MB500 L=1,200 洗面器×2,自動水栓	1.0		組							
	化粧鏡		360×460(耐食鏡)	23.0		枚							
	洋風大便器		FV+ウォシュレット(貯湯式・音姫付) 紙巻器+その他付属品	5.0		組							
	掃除用流し		S210	6.0		組							
	洗面器		L210C	1.0		組							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	撤去工事費			1.0			式						別紙明細1
	1 - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	給水設備工事					
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	20A (便所)	33.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	25A (便所)	43.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	32A (便所)	14.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	40A (便所)	8.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	50A (便所)	15.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	65A (便所)	12.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)					
	20A (便所)	11.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)					
	25A (便所)	8.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)					
	32A (便所)	4.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	塩ビライニング鋼管(VD)		40A (便所)	2.0		m							
	塩ビライニング鋼管(VD)		50A (便所)	4.0		m							
	ライニング仕切弁		50A 5kg	1.0		個							
	ライニング仕切弁		65A 5kg	3.0		個							
	保温工事費			1.0		式							別紙明細2
	ハツリ・補修費		100~150mm 75φ	1.0		式							別紙明細3
	配管撤去費			1.0		式							別紙明細4
	器具撤去費			1.0		式							別紙明細5

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	保温撤去費		1.0	式			別紙明細6
	切断・接続費		1.0	式			別紙明細7
	2 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	排水設備工事					
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	40A (便所)	12.0	m		
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	50A (便所)	12.0	m		
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	65A (便所)	3.0	m		
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	75A (便所)	10.0	m		
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	100A (便所)	20.0	m		
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	125A (便所)	6.0	m		
	硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	40A (便所)	27.0	m		
	硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	50A (便所)	25.0	m		
	硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	65A (便所)	32.0	m		
	硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	75A (便所)	30.0	m		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	100A (便所)	63.0	m			
掃除口	COA65	4.0	個			
掃除口	COA80	6.0	個			
掃除口	COA100	22.0	個			
ハツリ・補修費		1.0	式			別紙明細8
配管撤去費		1.0	式			別紙明細9
器具撤去費		1.0	式			別紙明細10
保温撤去費		1.0	式			別紙明細11
切断・接続費		1.0	式			別紙明細12
3 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	換気設備工事						
	FE-1壁用換気扇	SUSウエザカバー共 30cm 1,200m3/H	8.0	個			
	撤去費	30cm	8.0	個			
	4 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	処分費						
	陶器類		1.1	t			
	産業廃棄物		12.7	m3			
	鉄クズ		△ 573.0	kg			
	銅クズ		△ 117.0	kg			
	産業廃棄物 収集運搬	2t車 片道25km	4.0	台			
	5 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	アスベスト保温材撤去					
	レベル3(養生はレベル2)					
	作業台					
	立馬	179.0	m2			
	清掃片付(内部改修)					
	個別改修(トイレ)	179.0	m2			
	床養生					
	ポリシートt0.15二重	179.0	m2			
	壁養生					
	ポリシートt0.1	331.0	m2			
	粉じん飛散防止剤処理					
		179.0	m2			
	保護服					
	防塵マスク、防塵ゴーグル 手袋、防護服、ブーツカバー	1.0	式			
	エルボ配管撤去					
		179.0	m2			
	撤去材密閉処理					
		6.0	m3			
	集積運搬					
		2.0	台			
	廃棄処分					
	石綿含有産業廃棄物	6.0	m3			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	6 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細 1 撤去工事費						
和風大便器		18.0	組			
洋風便器		8.0	組			
紙巻器		26.0	組			
小便器		23.0	組			
洗面器		1.0	組			
化粧鏡		23.0	枚			
ホーム水栓		30.0	個			
計						
別紙明細 1 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細 2 保温工事費						
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	2 0 A (グラスウール)	33.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	2 5 A (グラスウール)	43.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	3 2 A (グラスウール)	14.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	4 0 A (グラスウール)	8.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	5 0 A (グラスウール)	15.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	6 5 A (グラスウール)	12.0	m			
計						
別紙明細 2 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 3						
	ハツリ・補修費						
	ハツリ・補修費	100~150mm 75φ	33.0	か所			
	計						
	別紙明細 3						
	改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 4 配管撤去費						
塩ビライニング鋼管	20A ピット	7.5	m			
塩ビライニング鋼管	25A ピット	10.3	m			
塩ビライニング鋼管	32A ピット	3.2	m			
塩ビライニング鋼管	40A ピット	1.3	m			
塩ビライニング鋼管	50A ピット	1.6	m			
塩ビライニング鋼管	20A 隠蔽	22.8	m			
塩ビライニング鋼管	25A 隠蔽	43.8	m			
塩ビライニング鋼管	32A 隠蔽	12.9	m			
塩ビライニング鋼管	40A 隠蔽	12.0	m			
塩ビライニング鋼管	50A 隠蔽	12.7	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
塩ビライニング鋼管	65A 隠蔽	8.1	m			
計						
別紙明細 4 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 5 器具撤去費						
仕切り弁	50A	1.0	個			
仕切り弁	65A	3.0	個			
計						
別紙明細 5 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 6 保温撤去費						
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		20A ピット	7.5	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		25A ピット	10.3	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		32A ピット	3.2	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		40A ピット	1.3	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		50A ピット	1.6	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		20A 隠蔽	22.8	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		25A 隠蔽	43.8	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		32A 隠蔽	12.9	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		40A 隠蔽	12.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	塩ビライニング鋼管	ガラスウール					
		50A 隠蔽	12.7	m			
	塩ビライニング鋼管	ガラスウール					
		65A 隠蔽	8.1	m			
	計						
	別紙明細 6						
	改め						

積算用紙

	上段	変更設計
	下段	原設計
	備考	

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 7 切断・接続費						
切断・接続	32A (鋼管保温有り)	3.0	か所			
切断・接続	50A (鋼管保温有り)	1.0	か所			
切断・接続	65A (鋼管保温有り)	3.0	か所			
計						
別紙明細 7 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 8 ハツリ・補修費						
ハツリ・補修費	100~150mm 100φ	58.0	か所			
ハツリ・補修費	100~150mm 150φ	43.0	か所			
計						
別紙明細 8 改め						

積算用紙

							上段 変更設計
							下段 原設計
							備考

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 9 配管撤去費						
鋼管	40A (便所)	3.0	m			
鋼管	50A (便所)	62.9	m			
鋼管	65A (便所)	32.7	m			
鋼管	75A (便所)	28.6	m			
鋼管	100A (便所)	91.1	m			
鋼管	125A (便所)	5.8	m			
計						
別紙明細 9 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 10 器具撤去費						
排水金物	COB100	22.0	個			
排水金物	50T-5B	8.0	個			
排水金物	50T-5B	1.0	個			
排水金物	50T-14B	8.0	個			
排水金物	SNA65	8.0	個			
計						
別紙明細 10 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細 1 1	保温撤去費						
	保温撤去費	グラスウール 50A (ピット)	9.0	m			
	保温撤去費	グラスウール 75A (ピット)	10.0	m			
	保温撤去費	グラスウール 100A (ピット)	19.1	m			
	保温撤去費	グラスウール 125A (ピット)	5.8	m			
	保温撤去費	グラスウール 50A (隠蔽)	25.8	m			
	保温撤去費	グラスウール 65A (隠蔽)	12.0	m			
	保温撤去費	グラスウール 75A (隠蔽)	18.6	m			
	保温撤去費	グラスウール 100A (隠蔽)	72.0	m			
	計						
別紙明細 1 1	改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 1 2 切断・接続費						
切断・接続	100A	13.0	か所			
切断・接続	125A	1.0	か所			
計						
別紙明細 1 2 改め						

工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事（第2期工事）

令和2年度工事

設計目録

総図面枚数 37枚

建築工事				電気設備工事				機械設備工事			
図面番号	図面名	改修前後	縮尺	図面番号	図面名	改修前後	縮尺	図面番号	図面名	改修前後	縮尺
A-01	表紙	-	-	E-01	電気設備工事特記仕様書	後	-	M-01	機械設備工事特記仕様書-1	後	-
A-02	特記仕様書(改修その1)	後	-	E-02	1階トイレ電灯・コンセント設備図	前後	1:50	M-02	機械設備工事特記仕様書-2	後	-
A-03	特記仕様書(改修その2)	後	-	E-03	2階トイレ電灯・コンセント設備図	前後	1:50	M-03	機械設備工事特記仕様書-3	後	-
A-04	特記仕様書(改修その3)	後	-	E-04	3、4階トイレ電灯・コンセント設備図	前後	1:50	M-04	凡例・系統図	後	-
A-05	特記仕様書(改修その4)	後	-	E-05	体育通路電灯設備図	前後	1:50	M-05	器具表	後	-
A-06	特記仕様書(改修その5)	後	-	E-06	2階分岐幹線図	前後	1:50	M-06	1、2、3、4階トイレ改修後図	後	1:400
欠番						前後	1:50	M-07	1、2、3、4階トイレ改修前図	後	1:400
A-08	案内、配置図	後	1:700			後	1:400			後	1:50
A-09	内部仕上表-1	前後	-							前	1:50
A-10	1階、2階平面図	後	1:400								
A-11	3階、4階平面図	後	1:400								
A-12	1階便所改修前図	前	1:50								
A-13	1階トイレ改修後図	後	1:50								
A-14	1階体育通路改修前後図	前後	1:50								
A-15	2、3、4階便所改修前図	前	1:50, 100								
A-16	3階トイレ改修後図	後	1:50, 100								
A-17	2、4階トイレ改修後図	後	1:50, 100								
A-18	2、3、4階廊下改修前後図	前後	1:50								
A-19	建具表(アルミ製建具)	後	1:5、50								
A-20	建具表(トイレブース)	後	1:50								
A-21	建具表(パーテーション)	後	1:50								
A-22	建具詳細図	後	1:5								
A-23	部分詳細図-1	後	1:5, 10, 20, 30								
A-24	部分詳細図-2	後	1:5, 10								

発注者 富士見市長 星野光弘
 設計 株式会社 柳井設計

7 鋼製建具 [5.4.2~4][表5.4.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
8 鋼製軽量建具 [5.2.2][5.5.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
9 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
10 木製建具 (16.7.2~4)	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
11 建具用金物 [5.7.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
12 鍵 [5.7.4]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
13 自動ドア開閉装置 [5.8.3]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
14 自閉式上吊り引戸装置 [5.9.3]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
15 重量シャッター [5.10.2, 3]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
16 軽量シャッター [5.11.2~4]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・

17 オーバーヘッドドア [5.12.2, 3]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
18 ガラス [3.7][5.13.2~4][表5.13.1]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
19 ガラスブロック [5.13.5]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
20 ガラス用フィルム [5.13.4]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・

① 改修範囲 [6.1.3]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
4 木下地等の表面仕上げ [6.5.1]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
5 製材 [6.5.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
6 造作用集材 [6.5.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
7 造作用単板積層材 [6.5.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
8 床張り用合板等 [6.5.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
9 接着剤 [6.5.3][6.8.2][6.9.3][6.11.4.5]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・

10 防雨・防蟻・防虫処理 [6.5.5]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
11 内部間仕切り、窓、床等の木材 [6.5.6~9]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
⑩ 軽量鉄骨天井下地 [6.8.2.3]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
⑪ ビニル床シート [6.8.2.3]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
15 ビニル床タイル [6.8.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
17 ゴム床タイル [6.8.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・
18 カーペット敷き [6.9.3~4][表6.9.1]	性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない
	外部に面する建具の耐風圧性 S-4(建具符号:・建具表による) ・ S-5(建具符号:・建具表による) ・ S-6(建具符号:・建具表による) ・

富士見市総合政策部管財課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	株式会社 柳井設計 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録 第85179号 柳井 博	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)	施工年度 令和2年度	図面番号 A-04
	工事場所 富士見市大字鶴馬 地内	縮尺										

特記仕様書(改修その3)

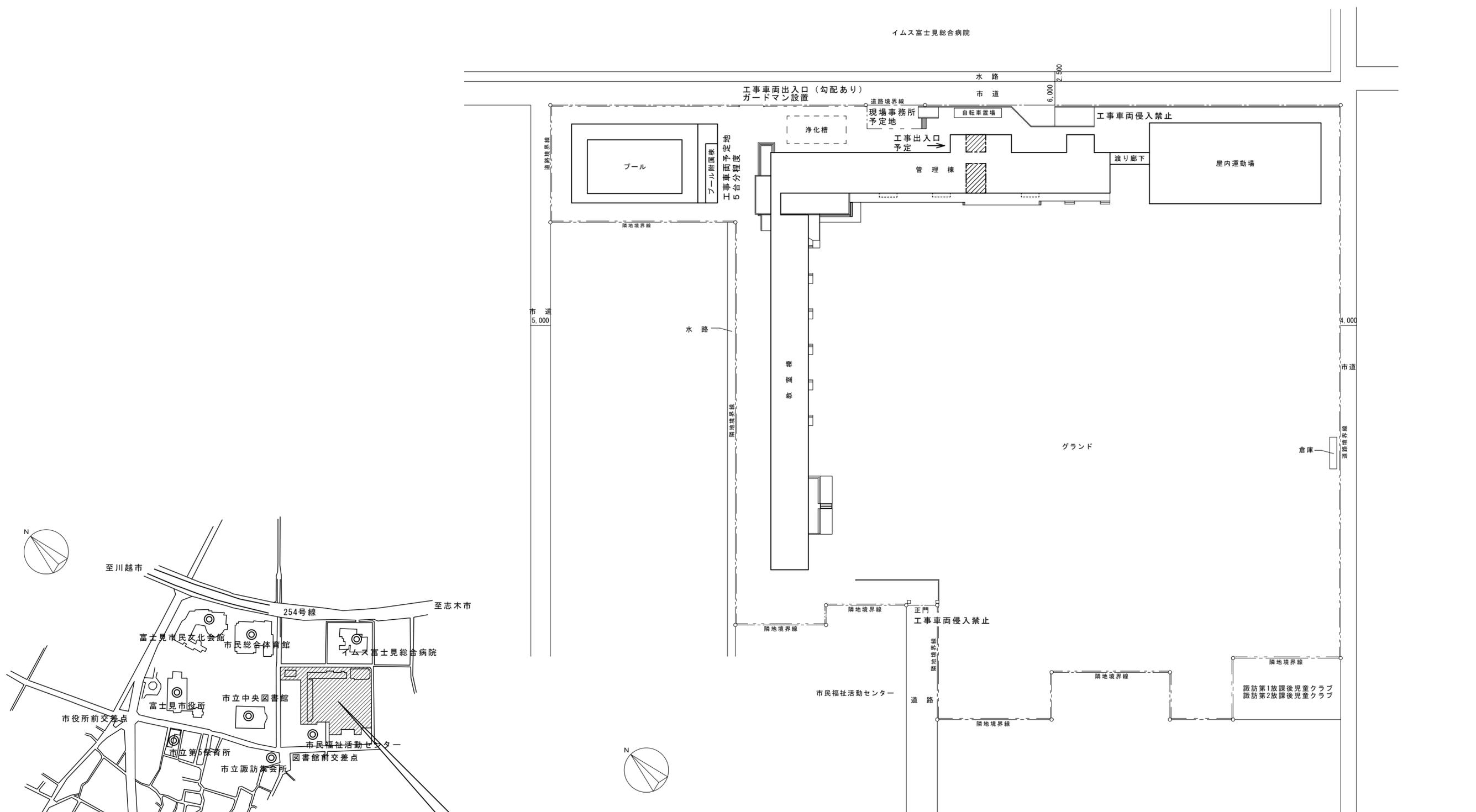
19 合成樹脂塗床 [6.10.2~3]	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類				
	・厚膜型塗床材 ・薄膜型塗床材 ・厚膜型塗床材 ・薄膜型塗床材 ・珪藻土系塗床材 ・珪藻土系塗床材 ・珪藻土系塗床材 ・珪藻土系塗床材			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ・平滑仕上げ ・防汚仕上げ ※平滑仕上げ ※製造所の指定に 工程 塗布量 (kg/m ²) ※0.25kg/m ² 以上 表面仕上げ ※平滑・防汚 溶剤 ※水性系・溶剤系・無溶剤系 仕上げ色 ※標準色				
	塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
20 フローリング張り [6.11.2~7]	種別	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上げ	間伐材等の 適用	
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら ※なら	15 12以上	幅幅75 幅長さ500以上 幅幅75 幅長さ300以上 幅幅75 幅長さ300以上	無塗装品 塗装品	・	
	・70-117が「アロマ」1等 ・「サウナ」1等	・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら ※なら	15 15	幅幅75 幅長さ303 幅幅75 幅長さ300以上	塗装品 塗装品	・	
21 畳敷き [6.12.2]	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・天然木化粧被合フローリング	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の種別材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ (施工箇所) ・行う (※羽子目樹脂系塗料・材種以外の上、ワックス塗り・生地のままワックス塗り)を行わない							
22 セッコウボードその他ボード及び合板張り [6.13.2~3]	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・硬質木毛セメント板 ・中質木毛セメント板 ・普通木毛セメント板 ・薄質木毛セメント板 ・薄質木毛セメント板 ・けい酸カルシウム板	・釘留め工法 ・接着工法	※なら	15 15 12 12 9	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	・ロックウール化粧吸音板 ・ロックウール吸音ボード1号 ・グラスウール吸音ボード2号3号 ・セッコウボード ・不燃積層セッコウボード ・シーリングセッコウボード ・強化セッコウボード ・セッコウボード ・化粧セッコウボード (木目) ・化粧セッコウボード (15mm厚積層) ・普通合板	・接着工法	※なら	15 12.5 12.5 9.5 12.5 9.5	※A種 ※B種 ※C種 ※D種 ※E種 ※F種 ※G種 ※H種 ※I種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
23 壁紙張り [6.14.2~3]	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・天然木化粧被合フローリング	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 壁紙の種類 防火種別 備考							
24 モルタル塗り [6.15.3.6]	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
25 タイル張り [6.16.2.3]	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
26 セルフレベリング材塗り [6.17.2~3]	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
27 視覚障害者用床タイル (11.2.2)(19.2.2)	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
28 フリーアクセスフロア (20.2.2)	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
29 可動開閉仕切	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
30 移動開閉仕切	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
31 トイレブース	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
32 階段滑り止め	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
33 手すり	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
34 黒板及びホワイトボード	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
35 表示	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
36 ブラインド	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
37 ロールスクリーン	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
38 カーテン	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
39 カーテンレール	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
40 ブラインドボックス及びカーテンボックス	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
41 天井点検口	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
42 床点検口	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
43 くつきマット	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
44 流し台ユニット	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
45 網製書架及び物品棚	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
46 屋内掲示板	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
47 洗面カウンター	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
48 防煙垂れ壁	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
49 収納家具	種別	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の 適用
	・70-117が「オート」1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	※A種 ※B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外							
7 塗装改修工事	① 材料	[7.1.3]		⑦ 塗装改修工事	① 材料 [7.1.3]		⑦ 塗装改修工事	
	② 下地調整	[7.2.2~7]		⑦ 塗装改修工事	② 下地調整 [7.2.2~7]		⑦ 塗装改修工事	
	③ 錆止め塗料塗り	[7.3.2~3]		⑦ 塗装改修工事	③ 錆止め塗料塗り [7.3.2~3]		⑦ 塗装改修工事	
8 耐震改修工事	④ 塗装	[7.4.1~7.15.2]		⑧ 耐震改修工事	④ 塗装 [7.4.1~7.15.2]		⑧ 耐震改修工事	
	⑤ 耐震改修工事			⑧ 耐震改修工事	⑤ 耐震改修工事		⑧ 耐震改修工事	
	⑥ 耐震改修工事			⑧ 耐震改修工事	⑥ 耐震改修工事		⑧ 耐震改修工事	

9 環境配慮改修工事	1 アスベスト含有建材の事前調査 [9.1.1(d)]	工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、報告する。 調査範囲 (※改修範囲・図示) 貸与資料 ()
	2 アスベスト含有分析調査 [9.1.1(d)]	分析対象 アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト アンソナイト、トリモライト 分析方法 JIS A 1481-1・JIS A 1481-2・JIS A 1481-3 調査方法 (1材料あたりの試料数) 材料名 測定分析 (※3) 定量分析 (※3) 定性分析 (※3) 定量分析 (※3) 定性分析 (※3) 定量分析 (※3) 定性分析 (※3) 定量分析 (※3)
	3 アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1(e)]	試料の採取 1材料あたり3箇所 吹付け材及び保温材等 ※10cm ² /箇所 /箇所 成形板は ※100cm ² /箇所 /箇所 採取箇所・図示 分析結果を監督員に提出すること
	4 7A ⁺ 含有吹き付け材の除去 (レベル1) [9.1.3]	除去対象範囲・図示 ※9.1.3(b)(1)による 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化 除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)
	5 7A ⁺ 含有保温材等の除去 (レベル2) [9.1.4]	除去工法 ※9.1.4(c)による (原形のまま、手ばらしが可能な場合) 除去対象範囲・図示 9.1.4(b)による (損傷、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合) 除去対象範囲・図示
	6 7A ⁺ 含有成形板の除去 (レベル3) [9.1.5]	除去したアスベスト含有成形板の処分 アスベスト含有せつこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) アスベスト含有せつこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)
	7 7A ⁺ 含有建築用仕上塗材等の除去 [9.1.3][9.1.4][9.1.5]	除去対象範囲・図示 着工前の試験施工・行う・行わない 除去工法 () 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)
	8 リフォーム・仕上げ材の処理 (特化則)	除去処理対象物 除去対象範囲・図示 除去方法・図示 処分・埋立処分 (管理型最終処分場)
	9 断熱アスファルト防水改修工事 [9.2.1~3]	3章による
	10 外断熱改修工事 [9.3.2~4]	断熱材 種類 () 厚さ () 施工箇所 (・図示・) ホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外 外装材 種類 () 防火性能 () 既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去・あり・なし 下地面の清掃・行う・行わない 欠損部の改修工法・改修標準仕様書4.1.4による 工法 通気層の有無・あり () mm) なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ※断熱材製造所の仕様による 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
	11 ガラス改修工事 [9.4.2]	複層ガラス 種類 断熱性 日射熱減へい性 厚さ ・断熱複層ガラス ・1種 U1 ・2種 U2 ・3種 U-3-1・U-3-2
	12 断熱・防露改修工事 [9.5.2~4][9.5.2]	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外 断熱材打ち込み工法 種類 厚さ (mm) ・ビス・法 ¹⁾ 断熱材 ・挿入法 ²⁾ 断熱材 (スチン層なし) ・挿入法 ³⁾ フォーム断熱材 ・フォーム断熱材 ・ビス・法 ⁴⁾ フォーム断熱材 ※挿入法 ⁵⁾ フォーム断熱材 (スチンなし) ・保温板 (2種b) 2.5 ・保温板 (3種b) 2.5 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フォーム断熱材 (3種2号を除く) 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 2.5 3.0 断熱材後張り工法 断熱材の種類 断熱材の厚さ (mm)

13 屋上緑化改修工事 [9.6.2]	材料 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示
14 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2]	適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示
15 PCB含有シーリング材処分 [9.7.4]	種類 採取する部位・箇所数 備考 ・PCB含有シーリング 部位・箇所 ・分析調査 (第二次判定) 箇所数・箇所 詳細は監督員との協議による
16 舗装版切断時に発生する濁水の処理 [9.7.4]	濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入 (処理に焼却含む) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可書の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 その他 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合には、別途監督員と協議するものとする。

11 鉄筋工事	1 鉄筋 (5.2.1)(表5.2.1)	種類の記号等 種類 呼び径 (mm) 備考 SD395A ※D16以下 和慶器撤去の公差 SD345 ※D19以上
2 溶接金網 (5.2.2)	種類 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 溶接金網 鉄筋格子	
3 継手及び定着 (5.3.4a)(5.5.2~3)	部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 ・溶接継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・ガス圧接 ・重ね継手 その他の鉄筋 () ・重ね継手	
4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.4b)	継手位置 (カットオフ鉄筋の長さ共) 図示による ()	
5 機械式継手 (5.3.4c)	柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ 図示による () 基礎主筋の継手位置 図示による ()	
6 溶接継手 (5.3.4d)	土に接する部分の最小かぶり厚さ 柱、梁、スラブ、壁・図示 () 基礎、擁壁、耐圧スラブ・図示 () 耐久性上不利な箇所 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し ・有り 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm	
7 各部配筋 (5.3.4e)	H12建告第1463号に適合する性能 A級 機械式継手の種類及び工法 () 品質の確認方法 図示による ()	
8 圧接完了後の試験 (5.4.9)	H12建告第1463号に適合する性能 A級 継手の工法 図示による () 品質の確認方法 図示による () 標準仕様書1.2.2(b) 施工計画書の品質計画による 不良となった継手の修正方法等 図示による () 標準仕様書1.2.2(b) 施工計画書の品質計画による 溶接技術者 標準仕様書5.5.3(f)による JIS Z 3882 (鉄筋の突合せ溶接技術検定における試験方法及び判定基準) による技量を有する者	
9 無筋コンクリート (6.2.1)(6.14.1)	外観試験 ※行う (全圧接部) 採取試験 ※留音波探傷試験・引張試験	

11 コンクリート工事	1 コンクリートの種類等 (6.2.1~6.2.5)	種類 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積 質量 (t/m ³) スランプ 種類 普通コンクリート 4 2.3程度 15又は18 18 ※1類・II類 軽量コンクリート (6.2.3b)による
2 コンクリートの材料 (6.3.1)	セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位 (※下記以外) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ28日目で402 J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 [G] 使用箇所 (1Fより下部 (立ち上がり部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 使用箇所 () 骨材 フェノキッスラグ骨材、銅スラグ骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 ・使用する ・使用しない アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m以下) 混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(d)(i)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(d)(ii)による	
3 コンクリートの調査 (6.3.2)	・構造体強度補正 補正值S=3 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日) S=6 (月 日 ~ 月 日) ・コンクリートの単位水量 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150 ³ に1回以上及び落下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限度は、標準仕様書6.3.2(2)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとする。施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値 (以下、「設計値」という。) ±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法 (電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、静電容量試験機は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	
4 ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.3)(6.8.2)(9.7.3)	目地寸法 ・標準仕様書9.7.3による 間隔・位置・形状 ・図示による () ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する	
5 湿潤養生 (6.7.2)	普通エコセメントの湿潤養生期間 () 日	
6 コンクリートの仕上げ (6.2.5)(6.8.3)	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種類 適用箇所 ・A種 ※図示による () ・B種 ※図示による () ・C種 ※図示による ()	
7 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.2)	打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm・20mm ・外壁タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による ()	
8 型枠 (6.8.3)	せき板の材料及び厚さ 合板 (※12mm) [G] (但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」の備考3の表示のある合板型枠を用いる場合に限り) ※コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透気型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。	
9 無筋コンクリート (6.14.1)	断熱材を兼用した型枠の使用 ・MCR工法用シートの使用 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材質 ※標準仕様書6.8.3(i)(2)(i)から(iv)による 存置期間及び取り出し ※標準仕様書6.8.5による	
10 無筋コンクリート (6.14.1)	設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランプ ※15cm又は18cm セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(a)による箇所 ・図示による ()	



案内図 S-1:-

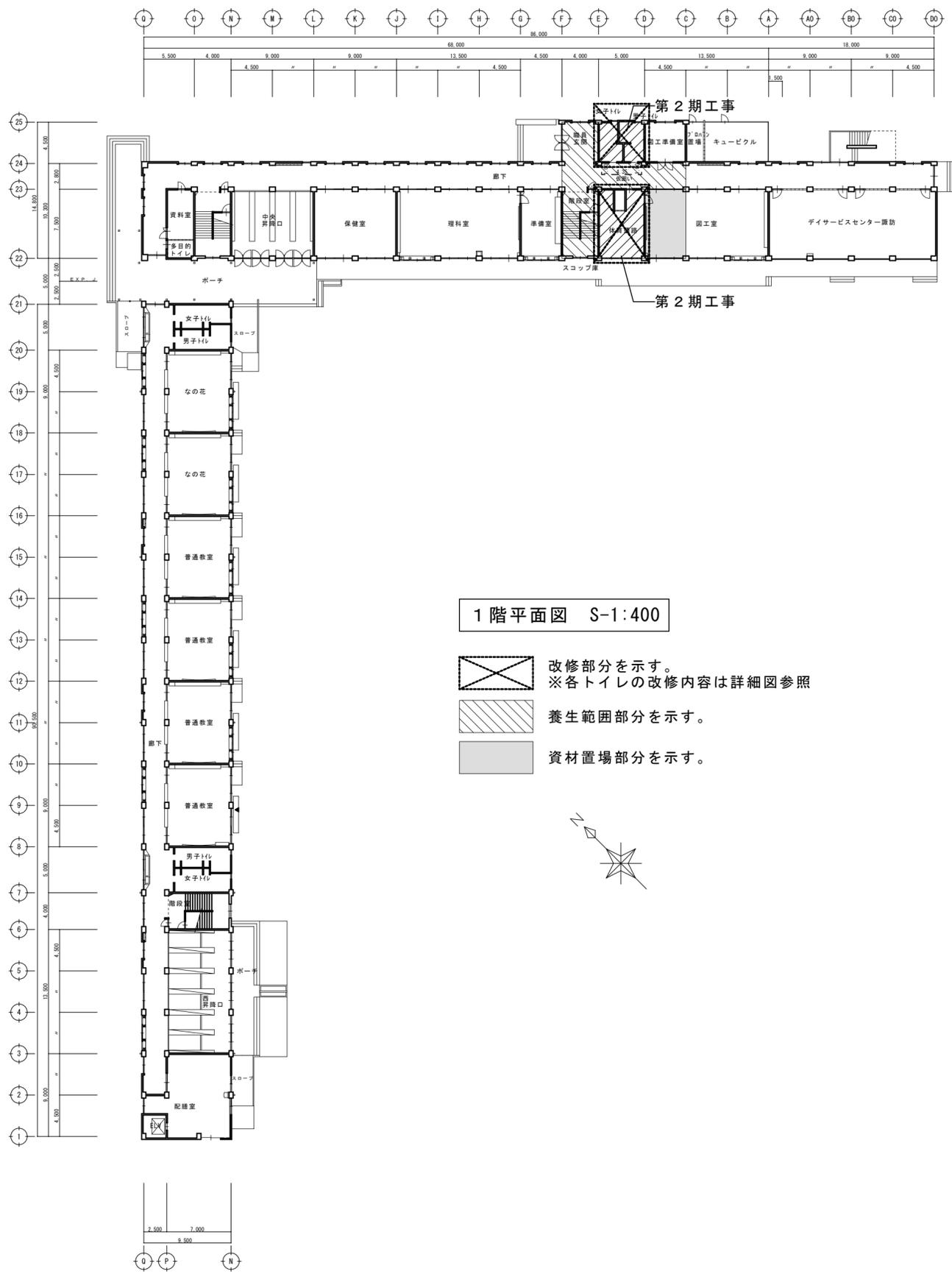
配置図 S-1:700

■ 施工場所を示す。

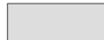
工事場所 埼玉県富士見市大字鶴馬 地内
市立諏訪小学校

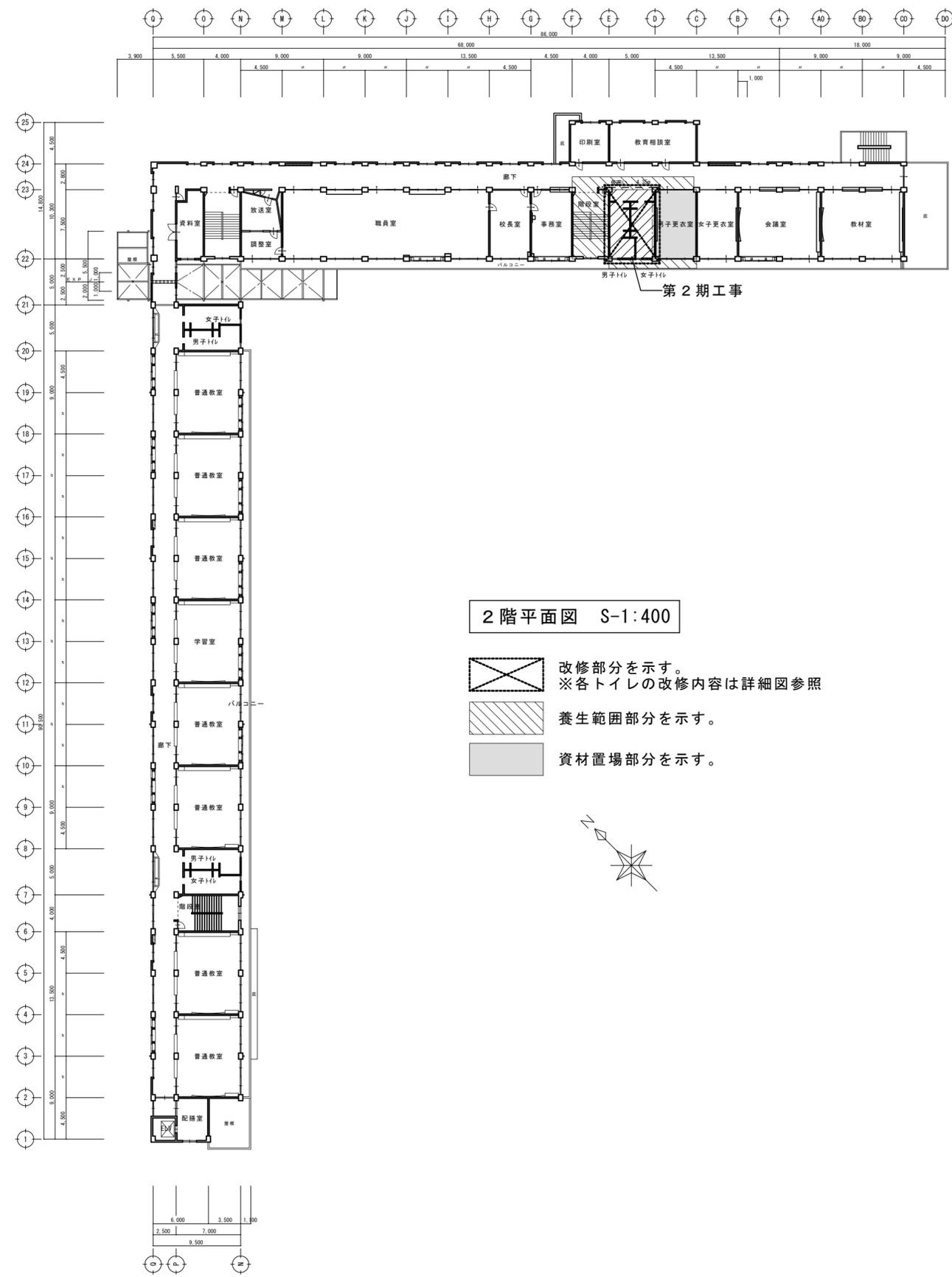
R1 富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskai@mifty.com	一級建築士 柳井 博	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部 管財課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)	図面番号 A
			登録番号 第85179号	変更年月日									図面名 案内図、配置図	S=1:- S=1:700

内部仕上表										
部位	記号		管理棟1階トイレ(男子、女子トイレ)		記号	管理棟2,3,4階トイレ、廊下(一般便所)				
			改修前	改修後		改修前	改修後			
床	A1	下地	アスファルト防水既存 シタ-コンクリートt100既存 モルタル水勾配既存	モサ-イタイル25角上 カチオンタイコテ新設 床レ-ラ-50 2回打設新設 (宇都興産床レ-ラ-G) 床材巻き上げ新設 耐水工法 (タキロンシーアイ ネオグリーン)	A1	下地	アスファルト防水既存 シタ-コンクリートt100既存 モルタル水勾配既存	モサ-イタイル25角上 カチオンタイコテ新設 床レ-ラ-50 2回打設新設 (宇都興産床レ-ラ-G) 床材巻き上げ新設 耐水工法 (タキロンシーアイ ネオグリーン)		
		仕上	モサ-イタイル25角既存	モサ-イタイル25角既存						
					A3	下地	アスファルト防水既存 シタ-コンクリートt100既存 モルタル既存	モルタル既存上		
巾木	B1	下地	壁と同一	耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設	B1	下地	壁と同一	耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		
		仕上	壁と同一	防滑性ビ-ニル床シート2.0新設 床材巻き上げ H60		壁と同一	防滑性ビ-ニル床シート2.0新設 床材巻き上げ H60			
腰壁	C1	下地	モルタルt20既存	100角タイル既存上 カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設	C1	下地	モルタルt20既存	100角タイル既存上 カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		
		仕上	100角タイル既存	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品) 不燃NM-4339		100角タイル既存	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品) 不燃NM-4339			
	C2 改修詳細図-2 男子16小便器12台	下地	人研カウンター150×30撤去 CB100ライニングH1200撤去 モルタルt20撤去	軽量鉄骨壁下地65形@455新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5新設	C2 改修詳細図-2 男子16小便器12台	下地	人研カウンター150×30撤去 CB100ライニングH1200撤去 モルタルt20撤去	軽量鉄骨壁下地65形@455新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5新設		
		仕上	100角タイル撤去	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品) メラミンライニング-カウンターW150t20新設 (アイ工業メラミンフォームカウンター-PVA) VP塗装既存上		100角タイル撤去	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品) メラミンライニング-カウンターW150t20新設 (アイ工業メラミンフォームカウンター-PVA) VP塗装既存上			
壁	D1	下地	モルタルt20既存	カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設	D1	下地	モルタルt20既存	カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		
		仕上	VP塗装既存	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)		VP塗装既存	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)			
	D2	下地	モルタルt80撤去	モルタルt80撤去上 カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		下地	モルタルt80撤去	モルタルt80撤去上 カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		
		仕上	VP塗装撤去	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)		仕上	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)			
					D3	下地	木製胴縁撤去	軽量鉄骨壁下地65形@455新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5新設		
						仕上	化粧ハ-ネル撤去	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)		
				D4	下地	モルタルt20既存	VP塗装既存上 下地調整			
					仕上	VP塗装既存	EP塗装新設			
廻縁	E1	下地	-	-	E1	下地	-	-		
		仕上	-	塩ビ製廻縁新設 (フクビ化学工業F見切)		仕上	-	塩ビ製廻縁新設 (フクビ化学工業F見切)		
天井	F2	下地	天井裏コンクリートEP吹付既存 全ねじホ-ルトで仕上材吊り込み 撤去	打込式金属系アンカー新設 吊ホ-ルト新設 軽量鉄骨天井下地19型新設	F2	下地	天井裏コンクリートEP吹付既存 全ねじホ-ルトで仕上材吊り込み 撤去	打込式金属系アンカー新設 吊ホ-ルト新設 軽量鉄骨天井下地19型新設		
		仕上	仮設用保護ネットOP撤去	化粧吸音ホ-ト-t9.5新設 910×910 (吉野石膏スチートンD)ラス		仕上	仮設用保護ネットOP撤去	化粧吸音ホ-ト-t9.5新設 910×910 (吉野石膏スチートン-51) 準不燃QM-1864		
備考	※仕上材は、複数色とする予定 監督員と協議する事									
	G4	7&8製建具撤去 カ-リ付き内倒し窓	7&8製建具カ-工法新設 FIX内倒し窓 寸法、形状は建具表参照	G4	7&8製建具撤去 カ-リ付き内倒し窓	7&8製建具カ-工法新設 FIX内倒し窓 寸法、形状は建具表参照				
	G6	人研ぎ流し撤去	ホ-ウル一体手洗い器新設 (機械設備工事)	G6	人研ぎ流し撤去	ホ-ウル一体手洗い器新設 (機械設備工事)				
	G7	トイレフ-ス撤去	トイレフ-ス新設 寸法、形状は建具表参照	G7	トイレフ-ス撤去	トイレフ-ス新設 寸法、形状は建具表参照				
				G8	ハ-テーション撤去	ハ-テーション新設 寸法、形状は建具表参照				
				G9	CB100+モルタルt20+VP塗装撤去	ハ-テーション新設 寸法、形状は建具表参照				
				G10	木製建具撤去	鋼製PS点検口新設 500×700、D P塗装				
				G11	木製建具撤去	掃除用具入れ新設 寸法、形状は家具図参照				
	G12	床下点検口500φ撤去	床下点検口7&8枠600角 寸法、形状は建具表参照							
	G13 改修詳細図-3 和便器撤去部	和便器撤去 (機械設備工事)	鉄筋アンカ-D10@200新設 RC227-t120打設新設	G13 改修詳細図-3 和便器撤去部	和便器撤去 (機械設備工事)	鉄筋アンカ-D10@200新設 RC227-t120打設新設				
G15 改修詳細図-1 出入口3方枠	木製3方枠OP既存 人研床見切撤去	既存木製枠OP上DP塗装 トイレ側木製付見切30×45DP塗装	G15	木製3方枠OP既存 人研床見切撤去	既存木製枠OP上DP塗装 トイレ側付見切30×45DP塗装					

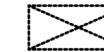
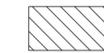


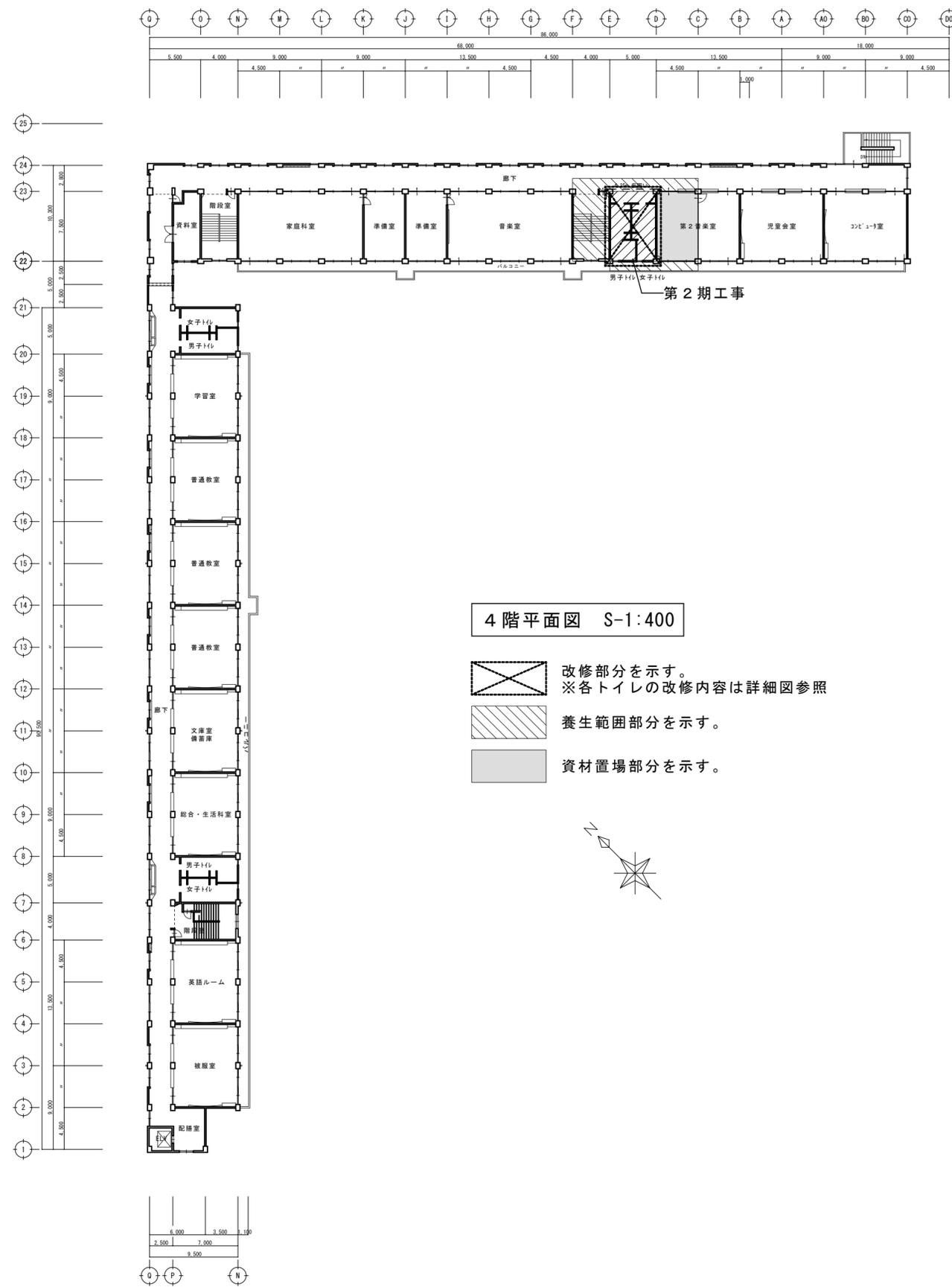
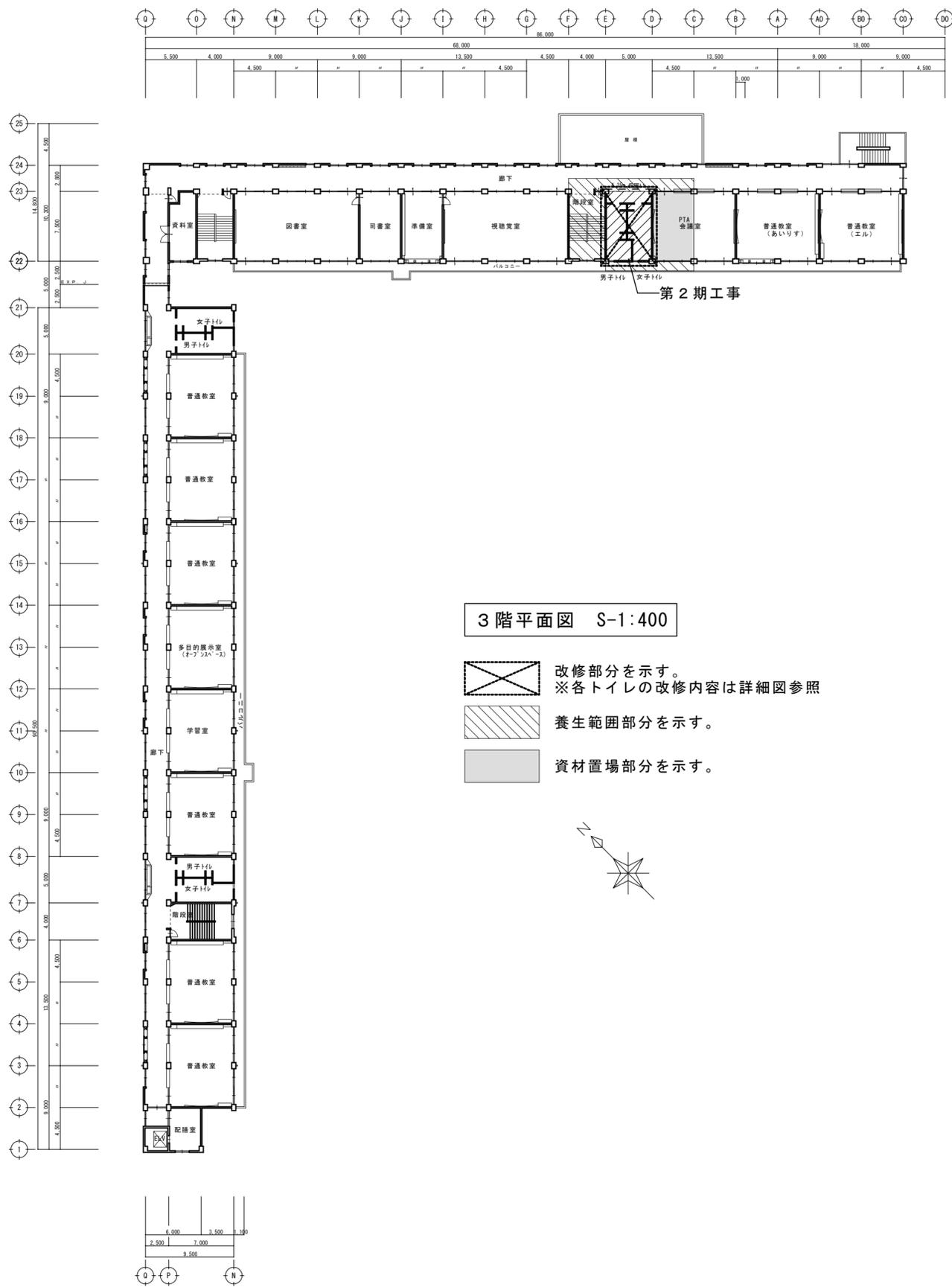
1階平面図 S-1:400

-  改修部分を示す。
※各トイレの改修内容は詳細図参照
-  養生範囲部分を示す。
-  資材置場部分を示す。



2階平面図 S-1:400

-  改修部分を示す。
※各トイレの改修内容は詳細図参照
-  養生範囲部分を示す。
-  資材置場部分を示す。



R1
富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320(代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaiskai@mifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認 設計 製図

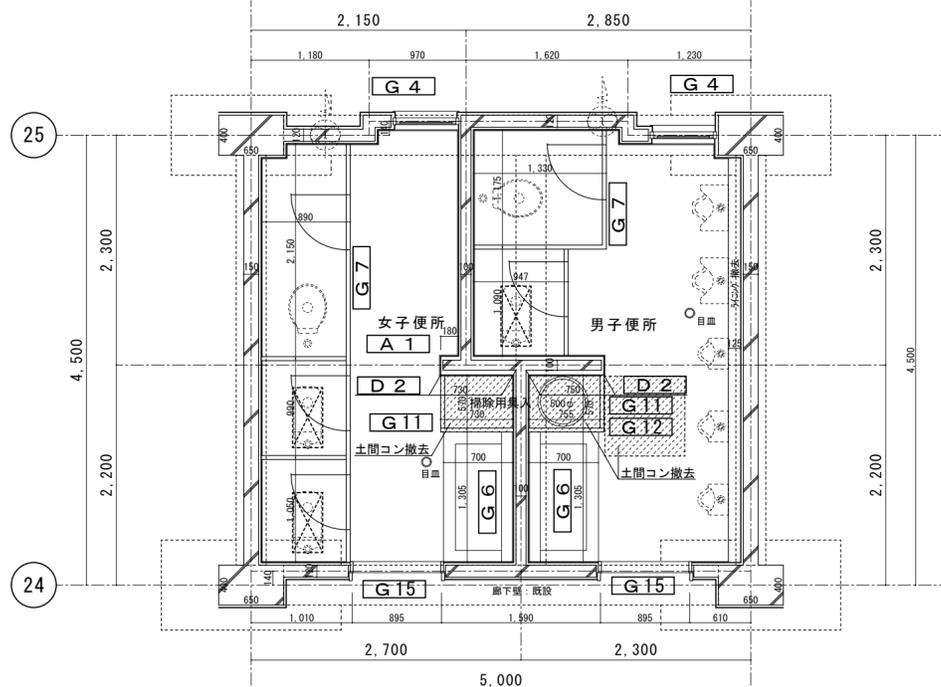
富士見市総合政策部
管財課

課長 副課長 主任 担当

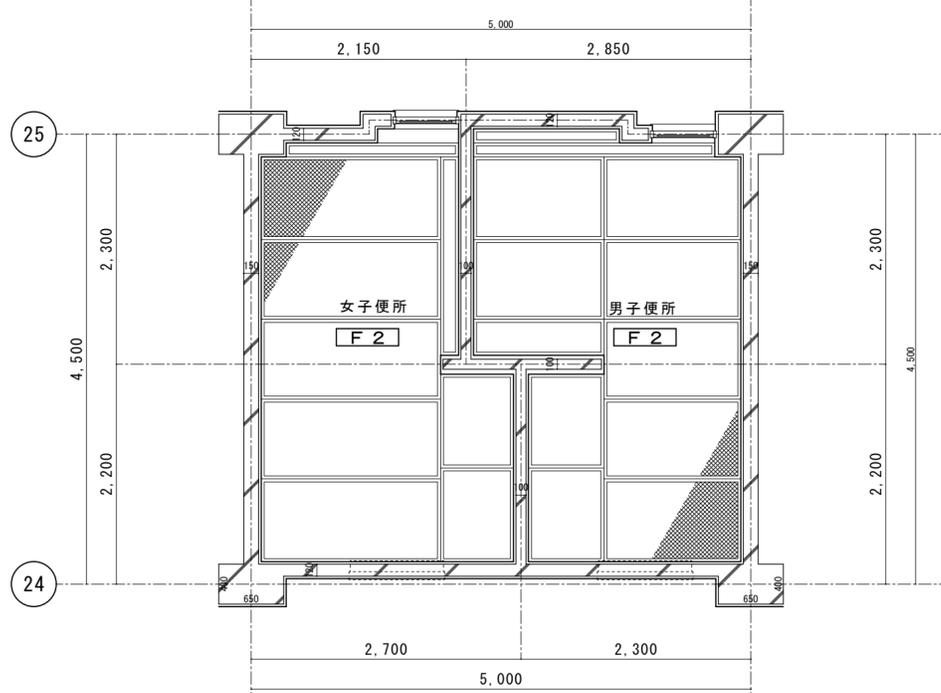
工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)
図面名 3、4階平面図 S=1:400

図面番号
A
1 1

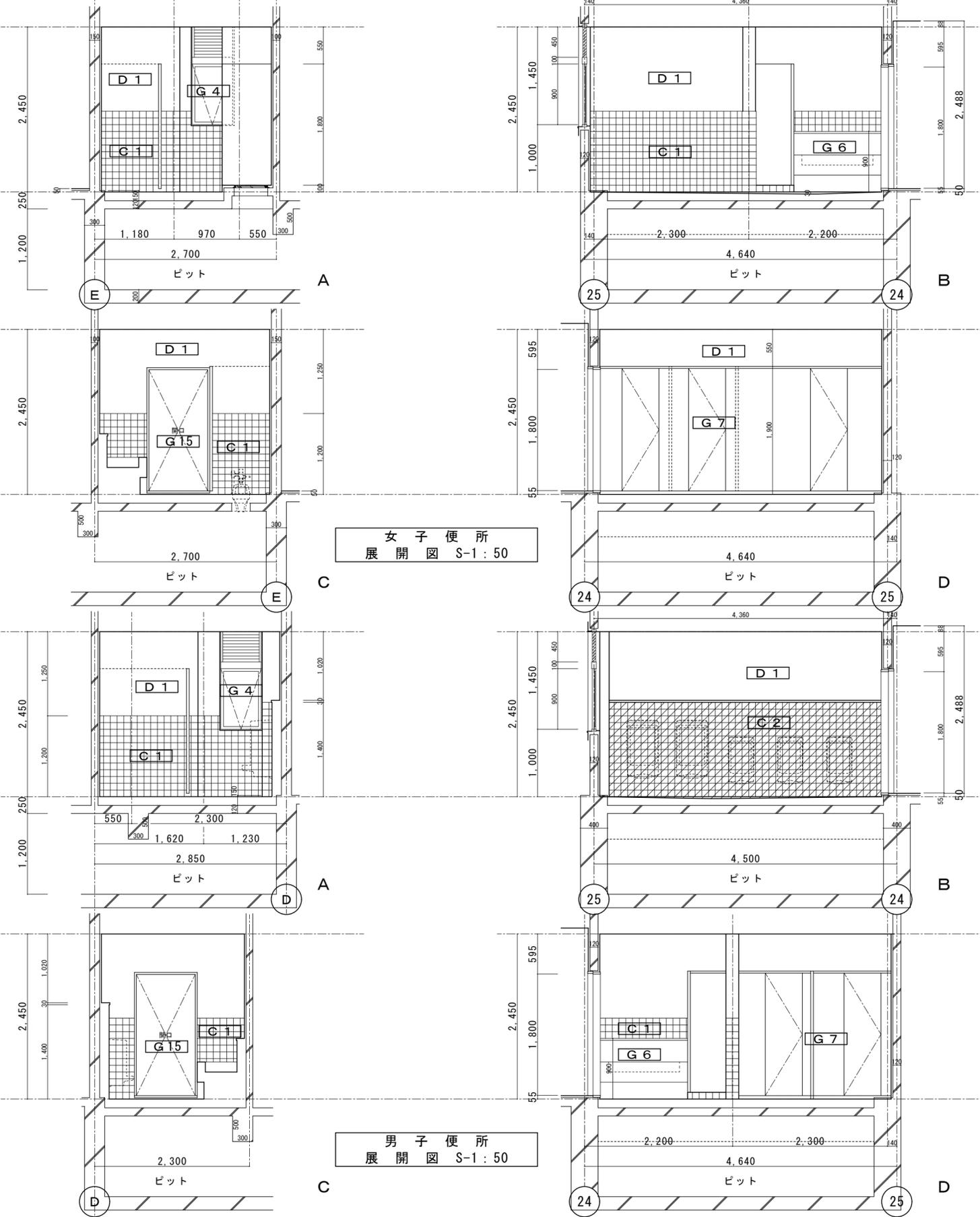
改修前



平面図 S-1:50



天井伏図 S-1:50

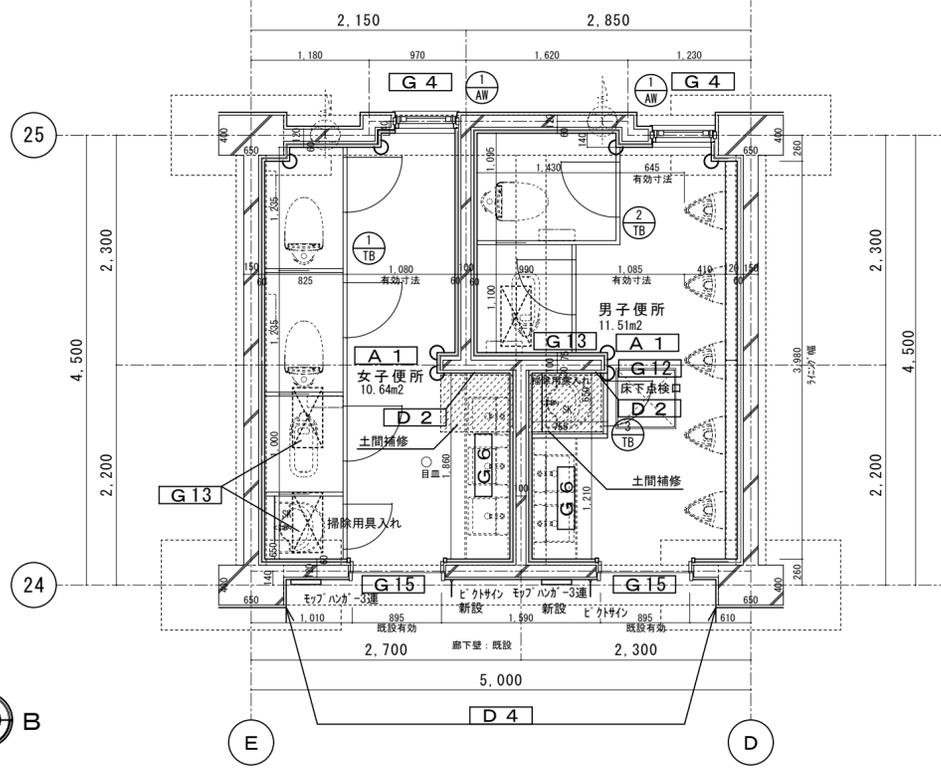


女子便所
展開図 S-1:50

男子便所
展開図 S-1:50

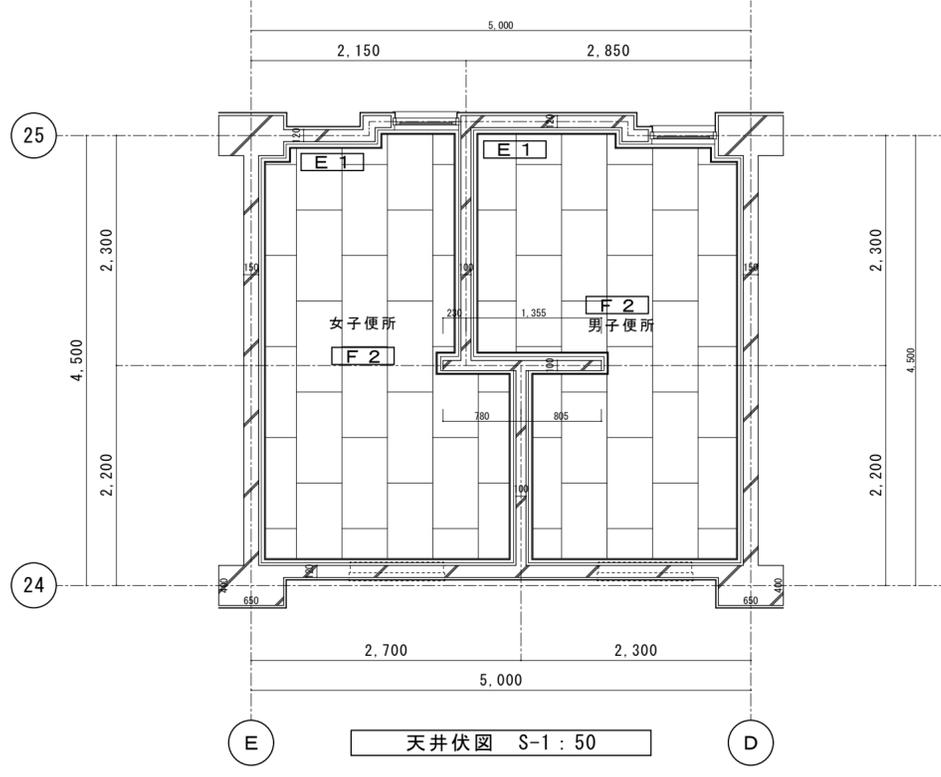
R1 富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisekkei@mifty.com	一級建築士 柳井 博	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部 管財課	課長	副課長	保全G	担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事) 図面名 1階便所改修前図	図面番号 A S:1:50 12
			登録番号 第85179号	変更年月日										

改修後

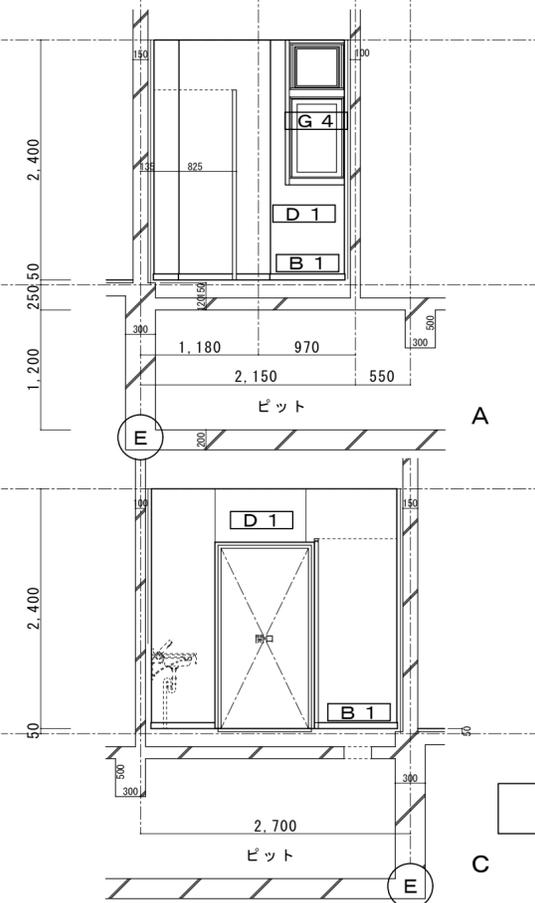


平面図 S-1:50

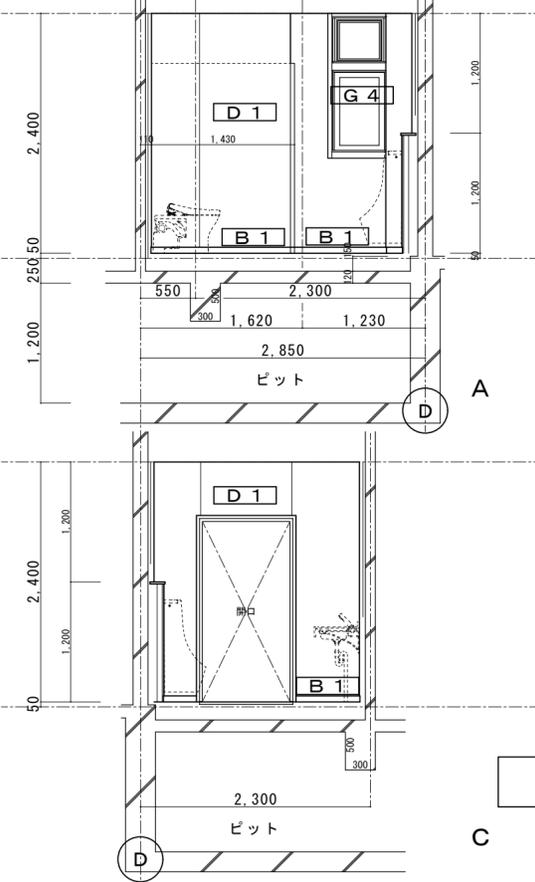
アルミジョイナー出隅



天井伏図 S-1:50



女子便所
展開図 S-1:50



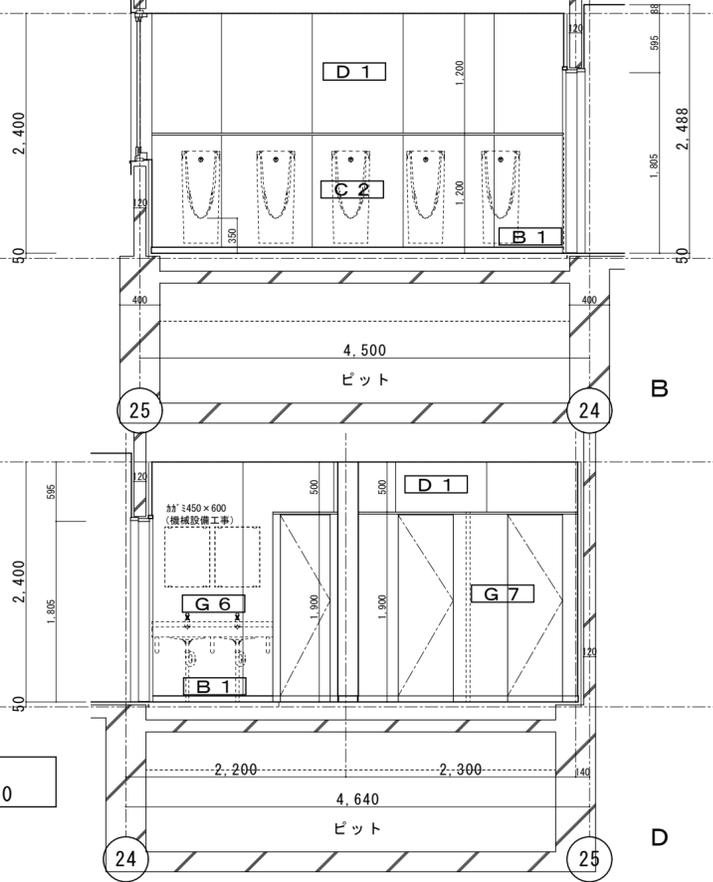
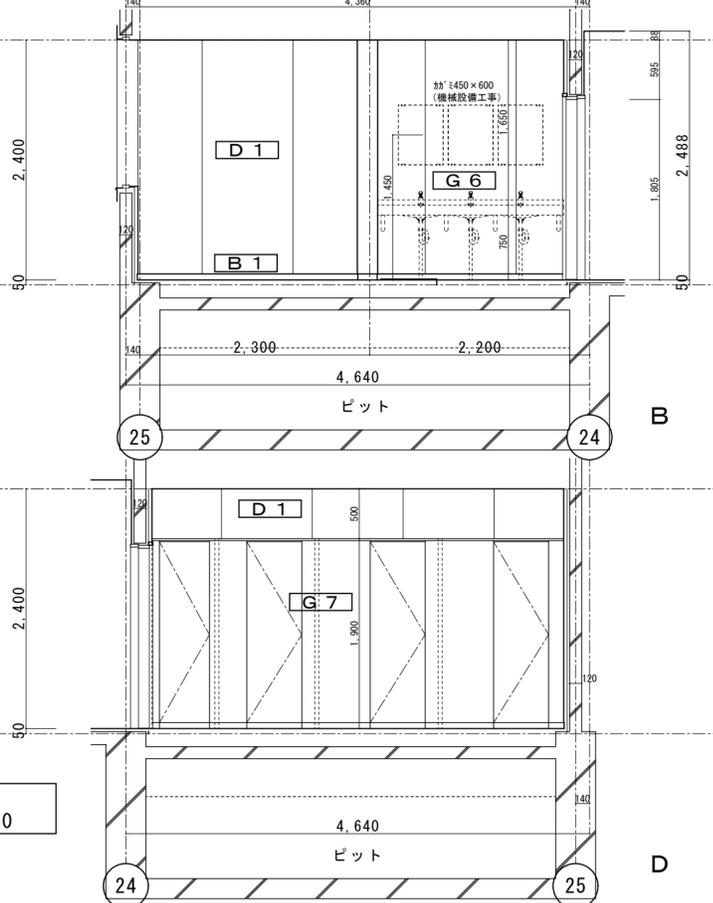
男子便所
展開図 S-1:50

洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

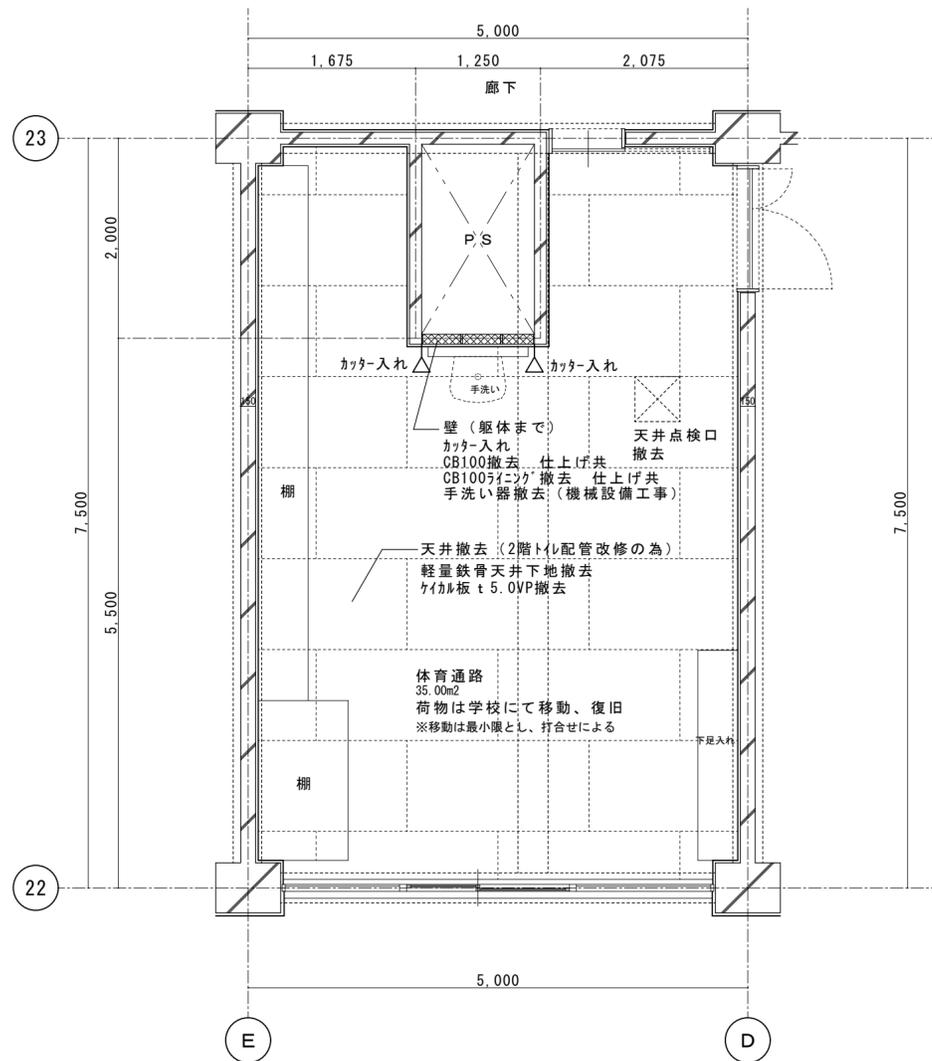
洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

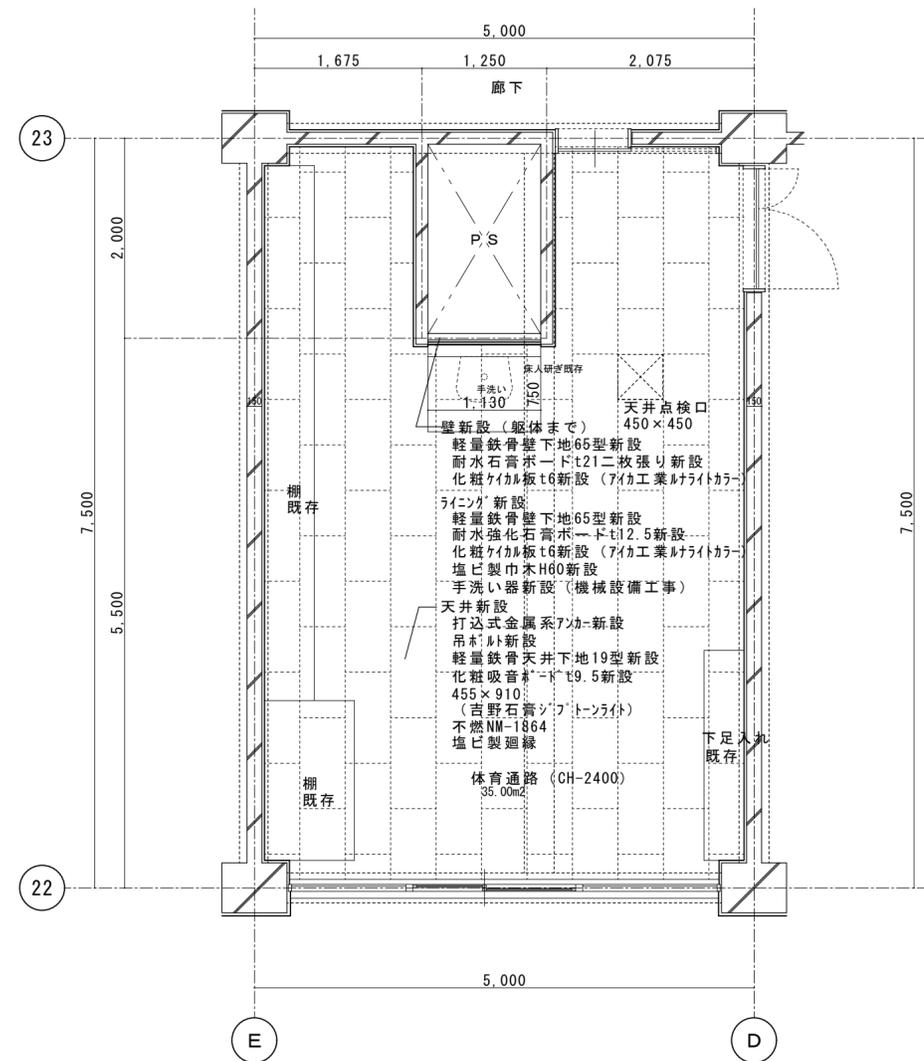


改修前

改修後

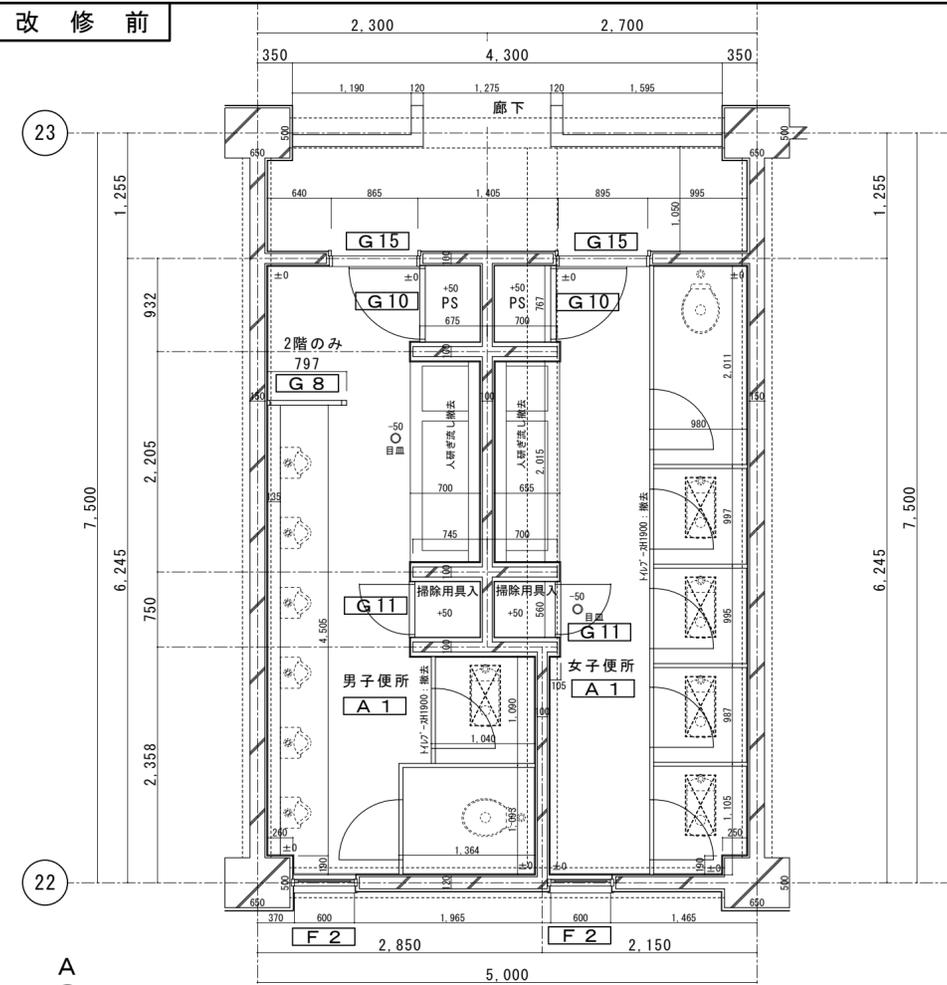


改修前 → 改修後

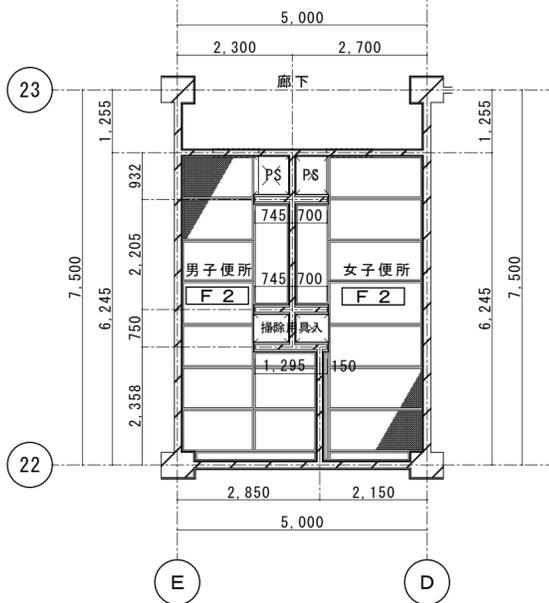


平面図 S-1 : 50

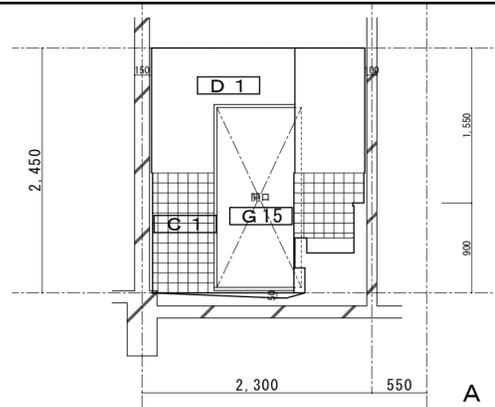
平面図 S-1 : 50



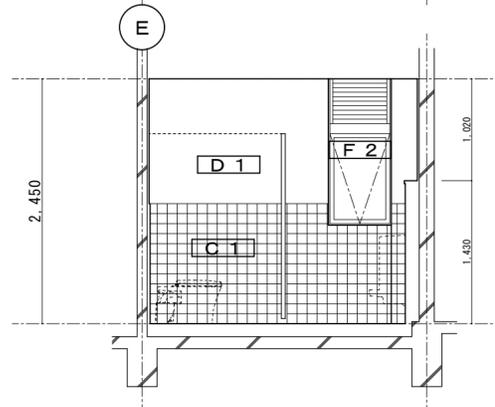
平面図 S-1:50



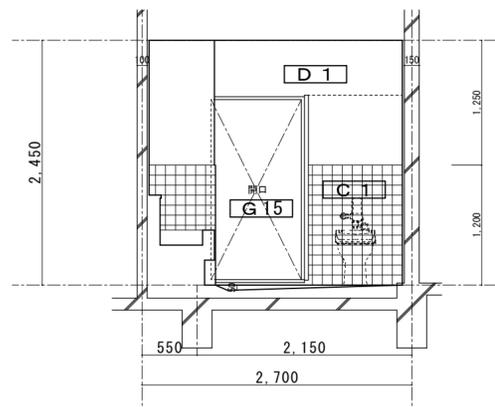
天井伏図 S-1:100



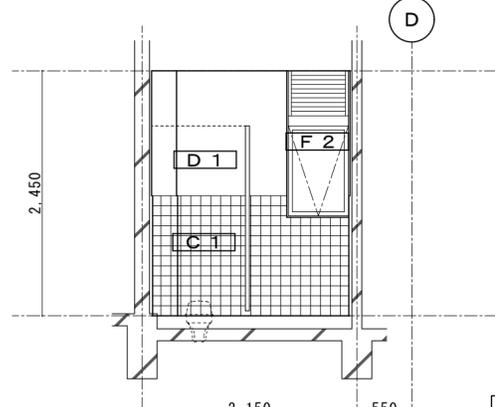
A



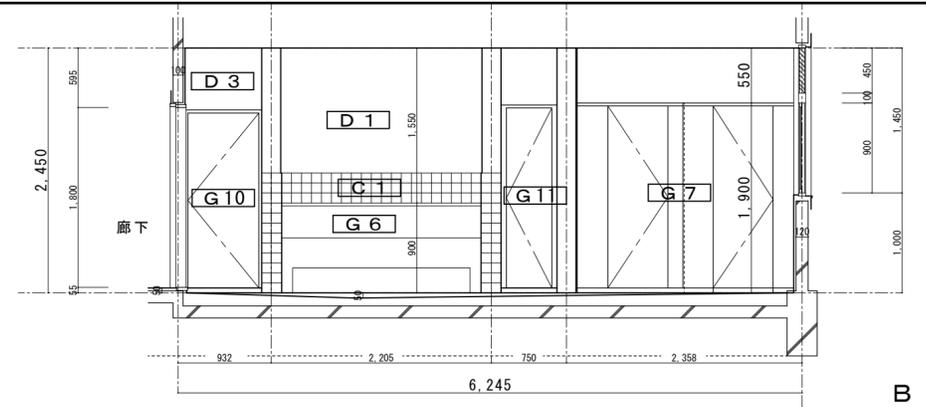
C



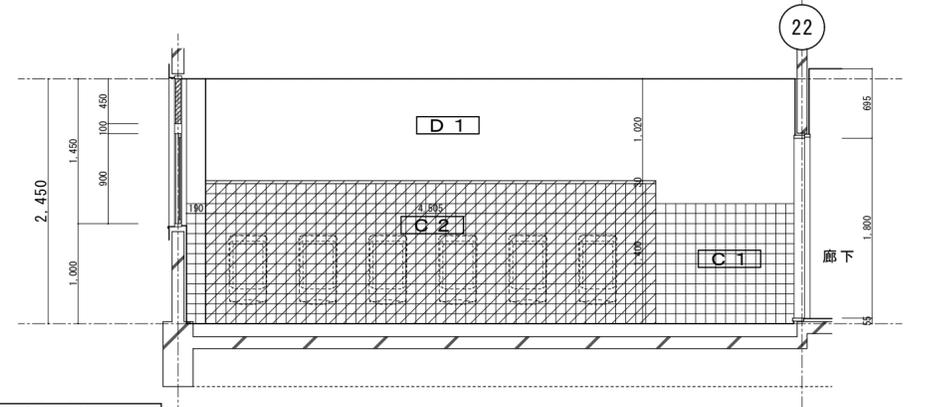
A



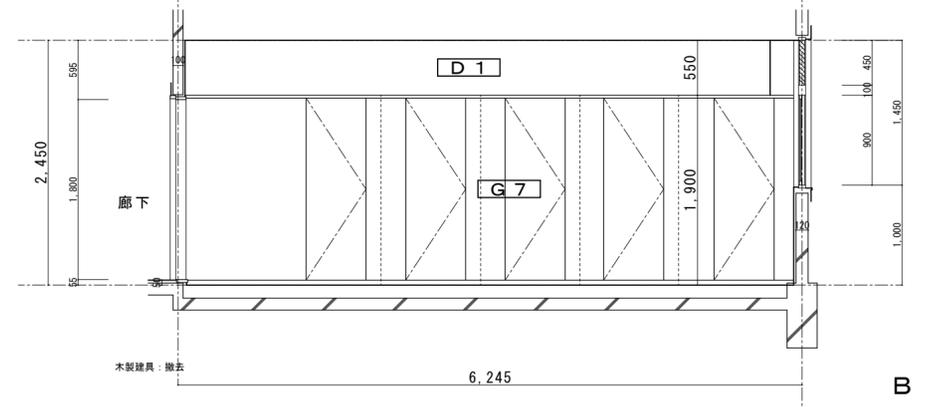
C



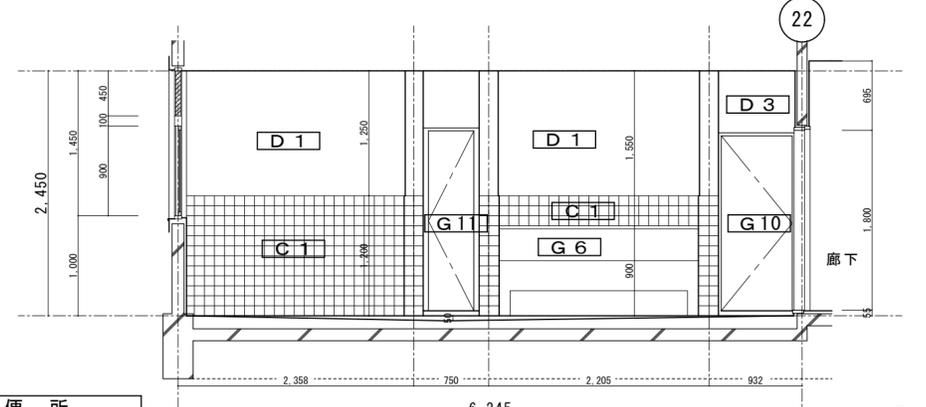
B



D



B

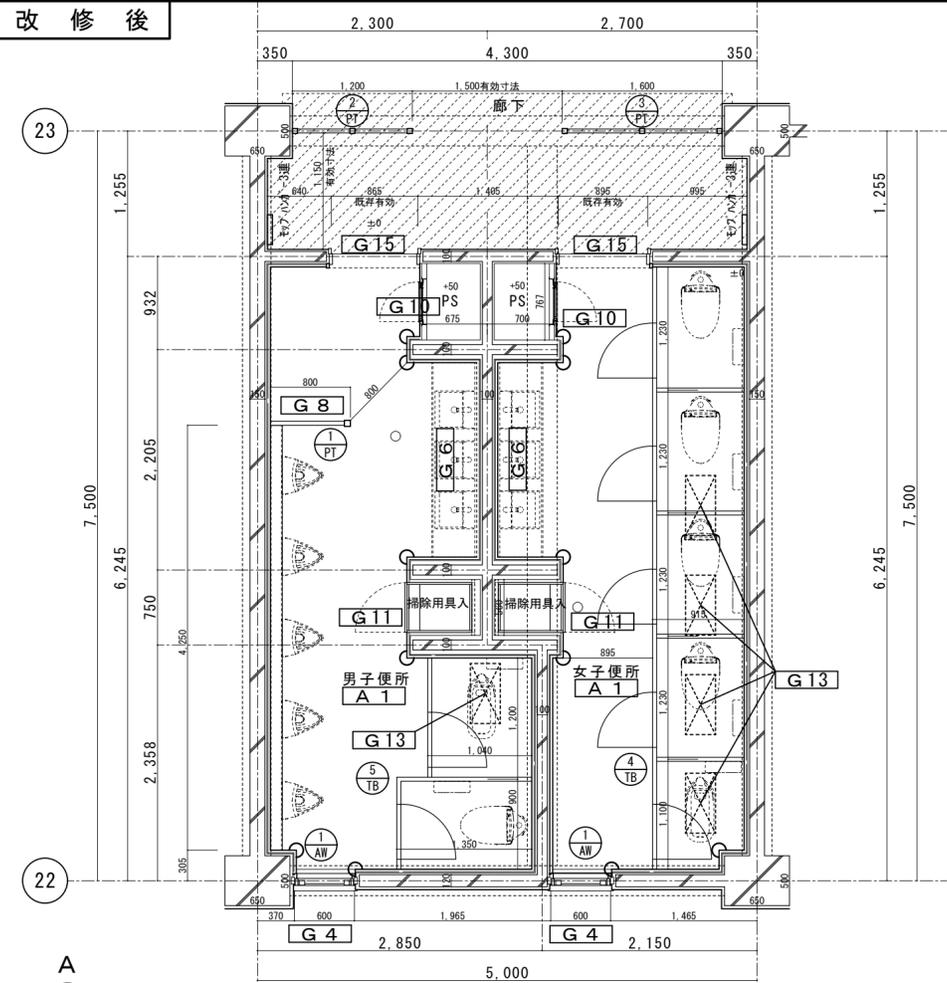


D

男子便所
展開図 S-1:50

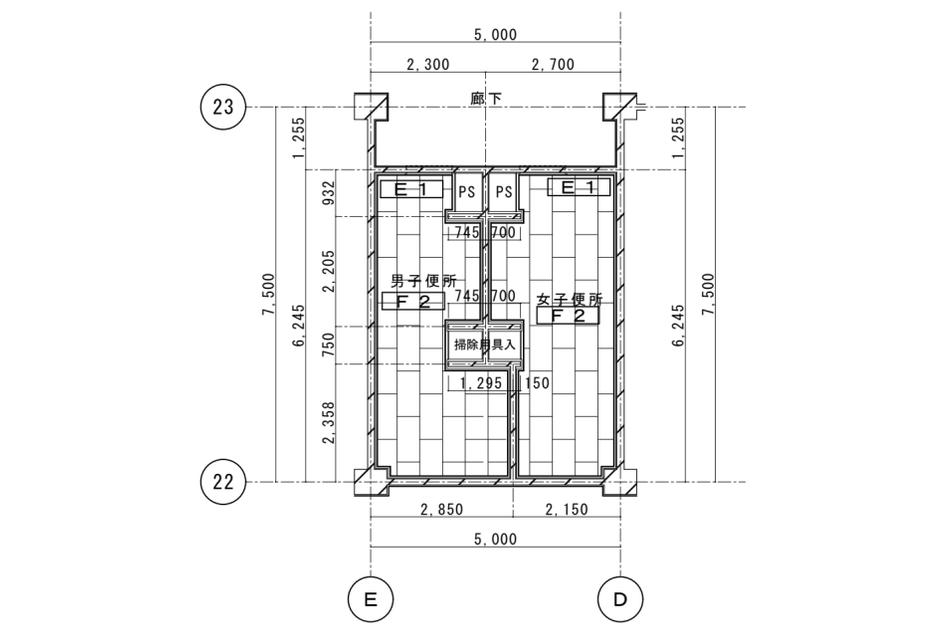
女子便所
展開図 S-1:50

R1 富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskkeit@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部 管財課	課長	副課長	保全G	担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事) 図面名 2、3、4階便所改修前図	図面番号 A S=1:50 S=1:100
				変更年月日										

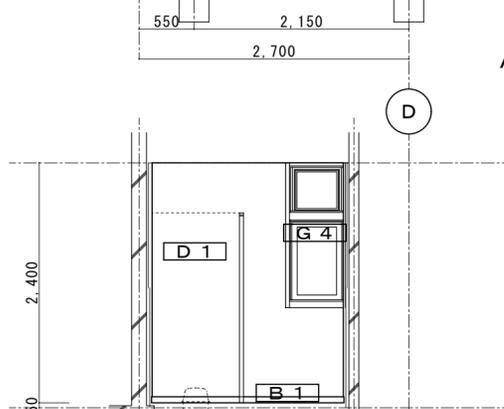
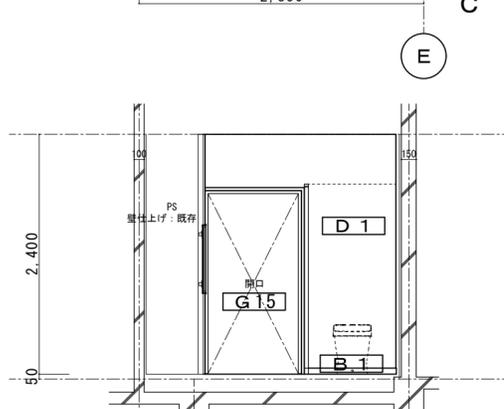
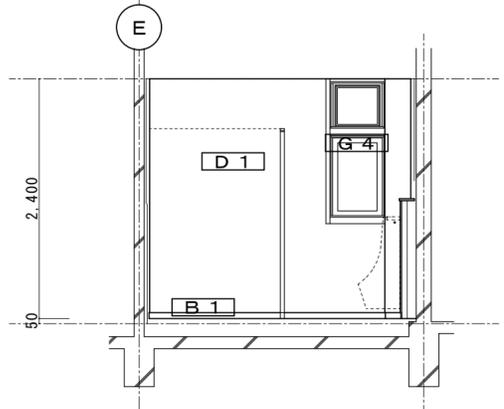
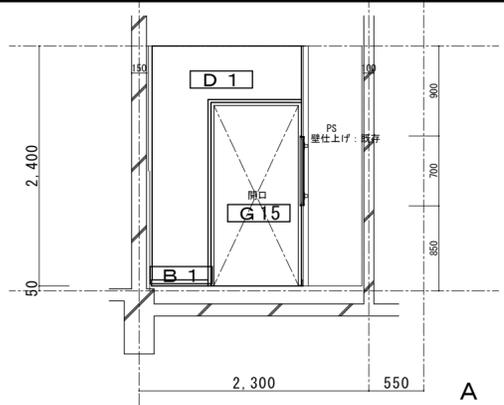


平面図 S-1:50

アルミジョイナー出隅



天井伏図 S-1:100



洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

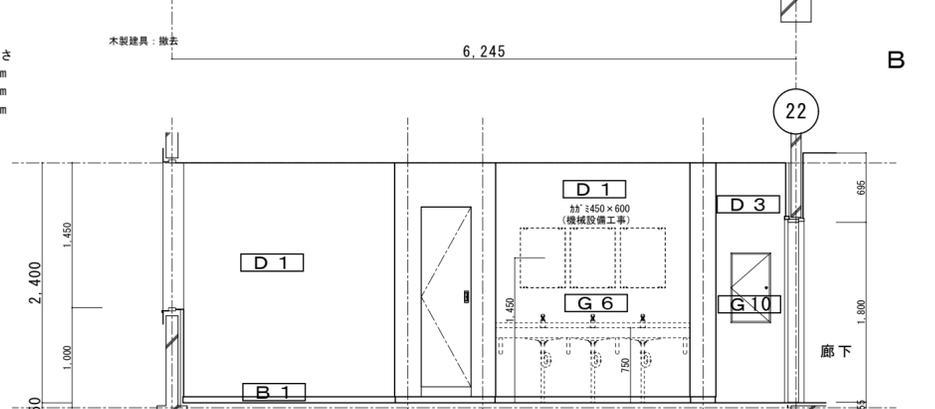
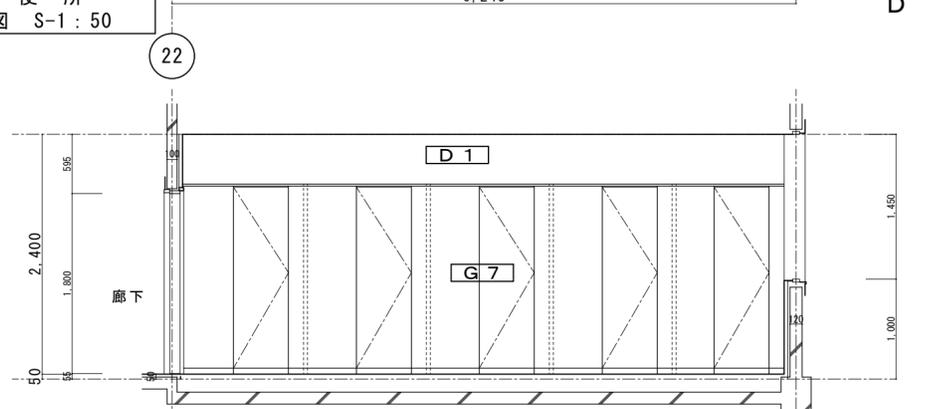
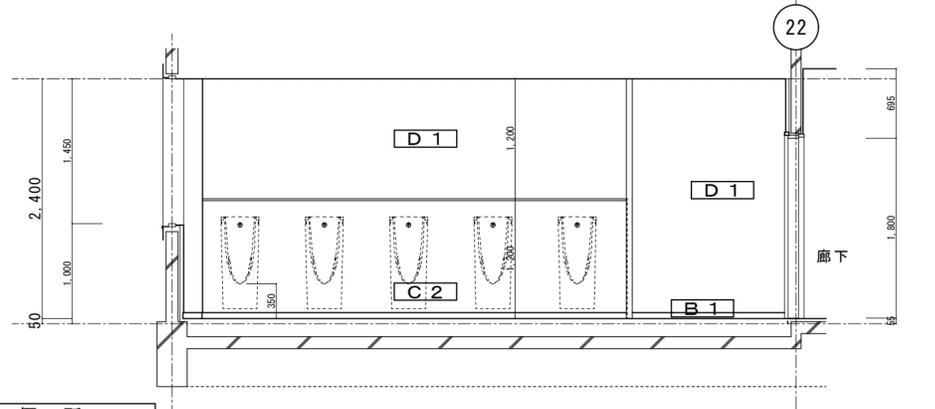
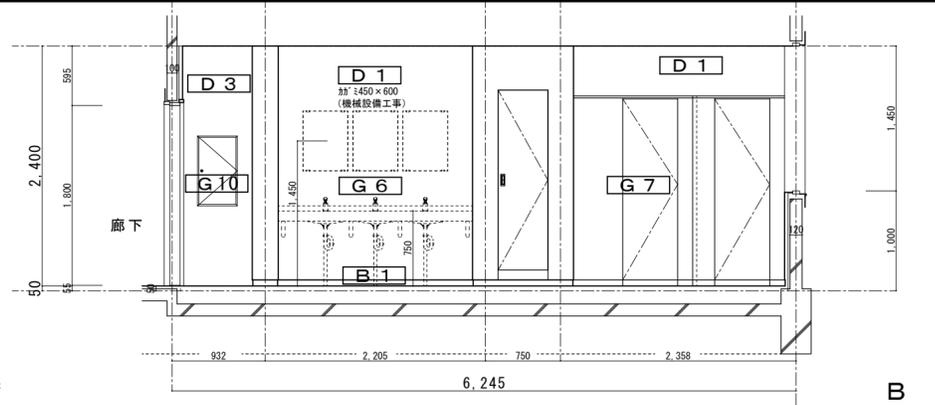
カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

男子便所
展開図 S-1:50

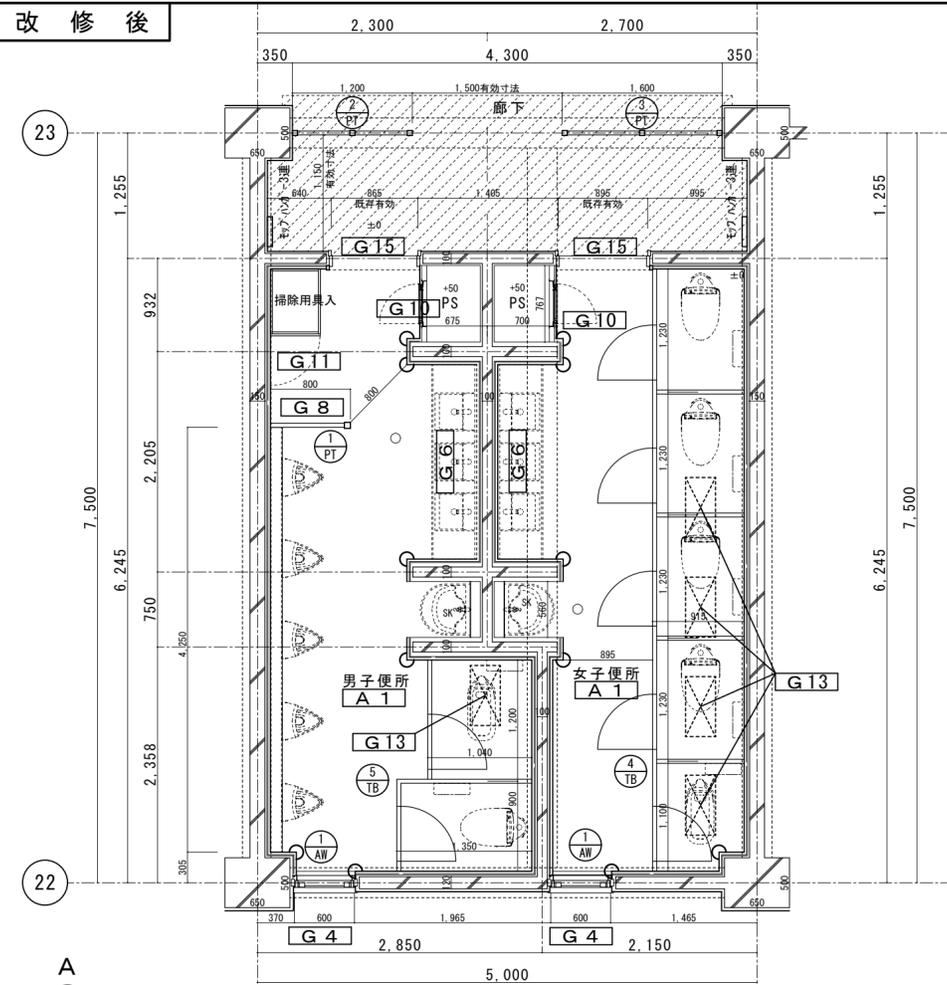
洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

女子便所
展開図 S-1:50



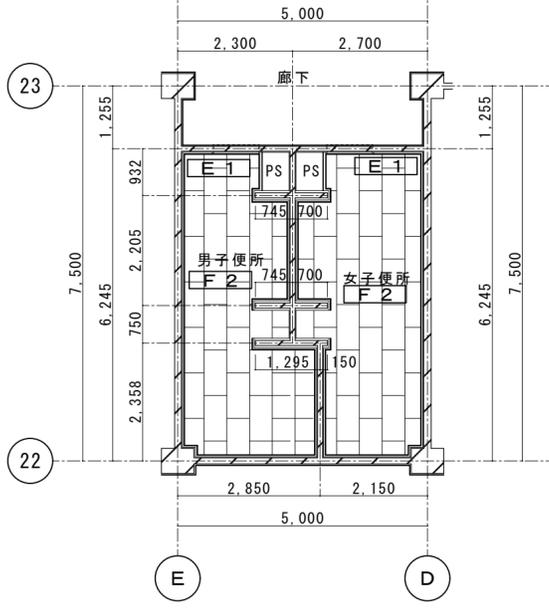
R1 富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskkeit@nifty.com	一級建築士 柳井 博	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部 管財課	課長	副課長	保全G	担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事) 図面名 3階トイレ改修後図	図面番号 A
			登録番号 第85179号	変更年月日										管財課



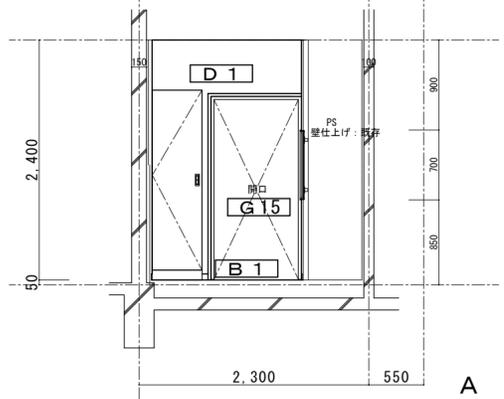
平面図 S-1:50



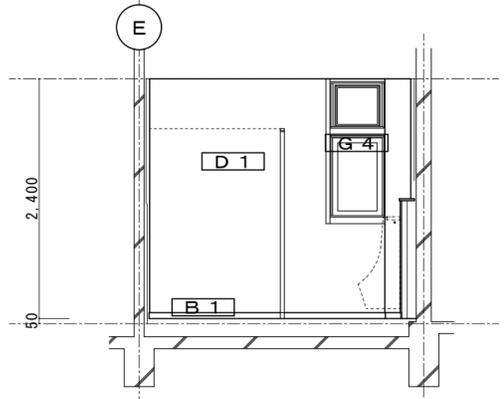
アルミジョイナー出隅



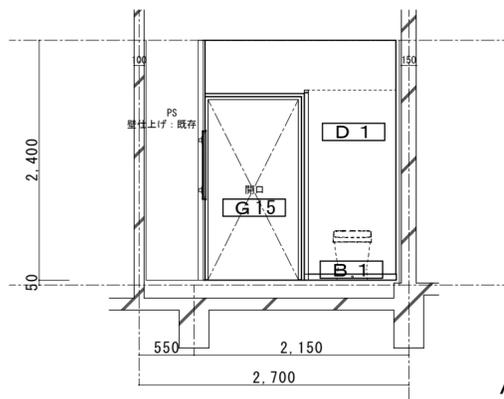
天井伏図 S-1:100



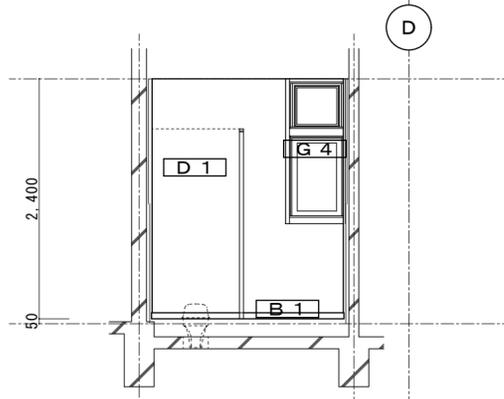
A



C



A

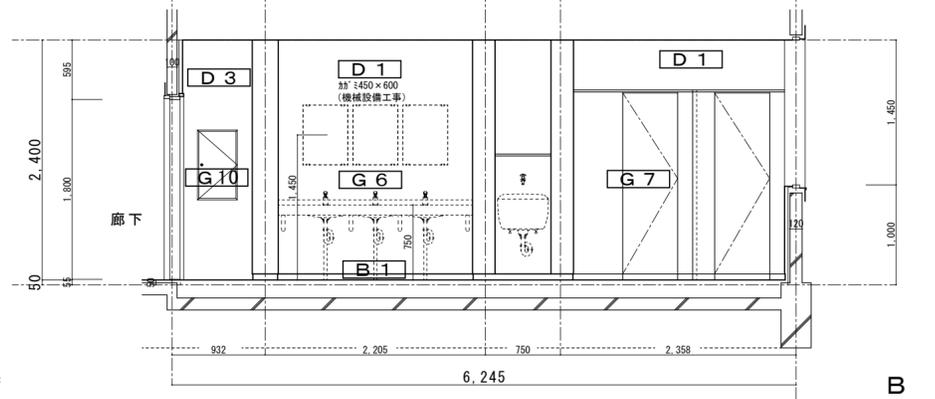


C

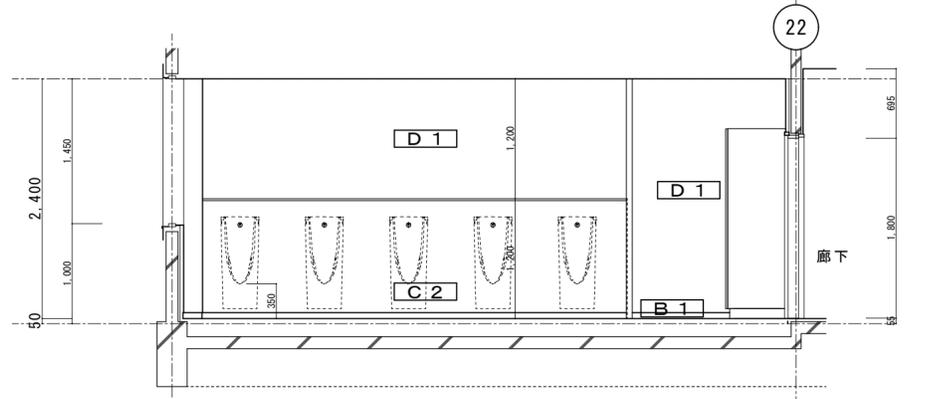
洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

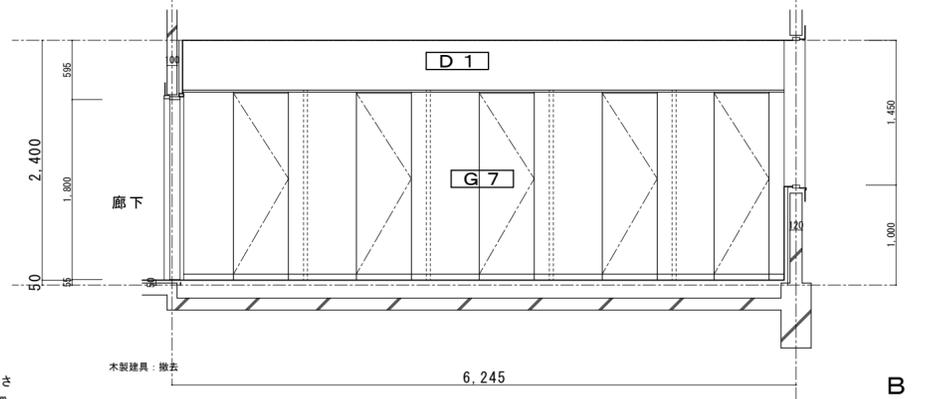
男子便所
展開図 S-1:50



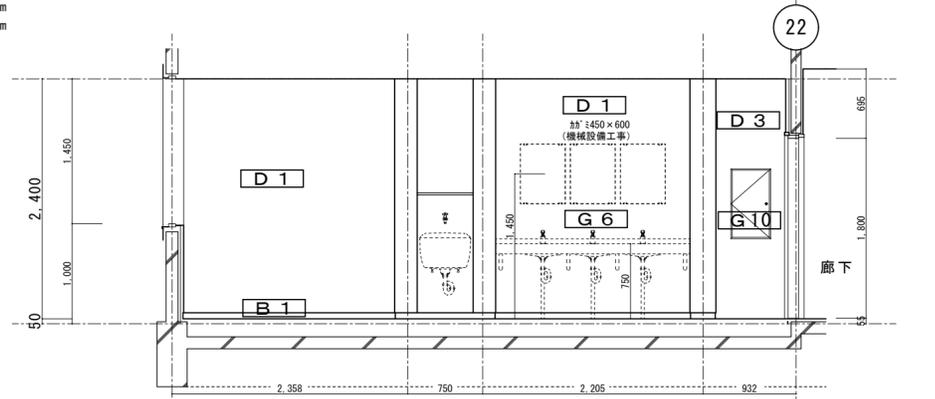
B



D



B



D

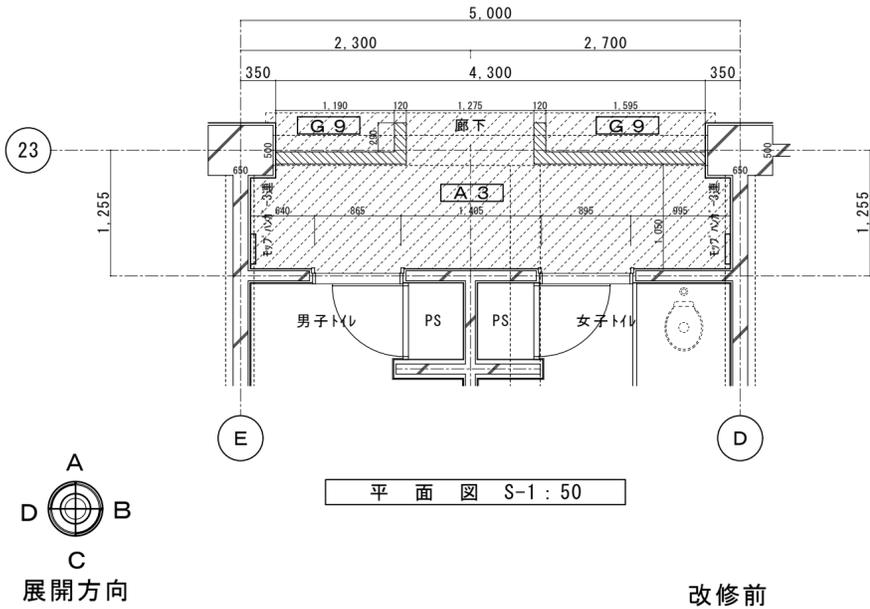
洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

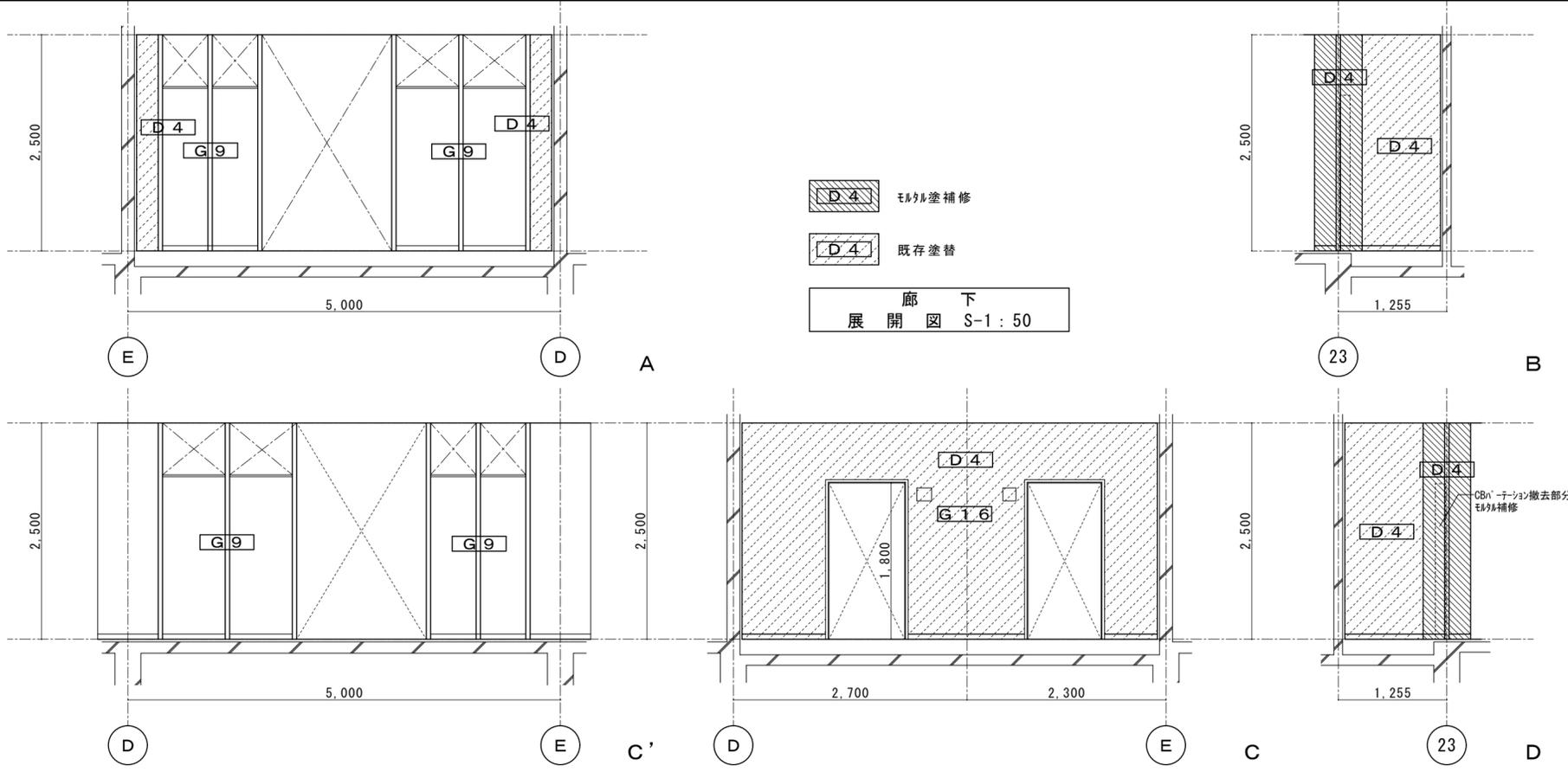
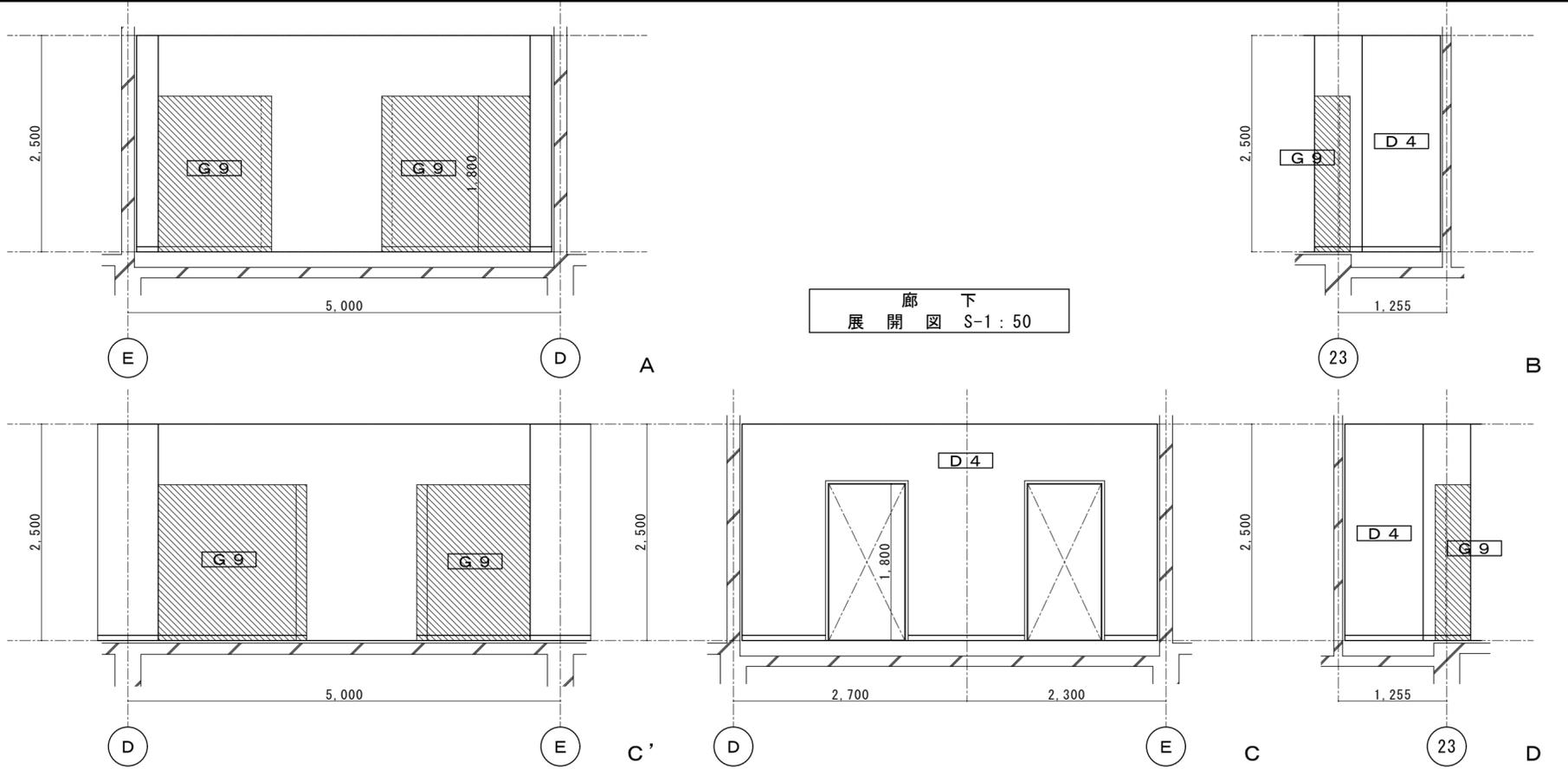
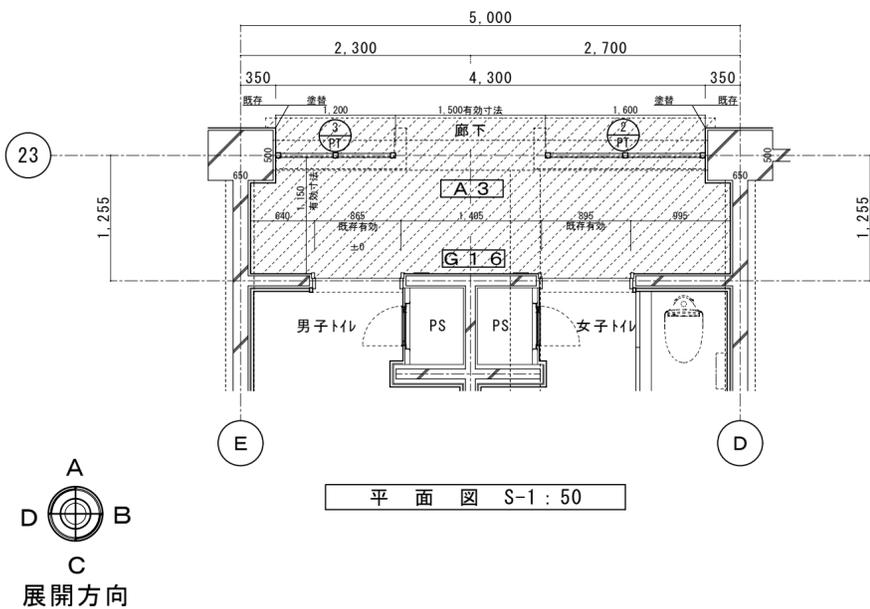
女子便所
展開図 S-1:50

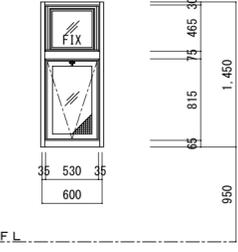
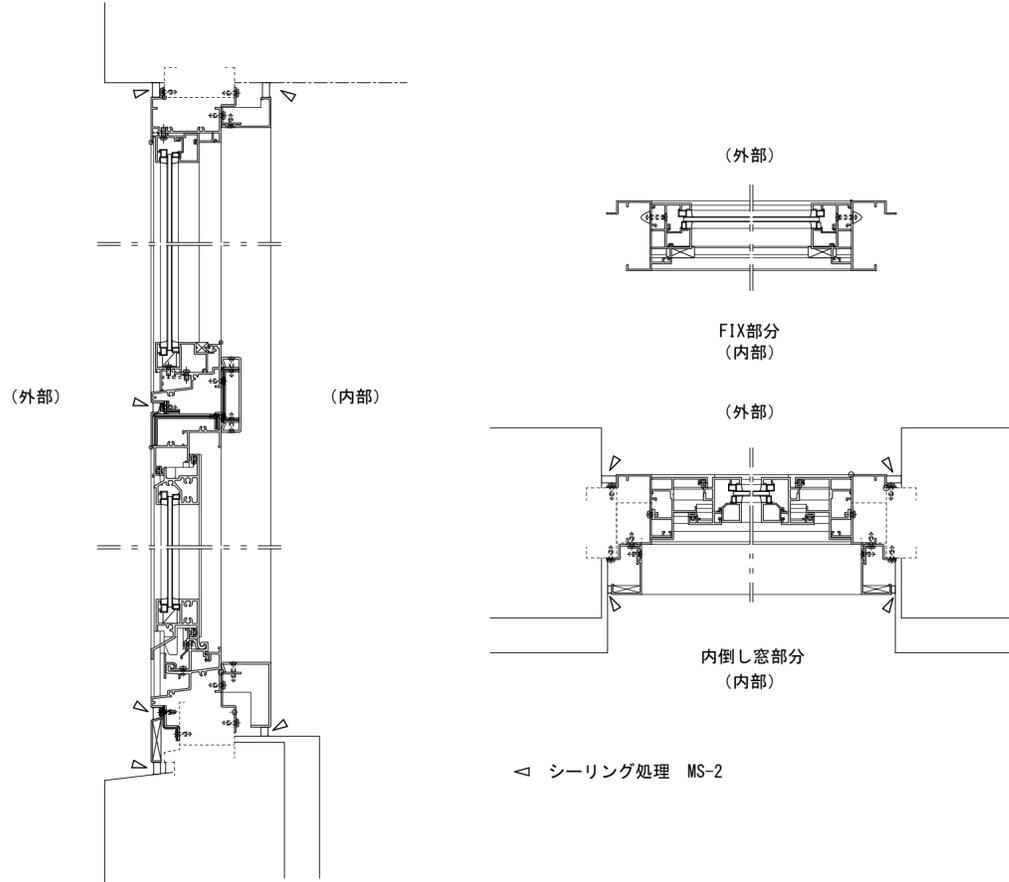
R1 富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部 管財課	課長	副課長	保全G	担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)	図面番号 A
				変更年月日									図面名 2、4階トイレ改修後図	S=1:50 S=1:100

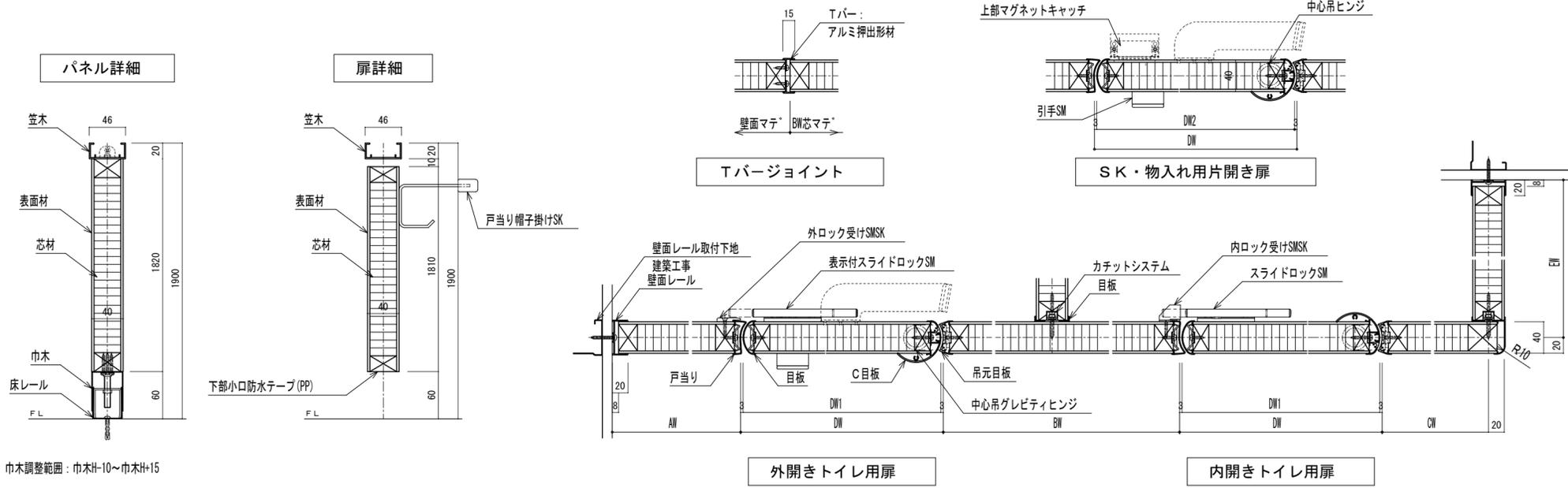
改修前



改修後

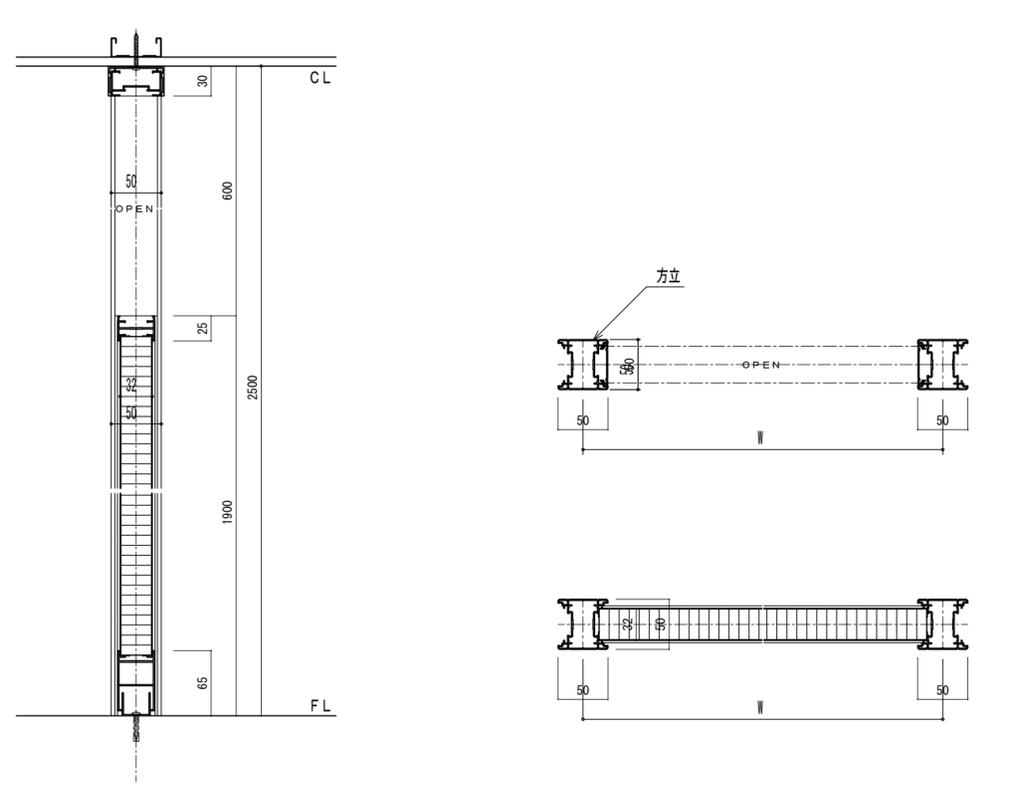


記 号 名	<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">改修後 男子、女子トイレ 16箇所</p>	
形 状 寸 法 S-1:50		
名 称	アルミ内倒し窓+FIX窓	
見 込	70 (枠)	
仕 上	シルバー色	
ガ ラ ス	4.0mm強化型板ガラス ビート固定	
金 物	トップラッチ、ハンドル、アーム、フック棒、網戸、付属金物一式	
備 考	不二サッシ FP-A170 同等品	
詳 細 図 S-1:5		



◇仕様表 (小松ウオール サニティTB-GPRタイプ同等品)

項目	部材	材料 (板厚mm)
パネル	パネル表面材	ポリエステル樹脂化粧板
	芯材	ペーパーコア
	目板/戸当り	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理上>
付属品	巾木/床レール	ステンレス 0.8mm <ヘアライン仕上>
	笠木	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理上>
	壁面レール/コーナーカバー	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理上>
	ヒンジ	中心吊グレビティヒンジ
	ロック	スライドロックSM
その他金物	戸当り帽子掛けSK	



◇仕様表 (小松ウオール ナック-50 SW同等品)

項目	部材	材料 (板厚mm)
骨材	天井レール・床レール	アルミ押出形材 <アルマイト処理上>
	方立・巾木	アルミ押出形材 <アルマイト処理上>
	天井上枠・上枠	アルミ押出形材 <アルマイト処理上>
	コーナーカバー	アルミ押出形材 <アルマイト処理上>
パネル	パネル表面材	垂鉛めっき鋼板 0.45mm <焼付塗装仕上> 冷間圧延鋼板 0.45mm <焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

- 1.1 工事名** 市立諏訪小学校トイレ改修工事（第2期工事）
- 1.2 工事場所** 富士見市大字鶴馬地内
- 1.3 工期** 契約日から 令和2年9月18日（予定）まで（共通仮設費率及び現場管理費の算定を要しない期間を含む）

- 1.4 工事科目**（○印の付いたものを適用する）

○ 電灯コンセント設備	・ テレビ共同受信設備
・ 動力設備	・ テレビ電波障害防除設備
・ 電熱設備	・ 監視カメラ設備
・ 雷保護設備	・ 駐車場管制設備
・ 受変電設備	・ 防犯、入退室管理設備
・ 静止型電源設備	・ 自動火災報知設備
・ 発電設備	・ 自動閉鎖設備
・ 構内情報通信網設備	・ ガス漏れ火災警報設備
・ 構内交換設備	・ 電話配管設備
・ 情報表示設備	・ 中央監視制御設備
・ 映像、音響設備	・ 昇降機設備
・ 拡声設備（非常放送設備）	
○ 誘導支援、呼出し設備	

- 1.5 指定部分** 　○ 無　・有（　　　　　　　　　　工期：平成　年　月　日）
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間**（建設業法により必要になった場合）

- 1 専任期間の始期**

請負契約締結の日から、・現場施工に着手するまで（現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間・平成　年　月　日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 2 専任期間の終期**

工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 3 専任期間の中断**

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

- 1.7 建物概要**

鉄筋コンクリート　地上4階建て

- 1.8 工事概要**

トイレ改修に伴い照明器具等の撤去新設及び配管配線の撤去新設を行う。

- 2 工事仕様**
 - 2.1 共通仕様**

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、市営住宅の場合は、上記事項に加え、公共住宅建設工事共通仕様書に従い施工する。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

- 2.2 特記仕様**（項目は○印のついたものを、特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない）

項 目	特 記 事 項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 工所用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
③ 工所用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
④ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
5 監督員事務所	本工事で　・設ける（規模　　　　　　　　　）　※設けない
⑥ 保　　険	受注者は工事事務物及び工事材料について工期＋約1ヶ月間、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。
⑦ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑧ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※　適用する（契約金額による）　・適用しない
⑨ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン　※　適用する　○適用しない
⑩ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事　・別途) (1) 引渡しを要するもの（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） (2) 買取処分をするもの（電線・電線管　　　　　　　　　　　　　　　　　） (3) 再生資源化を図るもの（蛍光管　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

- ① 金属電線管の塗装**

- 2 鍵**

- 3 地中電線路**

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管（VE） 耐衝撃性塩化ビニル管（HIVE） 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆鋼管（PLP）

- (2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。

- ④ 回路の種別
行先の表示

- ⑤ 電線の接続

- ⑥ 電線管の接続

- 17 残土処分

- 18 再生砂・再生アスコン

- ⑨ 工事カルテ
作成・登録

- ⑩ 耐震施工

- 19 工事カルテ
作成・登録

- ⑩ 耐震施工

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量〔kgf〕に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設置場所	機器種別	・特定の施設		・一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	水 槽 類 <small>（※1）</small>	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
地下・1階	水 槽 類 <small>（※1）</small>	1.5	1.0	1.0	0.6
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類 <small>（※1）</small>	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・配電盤 ・発電装置（防災用） ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- ⑫ はつり

- ⑬ 改修部分の足場

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種(枠組足場) ・B種(単管本足場) ・C種 ・D種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

- (1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
- (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
- (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。

- (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
- (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
- (6) 改修工事等を実施する場合、施工する前後に工事対象面の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
- (7) 調達する工事は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
- (8) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。

- (9) 騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については原則として施設休業期間に設定すること。

- 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。
 - ・同時発注の関連工事：建築工事、機械設備工事

- ⑭ 電気保安技術者 ※置く　・　置かない

- 2.3 工事別一般事項（項目及び特記事項の選択項目は、○印の付いたものを適用する）

項 目	特 記 事 項
① 電灯コンセント設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定を下記基準により実施すること。 ○ JIS C 7612 「照度測定方法」 ・ 学校環境衛生基準 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継棒 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしるカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継棒を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継棒を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
2 動力設備	(1) 動力制御盤及び閉閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	(1) 受雷部突針はLR1とする。 (2) 水平導体又はメッシュ導体は、太さ38mm2以上の銅より線、t3×25mm以上の大きさの銅帯又はt4×25mm以上の大きさのアルミ帯とする。 (3) 引下げ導線は、太さ22mm2以上の銅より線を使用する。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 (端末処理 ・耐塩用 ・一般用) 受 電 電 圧 柱上用高圧ガス 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 負荷開閉器(PAS) 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 主 遮 断 装 置 変圧器設備容量 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA× 台 電灯用 kVA× 台 高圧進相コンデンサ kVar × 台 直列リアクトル ・6％ ・13％ kVar × 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 静止型電源設備	・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・(概要)
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱供給(ロー・エルク)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。 なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

- 2.4 取付高さ

壁付、壁掛けの機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ（mm）	
		一 般	県営住宅
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	1,200
”（身体障害者用）	”	1,100	1,000
”（人感センサー切替用）	”	2,000	2,000
コネクタ、電話用ケーブル、直列コネクタ（一般）	”	300	400
”（和室）	”	150	200
”（台上下）	台上～中心	150	500
”（台上下）	床上～中心	500	500
防水型コンセント	”	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
分電盤、制御盤、開閉器箱	”	900	900
呼出ボタン（身体障害者用）	”	1,800	1,800
復帰ボタン（ ” ）	”	2,000	2,000
廊下表示灯（ ” ）	”		
端子盤	”		

3 その他

- 3.1 他工事との取合区分

発注図又は工事区分表による。
- 3.2 図面上の縮尺

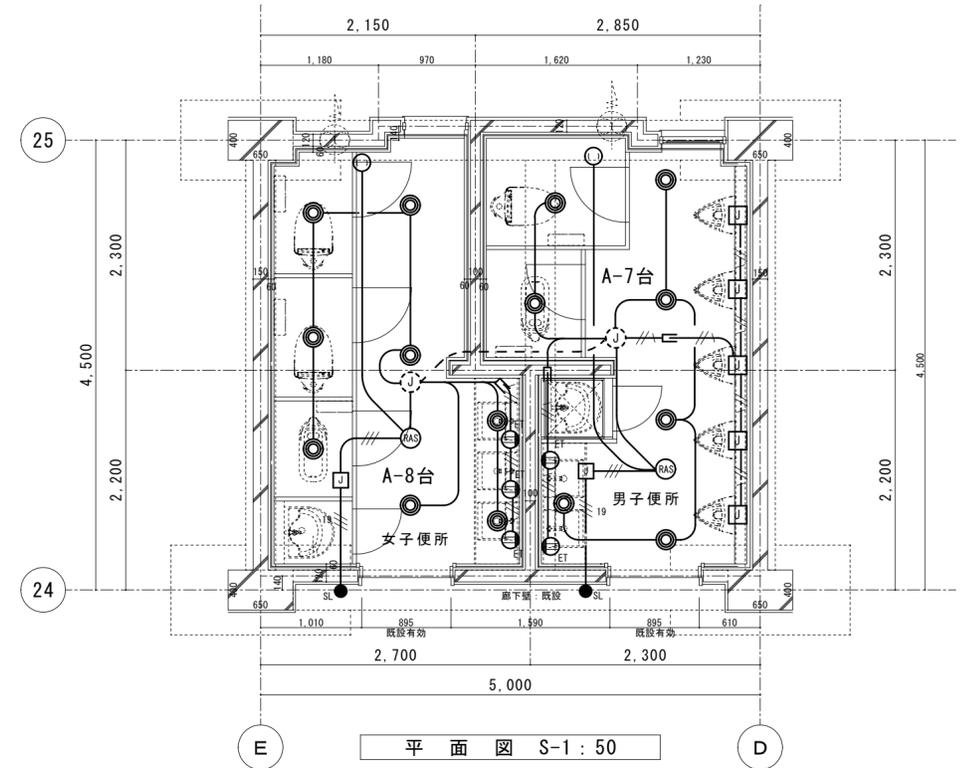
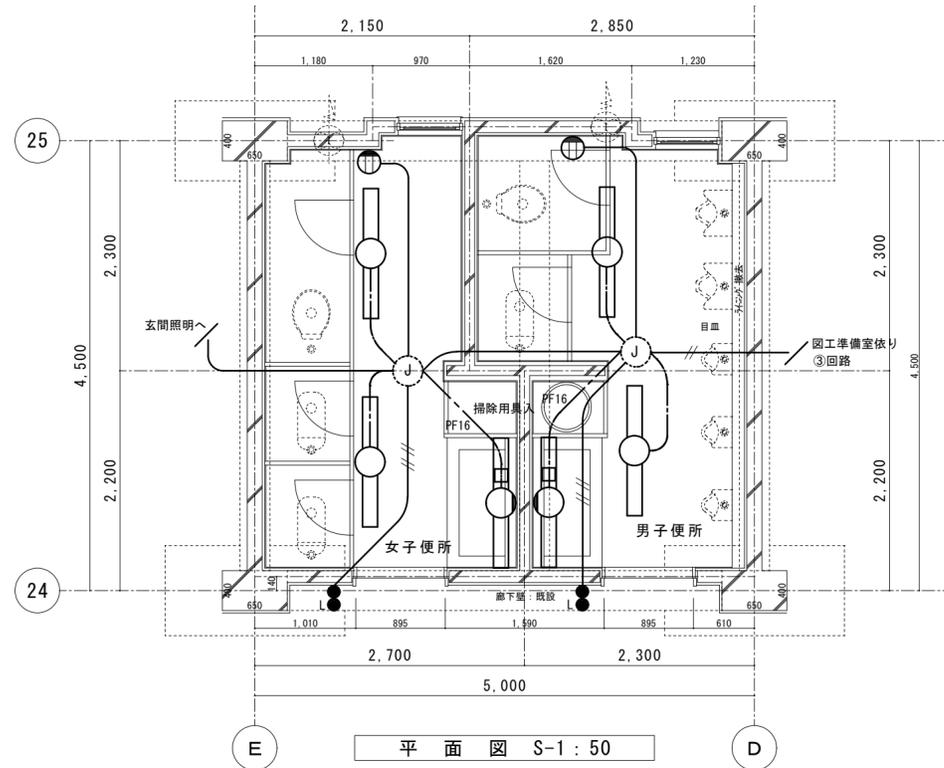
図面上の縮尺は、発注図の大きさを日本工業規格A2版とし縮尺とする。
- 3.3 疑義

本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

富士見市総合政策部管財課	課 長	副課長	主 査	監督員	主 幹	株式会社 柳井設計 <p>一級建築士事務所</p> <p>一級建築士 大臣登録 第85179号 柳井 博</p>	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	施工年度	図面番号	
											市立諏訪小学校トイレ改修工事（第2期工事）	令和2年度	E-01
											図面名称	電気設備工事特記仕様書	
												富士見市大字鶴馬 地内	

改修前

改修後



改修前

改修後

凡例

図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

- IV1. 6x2 (既設配管19)
- IV2. 0x2 (既設配管19)
- IV1. 6x4 (既設配管19)
- VVF1. 6-2C
- VVF1. 6-2C (PF16)
- 照明壁付への立下げメタルボックス+メタルA
- スイッチ 1P15Ax1+1P15AP付
- 換気扇用コンセント 2P15Ax1
- 照明：直付・富士型・FL40Wx1
- 照明：壁付・カバー付・FL40Wx1

撤去

- 照明：直付・富士型・FL40Wx1
- 照明：壁付・カバー付・FL40Wx1
- スイッチ 1P15Ax1+1P15AP付
- コンセント 2P15Ax1
- 照明壁付立下げメタルモール
- 配管内電線 (IV1. 6x2) (IV1. 6x4)
- 天井内隠蔽配線 (VVF1. 6-2C)
- 天井内配管取り合いに依り撤去

凡例

図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

- EM-EEF1. 6-2C
- EM-EEF1. 6-3C
- EM-IEIV1. 6x3 (19)
- EM-EEF1. 6-3C 1本接地線 (PF22)
- 既設配線

接地は既存天井内配管ボックス依り分岐

二重天井内配線は、ケーブル配線とする。

図中特記なき立下げ防護管は、下記とする。

VVFケーブル：PF16

VVFケーブル：PF22

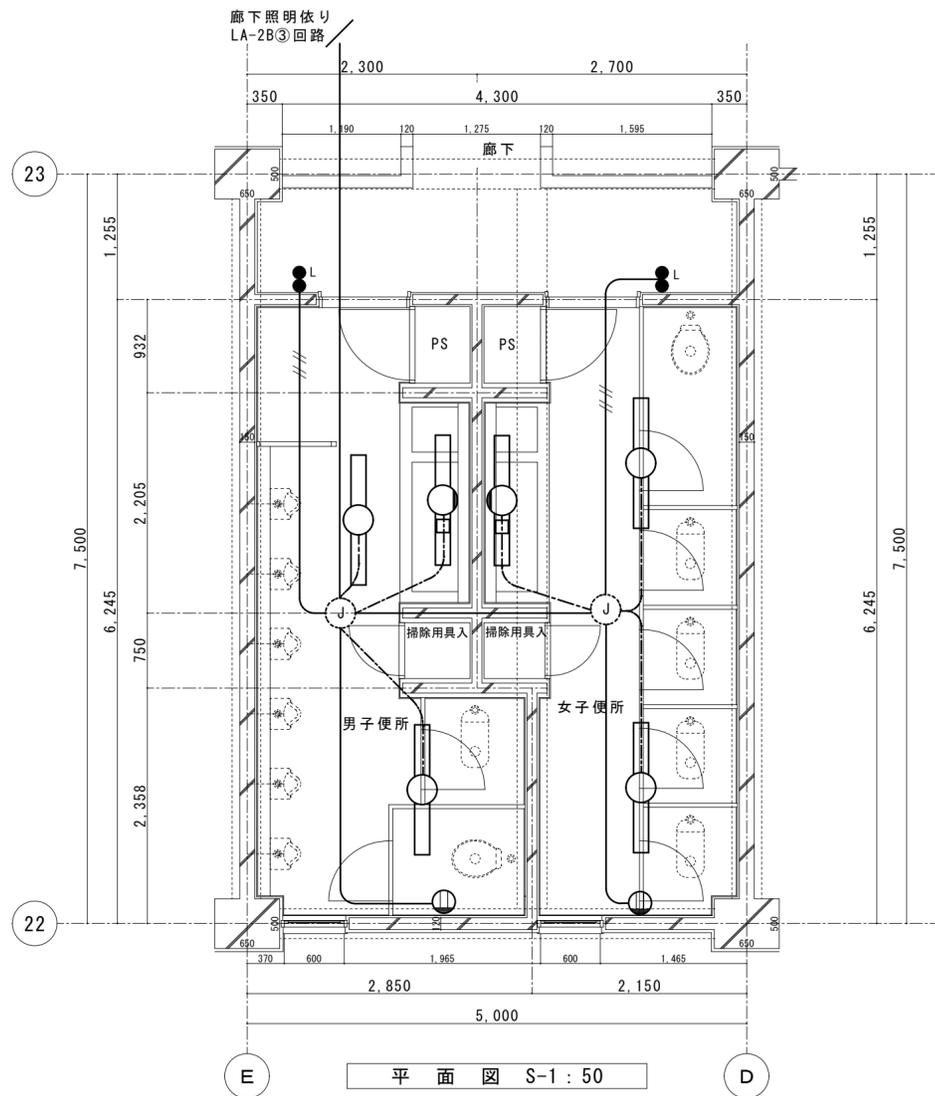
凡例

- RAS トイレセンサー 親 WTK2401K 動作適正位置確認の事
- SL 操作ユニット WTC5820W (トイレ操作)
- ET コンセント2P15Ax1 ET付
- コンセント2P15Ax1 ロック式 換気扇用
- J 小便器センサー用電源
- 立ち下げボックス配管部分既存壁碎り隠蔽とする

A	LEDダウンライト 人感センサー付
<small>本体：アルミダイカスト 埋込穴径：φ150 枠：樹脂/バーンホワイト 器具寸法：幅169×303×埋込高103 反射板：バーンホワイト LED (昼白色) 電源ユニット内蔵 寿命：40,000時間 (光束維持率85%)</small>	
	
<small>東芝 LEDD16001MY-LD9 公 LDS2-LRS1-850LM + LECF10N-W11GH5070P</small>	

照明器具姿図

改修前



凡例

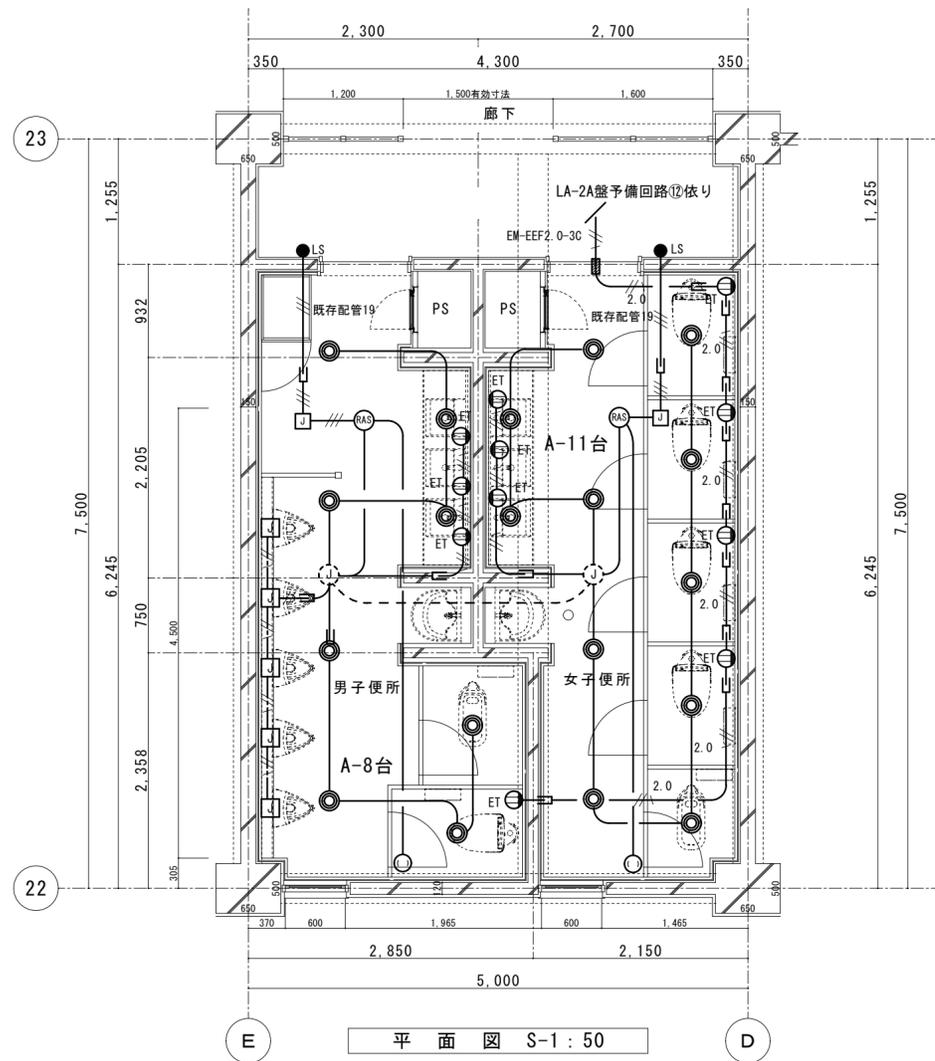
図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

—	IV1. 6x2 (既設配管19)
—	IV2. 0x2 (既設配管19)
—	IV1. 6x4 (既設配管19)
—	VVF1. 6-2C
—	VVF1. 6-2C (PF16)
—	照明壁付への立下げメタルボックス+メタルA
●●L	スイッチ 1P15Ax1 + 1P15AP付
⊕	換気扇用コンセント 2P15Ax1
○	照明：直付・富士型・FL40Wx1
○	照明：壁付・カバー付・FL40Wx1

撤去

照明：直付・富士型・FL40Wx1
照明：壁付・カバー付・FL40Wx1
スイッチ 1P15Ax1 + 1P15AP付
コンセント 2P15Ax1
照明壁付立下げメタルモール
配管内電線 (IV1. 6x2) (1. 6x4)
天井内隠蔽配線 (VVF1. 6-2C)
天井内配管取り合いに依り撤去

改修後



凡例

図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

—	EM-EEF1. 6-2C
—	EM-EEF1. 6-3C
—	EM-IEIV1. 6x3 (19)
—	EM-EEF1. 6-3C 1本接地線 (PF22)
—	EM-EEF2. 0-3C 1本接地線 (PF22)
—	既存配線
—	接地は既存天井内配管ボックス依り分岐
—	二重天井内配線は、ケーブル配線とする。
—	図中特記なき立下げ防護管は、下記とする。
—	VVFケーブル A2条 : PF16
—	VVFケーブル A2条・3C : PF22
—	壁貫通 38φ 100~150mm 防火区画材 国土交通省認定品

凡例

○RAS	トイレセンサー 親 WTK2401K 動作適正位置確認の事
●SL	操作ユニット WTC5820W (トイレ操作)
⊕	コンセント2P15Ax1 ロック式 換気扇用
⊕	小便器センサー用電源
—	立ち下げボックス配管部分既存壁砕り隠蔽とする
⊕ET	コンセント2P15Ax1 E端子付

A LEDダウンライト 人感センサー付

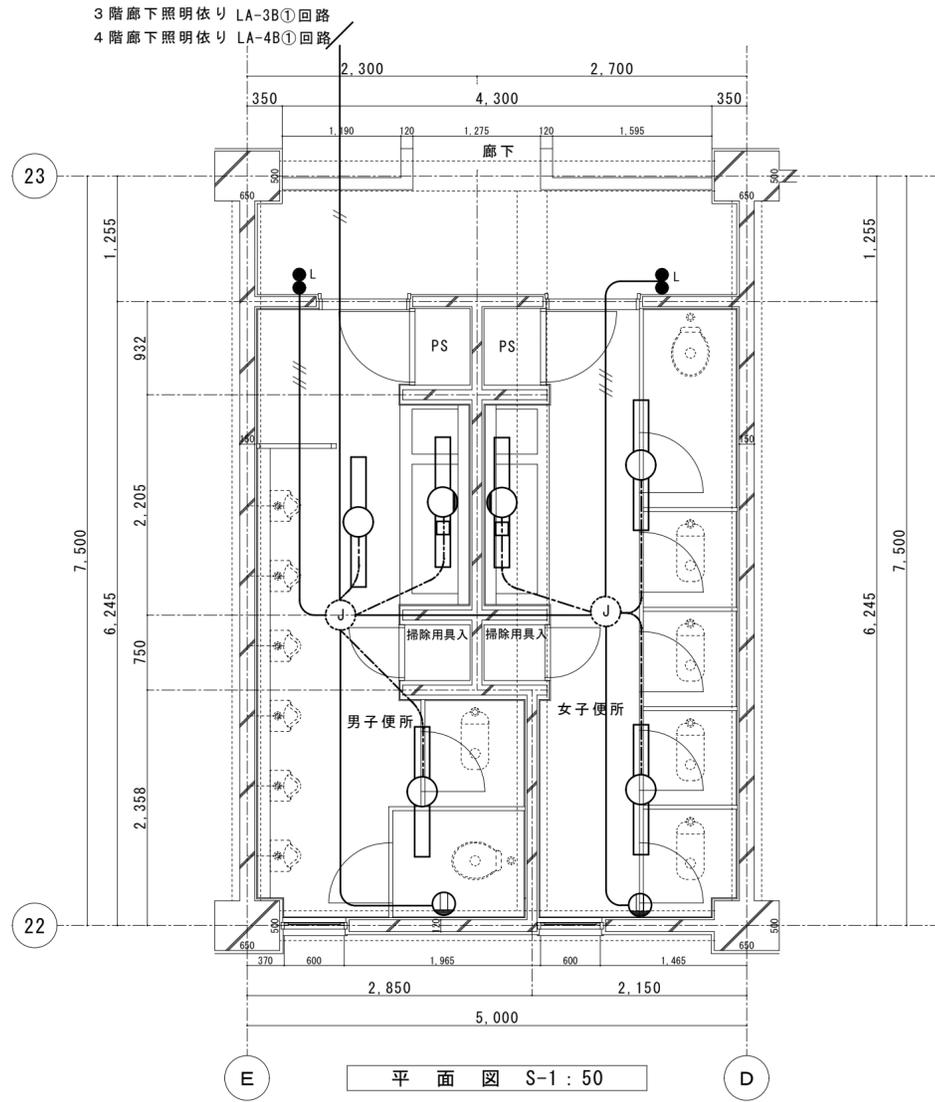
本体：アルミダイキャスト 埋込穴径：φ150
 枠：樹脂・パーシホワイト 器具寸法：幅169×303×埋込高103
 反射板：パーシホワイト
 LED：昼白色
 電源ユニット内蔵 寿命：40,000時間 (光束維持率85%)

東芝 LEDD16001MY-LD9
 公 LDS2-LRS1-850LM + LECF10N-W11GH5070P

照明器具姿図

改修前 → 改修後

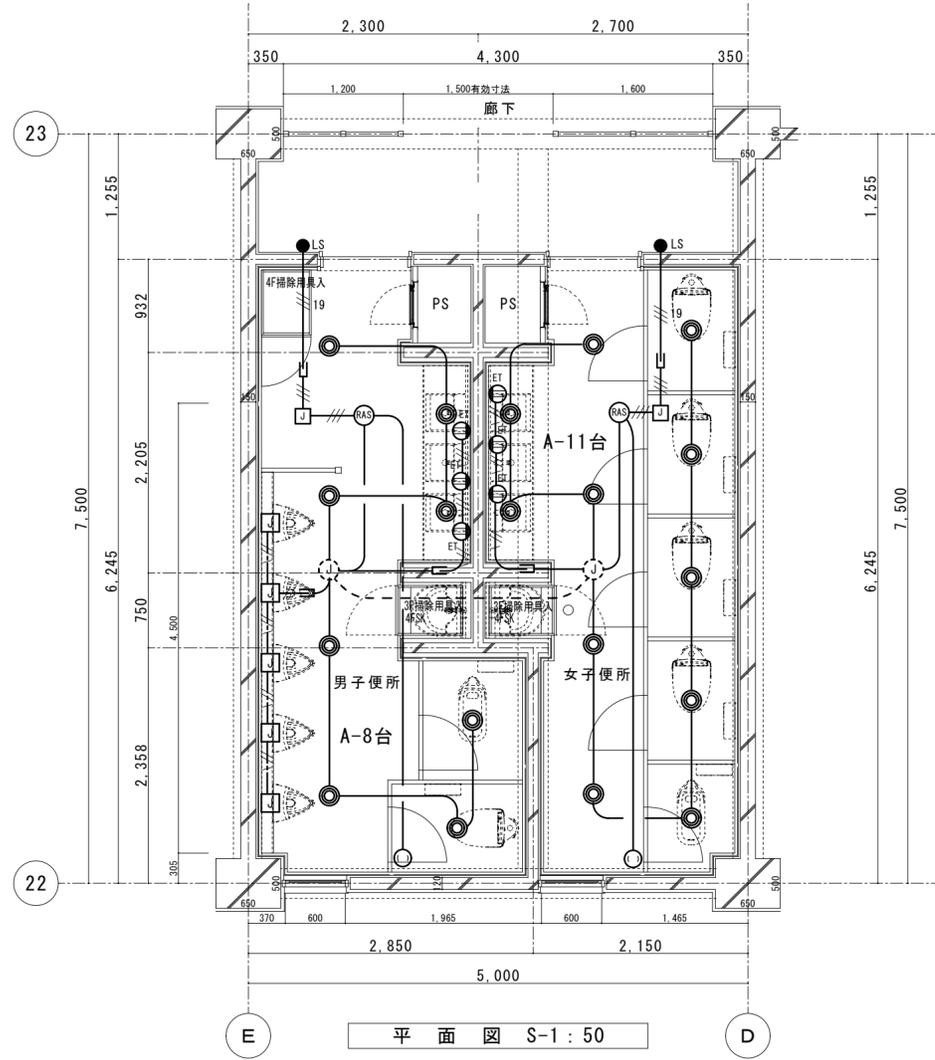
改修前



- 凡例**
- 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。
- IV1.6x2 (既設配管19)
 - IV2.0x2 (既設配管19)
 - IV1.6x4 (既設配管19)
 - VVF1.6-2C
 - VVF1.6-2C (PF16)
 - L 照明壁付への立下げメタルボックス+メタルA
 - L 照明：直付・富士型・FL40Wx1
 - 換気扇用コンセント 2P15Ax1
 - 照明：直付・富士型・FL40Wx1
 - 照明：壁付・カバー付・FL40Wx1

- 撤去**
- 照明：直付・富士型・FL40Wx1
 - 照明：壁付・カバー付・FL40Wx1
 - スイッチ 1P15Ax1+1P15AP付
 - コンセント 2P15Ax1
 - 照明壁付立下げメタルモール
 - 配管内電線 (IV1.6x2) (IV1.6x4)
 - 天井内隠蔽配線 (VVF1.6-2C)
 - 天井内配管取り合いに依り撤去

改修後



- 凡例**
- 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。
- EM-EEF1.6-2C
 - EM-EEF1.6-3C
 - 既設19 EM-LEIV1.6x3 (19)
 - EM-EEF1.6-3C 1本接地線 (PF22)
 - 既存配線
- 接地は既存天井内配管ボックス依り分岐
二重天井内配線は、ケーブル配線とする。
図中特記なき立下げ防護管は、下記とする。
- VVFケーブル1束 : PF16
VVFケーブル2束・3C : PF22

- 凡例**
- RAS トイレセンサー 親 WTK2401K 動作適正位置確認の事
 - SL 操作ユニット WTC5820W (トイレ操作)
 - ET コンセント2P15Ax1 ET端子付
 - コンセント2P15Ax1 ロック式 換気扇用
 - J 小便器センサー用電源
- 立ち下げボックス配管部分既存壁貼り隠蔽とする

A LEDダウンライト 人感センサー付

本体：アルミダイカスト 埋込穴径：φ150
 枠：樹脂/パーズンホワイト 器具寸法：幅169×303×埋込高103
 反射板：パーズンホワイト LED (昼白色) 寿命：40,000時間 (光束維持率85%)
 電源ユニット内蔵

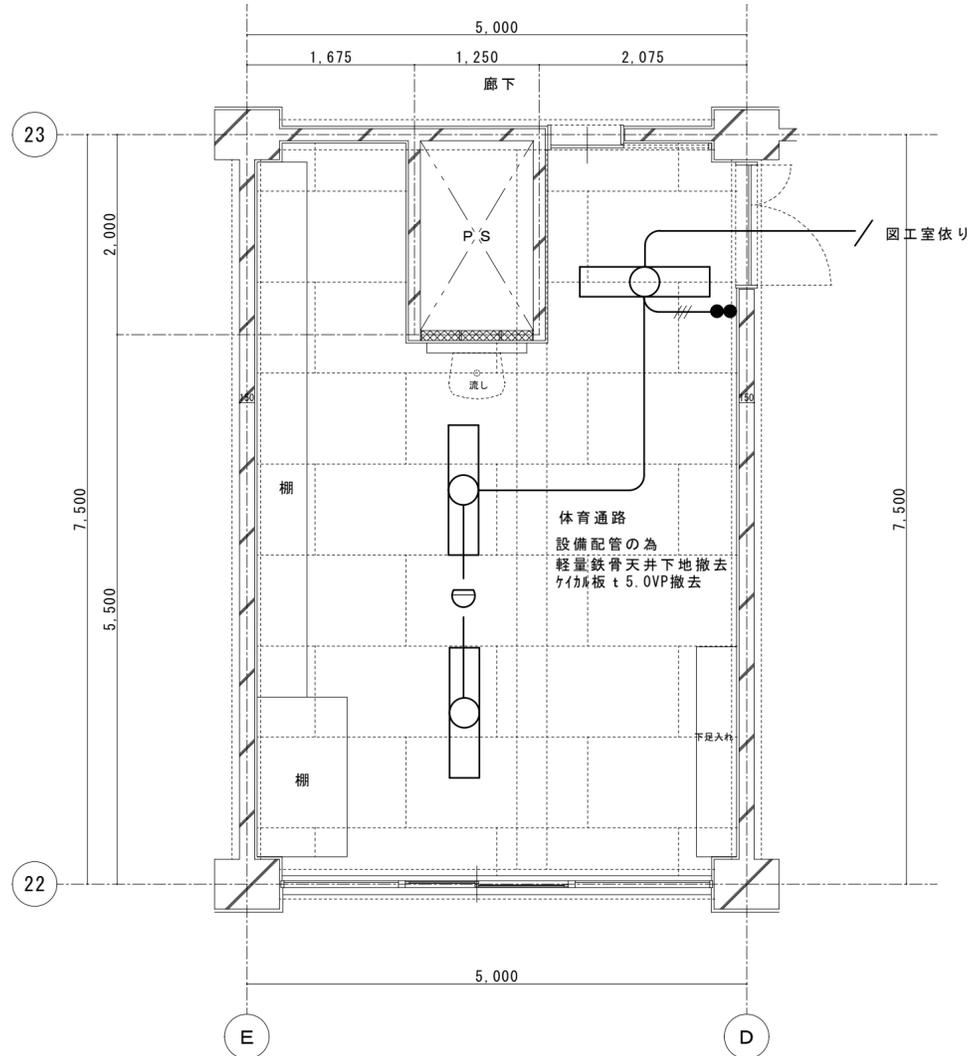
東芝 LEDD16001MY-LD9
 + LECF10N-W11GH5070P
 公 LDS2-LRS1-850LM

照明器具姿図

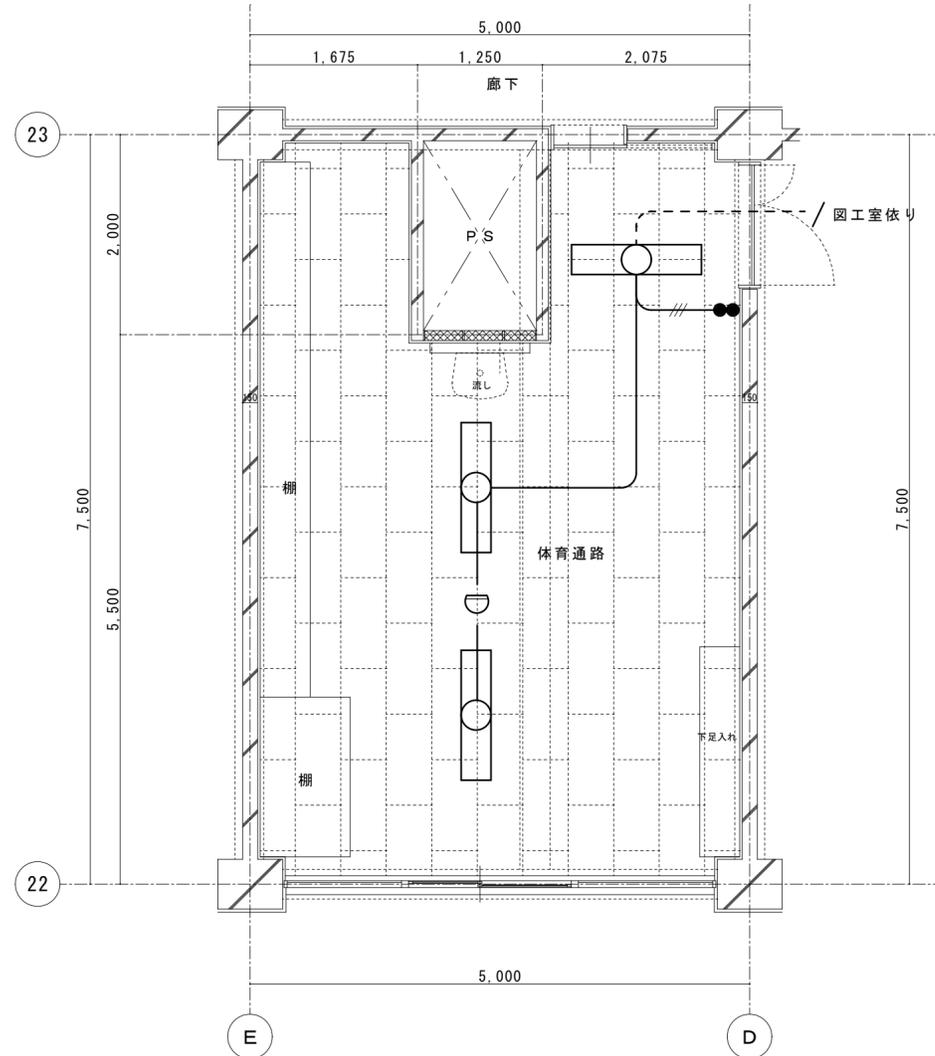
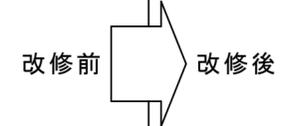
改修前 → 改修後

改修前

改修後



平面図 S-1:50



平面図 S-1:50

凡例
 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

	IV1.6x2 (既設配管19)
	IV1.6x3 (既設配管19)
	スイッチ 1P15Ax2
	照明：直付・富士型・FL40Wx2
	自火報 差動式スポット 2種

撤去

照明：直付・富士型・FL40Wx2
自火報 差動式スポット 2種
スイッチ 1P15Ax2
天井内配管配線

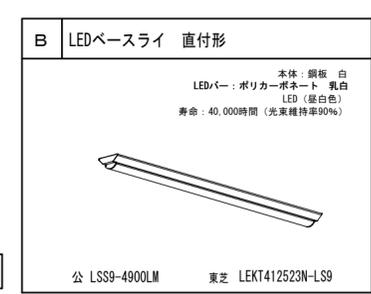
凡例
 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

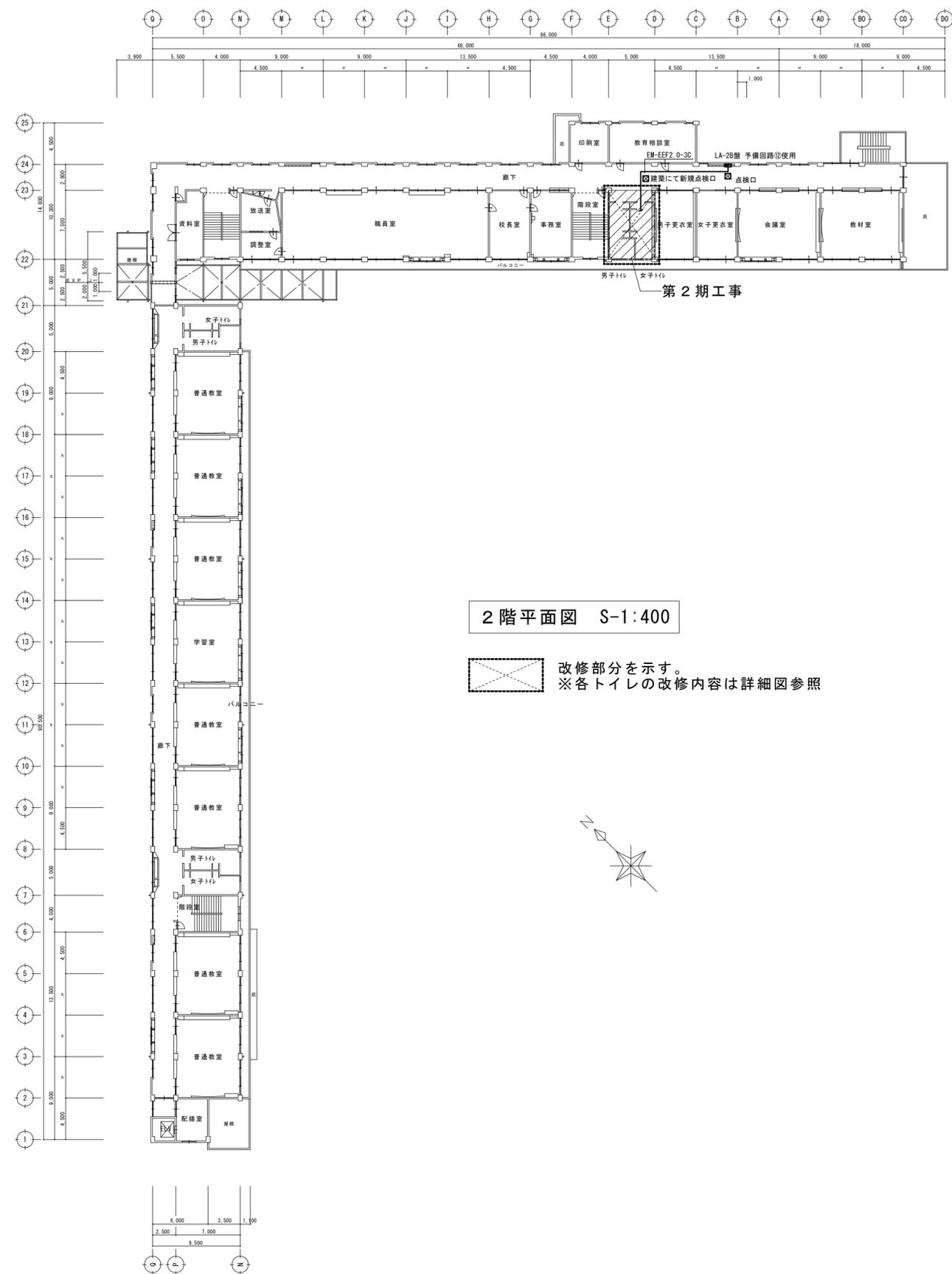
	EM-EEF1.6-2C
	IV1.6x4 (既設配管19)
	スイッチ 1P15Ax2 新設
	照明：直付・富士型・LED40W相当x2 新設
	自火報 差動式スポット 2種 新設

特記

照明・スイッチ新設とする。
自火報 差動式スポット 2種 新設とする。

照明器具姿図





2階平面図 S-1:400

改修部分を示す。
※各トイレの改修内容は詳細図参照

R1 富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisekai@nifty.com	一級建築士 柳井 博	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部 管財課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)	図面番号 E
			登録番号 第85179号	変更年月日									図面名 2階分岐幹線図	S=1:400

○ 空 気 調 和 設 備	1 設計温湿度	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">外 気</th> <th colspan="3">屋 内</th> </tr> <tr> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。		外 気			屋 内			湿度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%	1 長方形ダクト ※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高さ2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)	●換気設備 ② 円形ダクト ※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU) ・耐火二層換気管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(・保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。 3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト 4 チャンパー (1)内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。(2)消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300・300×500 ※400×600 ・550×750 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパは雨水が滞留しないようにする。 5 ダンパー (1)防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2)ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・) 6 多湿箇所の排気ダクト (1)排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管(VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管)を使用できる。 ※浴室(シャワー室、脱衣室を含む)。(2)水抜き管は(※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・)の排気ダクトには設ける。 7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(ロ)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※(※厨房・湯室 ・)用の隠蔽ぺい部ダクト(仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による)	① 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示(図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む)</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シスター内配管)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIPV</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地中埋設部(水道直結部分)</td> <td>・HIPV ・水道用ステンレス鋼管</td> </tr> <tr> <td>・水道用ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地中埋設部(一般部分)</td> <td>※HIPV ・水道用ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td>・水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居室住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIPV</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIPV</td> </tr> <tr> <td>・水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">湿潤シスター内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>・水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地中埋設部(一般部分)</td> <td>※HIPV ・水道用ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td>・水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIPV</td> </tr> <tr> <td>・ポリブテン管</td> </tr> </tbody> </table> (注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWMA G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部(圧縮 ※ブロー以、拡管) 便所・廊下流し廻り露出配管(※拡管)とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 3. 飲料水以外の給水は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。	施工箇所	管 種 別		床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む)	※SUS ・SGP-PD	ウエット厨房、浴室等の湿潤シスター内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HIPV	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部(水道直結部分)	・HIPV ・水道用ステンレス鋼管	・水道用ポリエチレン管	地中埋設部(一般部分)	※HIPV ・水道用ポリエチレン管	・水道配水用ポリエチレン管(PE)	居室住宅 住戸内	※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法)	※SUS ・SGP-PD ・HIPV	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む)	※SUS ・SGP-PD ・HIPV	・水道配水用ポリエチレン管(PE)	湿潤シスター内配管	※SUS ・SGP-PD	・水道配水用ポリエチレン管(PE)	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	・ポリブテン管	地中埋設部(一般部分)	※HIPV ・水道用ポリエチレン管	・水道配水用ポリエチレン管(PE)	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIPV	・ポリブテン管	1 配管材料 ・露出部 M銅管 その他 保温付被覆鋼管(M銅管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管(さや管ヘッダー工法) 2 絶縁フレンジ 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 3 弁 類 (1)規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。(2)ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 4 ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型 5 電気給湯器 炊用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。
		外 気			屋 内																																																													
		湿度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (RH)																																																											
	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%																																																											
	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%																																																											
	施工箇所	管 種 別																																																																
		床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む)	※SUS ・SGP-PD																																																															
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シスター内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HIPV																																																																
	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																
	地中埋設部(水道直結部分)	・HIPV ・水道用ステンレス鋼管																																																																
		・水道用ポリエチレン管																																																																
	地中埋設部(一般部分)	※HIPV ・水道用ポリエチレン管																																																																
		・水道配水用ポリエチレン管(PE)																																																																
	居室住宅 住戸内	※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法)																																																																
		※SUS ・SGP-PD ・HIPV																																																																
	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む)	※SUS ・SGP-PD ・HIPV																																																																
		・水道配水用ポリエチレン管(PE)																																																																
	湿潤シスター内配管	※SUS ・SGP-PD																																																																
・水道配水用ポリエチレン管(PE)																																																																		
保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																	
	・ポリブテン管																																																																	
地中埋設部(一般部分)	※HIPV ・水道用ポリエチレン管																																																																	
	・水道配水用ポリエチレン管(PE)																																																																	
その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIPV																																																																	
	・ポリブテン管																																																																	
3 煙 道	(1)鉄板厚 ※3.2mm ・4.5mm (2)ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3)ばいじん量測定口 ※設ける(測定口は80φとする) ・設けない	5 ダンパー (1)防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2)ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・)	2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。	○消火設備	1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白)Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIPV 消火用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白)Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIPV 不活性ガス消火用 ※STPG370(白)Sch40 ・STPG370(白)Sch80																																																													
4 煙 突	※別途 ・本工事	6 多湿箇所の排気ダクト (1)排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管(VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管)を使用できる。 ※浴室(シャワー室、脱衣室を含む)。(2)水抜き管は(※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・)の排気ダクトには設ける。	③ 水 栓 ※給湯用水栓を除き大きめの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。	2 建物導入部配管	1 配管材料 都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP(白) 地中埋設 ※PE管 2 ガス漏れ警報 遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。 3 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																													
5 長方形ダクト	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高さ2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)	7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(ロ)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※(※厨房・湯室 ・)用の隠蔽ぺい部ダクト(仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による)	4 量 水 器 ※親メーター(※賞与品 ・) ・子メーター(※買取り ・)	3 液化石油ガスの供給権	1 配管材料 都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP(白) 地中埋設 ※PE管 2 ガス漏れ警報 遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。 3 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																													
6 円形ダクト	※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU) ・換気用耐火二層管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(・保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。	8 チャンパー (1)内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。(2)ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300・300×500 ※400×600 ・550×750 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパは雨水が滞留しないようにする。	5 量水器併	○ガス設備	1 配管材料 都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP(白) 地中埋設 ※PE管 2 ガス漏れ警報 遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。 3 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																													
7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	9 吹出口及び吸込口ボックス	6 弁 類 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。	○厨房設備	1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																													
9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製	10 ダンパー (1)防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2)ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・)	7 水 栓 柱 ※防寒コンクリート水栓柱(1200L) ・不凍給水栓	舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書																																																														
10 ダンパー	(1)防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2)ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・)	11 配管材料 (1)冷温水管 ※配管用炭素鋼管(白) ・ (2)冷却水管 ※配管用炭素鋼管(白) ・ (3)プライン管 ※配管用炭素鋼管(黒) ・ (4)冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5)ドレン管(屋外) ※配管用炭素鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管VVP ドレン管(屋内) ※保温機能付空調用ドレン管(20φAOD10φ1/10相当品) ・耐火二層管VVP(FDPS-1) ・配管用炭素鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管VVP (消防協議事項：) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6)油管 ※配管用炭素鋼管(黒) ・ (7)蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管(黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管(黒)Sch40 ・ステンレス鋼管 (8)膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりホィー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管(白) ・	8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図工4(・(a) ・(b) ・(c))	第1条 この特記仕様書は、埼玉機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるものである。 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種別及び処理量 汚泥(油分を含む汚泥) ・ m3 ・中間処理施設 市 地内、株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶解含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は溶解を含む)																																																														
11 配管材料	(1)冷温水管 ※配管用炭素鋼管(白) ・ (2)冷却水管 ※配管用炭素鋼管(白) ・ (3)プライン管 ※配管用炭素鋼管(黒) ・ (4)冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5)ドレン管(屋外) ※配管用炭素鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管VVP ドレン管(屋内) ※保温機能付空調用ドレン管(20φAOD10φ1/10相当品) ・耐火二層管VVP(FDPS-1) ・配管用炭素鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管VVP (消防協議事項：) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6)油管 ※配管用炭素鋼管(黒) ・ (7)蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管(黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管(黒)Sch40 ・ステンレス鋼管 (8)膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりホィー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管(白) ・	12 弁 類 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	9 検針方法 水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。	第3条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種別及び処理量 汚泥(油分を含む汚泥) ・ m3 ・中間処理施設 市 地内、株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶解含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は溶解を含む)																																																														
12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	13 温度計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー(往)及び各通り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・	10 水道利用加入金 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。	第4条 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならぬものとする。 第5条 濁水の処理に該当する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。																																																														
13 温度計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※冷温水ヘッダー(往)及び各通り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・	14 圧 力 計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※冷温水ヘッダー(往)及び各通り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・	11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。	第6条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。																																																														
14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※冷温水ヘッダー(往)及び各通り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・	15 瞬間流量計 瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は(※1個 個)付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに(※固定形 ・着脱形)を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに(※固定形 ・着脱形)を設ける。	12 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。	第7条 受注者は、工事検査時に manifests と原本を提示するものとする。																																																														
15 瞬間流量計	瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は(※1個 個)付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに(※固定形 ・着脱形)を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに(※固定形 ・着脱形)を設ける。	16 油面制御装置 ※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ(※固定形 ・着脱形)を設ける。制御盤には(※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御)の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	13 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 4 樹の適用 別紙樹表による。																																																															
16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ(※固定形 ・着脱形)を設ける。制御盤には(※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御)の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	17 冷却塔 ※直交流式 ・向流型 ※レシオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・補給水は、水道水とし、補給水接続部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。																																																																
17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レシオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・補給水は、水道水とし、補給水接続部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機 標準仕様書によるほか下記による。(1)圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 ・(2)冷媒 HFC(R410A、R32又はR407C) (注1)R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。(注2)R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。(3)埼玉果グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。																																																																
18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。(1)圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 ・(2)冷媒 HFC(R410A、R32又はR407C) (注1)R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。(注2)R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。(3)埼玉果グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。																																																																	
				●排水設備																																																														

富士見市総合政策部管財課						課長				副課長				主 査				監督員				主 幹				株式会社 柳井設計 一級建築士事務所				JOB MANAGER				JOB CAPTAIN				DRAFTING BY				工事名称 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)				施工年度 令和2年度				図面番号 M-02			
一級建築士 大臣登録 第85179号 柳井 博																																										図面名称 機械設備工事特記仕様書(2)				工事場所 富士見市大字鶴馬 地内				縮尺			

○ 環境配慮 (グリーン) 改修工事	1 アスベスト処理工事 一般共通事項	留意事項 1. 本工事は、アスベスト含有の恐れのある保温材、ダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。 設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。 2. アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。 3. この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事（建築工事）」（平成29年版）（以下「改修標準」という）による。																																																																																																																																			
	2 アスベスト含有分析 調査	分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1] ・ 行う（下表による） <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </tbody> </table> 採取箇所 ※ 図示 分析対象 ※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト） 分析方法 ※ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による 分析結果については、監督員に提出すること。	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																									
	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																																			
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
3 アスベスト粉じん 濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1] ・ 行う（測定名称及び測定点は下表による） 測定箇所 ※ 図示 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各処理作業室ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th>レベル1</th> <th>レベル2</th> <th>レベル3</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>※各2点・各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 2</td> <td>処理作業前</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 4</td> <td>処理作業中</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>各1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 5</td> <td>処理作業中</td> <td>負圧・粉じん装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>各1点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 6</td> <td>処理作業後</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後 (隔離シート除去前)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベル3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 8</td> <td>処理作業後 (シート除去後)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 9</td> <td>処理作業後 (シート除去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベル3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 10</td> <td>処理作業後 (1週間以降)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マップレフの直径</td> <td>25 mm</td> <td></td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> 報告書の作成（記録する項目） ア、測定結果 イ、測定時間 ウ、測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。） エ、サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量） オ、マウンティング方法 カ、顕微鏡視野面積、計数視野数 キ、測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向	適用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考	レベル1	レベル2	レベル3						○	○	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点		○	○	・	測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	各2点		○	・	・	測定 4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認	○	・	・	測定 5	処理作業中	負圧・粉じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認	○	○	・	測定 6	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		○	○	○	測定 7	処理作業後 (隔離シート除去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)		○	○	・	測定 8	処理作業後 (シート除去後)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定 9	処理作業後 (シート除去後)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)		・	・	・	測定 10	処理作業後 (1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点			測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			マップレフの直径	25 mm		47 mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l
適用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考																																																																																																																														
レベル1	レベル2	レベル3																																																																																																																																			
○	○	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点																																																																																																																															
○	○	・	測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
・	・	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	各2点																																																																																																																															
○	・	・	測定 4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認																																																																																																																														
○	・	・	測定 5	処理作業中	負圧・粉じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																														
○	○	・	測定 6	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
○	○	○	測定 7	処理作業後 (隔離シート除去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)																																																																																																																															
○	○	・	測定 8	処理作業後 (シート除去後)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
・	・	・	測定 9	処理作業後 (シート除去後)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)																																																																																																																															
・	・	・	測定 10	処理作業後 (1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5																																																																																																																																		
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																				
マップレフの直径	25 mm		47 mm																																																																																																																																		
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																		
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																																																		
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法																																																																																																																																				
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																																																																				
計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質																																																																																																																																				
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																		

4 7μm以上含有吹き付け材の撤去（レベル1）	アスベスト含有吹き付け材の除去 [9.1.3] ・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。 除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化 処理を行う吹き付けアスベストの仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示																													
5 7μm以上含有保温材等の撤去（レベル2）	アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4] ・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示																													
6 7μm以上含有成形板類の撤去（レベル3）	1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5] ・ 行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 図示</td> </tr> </tbody> </table> 2 非石綿部での切断による除去 ・ 行う 処理を行うアスベスト含有物の仕様等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）</td> <td>・</td> <td>※ 図示 ・撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有保温材付配管</td> <td>アモサイト トリセライト アグライト</td> <td>※ 図示 ・撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有配管フランジパッキン</td> <td>・</td> <td>※ 図示 ・撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 図示 ・撤去範囲すべて</td> </tr> </tbody> </table> ※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。 ＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー <pre> (1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査 ↓ 可能性あり・不明 ↓ (2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認） ↓ 可能性あり・不明 ↓ 分析を実施しない場合 → 石綿含有とみなす → 石綿使用あり・届出要件確認・届出 ↓ 分析を実施する場合 ↓ (3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など ↓ 石綿含有0.1%を超えていると判断 → 石綿使用あり・届出要件確認・届出 ↓ 石綿含有0.1%以下と判断 → 石綿使用なし </pre> ＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー 1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2） 成形された配管保温材等の非飛散性石綿含有建材を原形のまま取り外す場合には、粉じん飛散の程度が比較的低いことから、薬液等による湿潤化を基本として、次のとおり除去する。なお、劣化し粉じん飛散のおそれのある場合は、石綿含有吹き付け材除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。	材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・	・	※ 図示	材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）	・	※ 図示 ・撤去範囲すべて	・石綿含有保温材付配管	アモサイト トリセライト アグライト	※ 図示 ・撤去範囲すべて	・石綿含有配管フランジパッキン	・	※ 図示 ・撤去範囲すべて	・	・	※ 図示 ・撤去範囲すべて									
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・	・	※ 図示																													
・	・	※ 図示																													
・	・	※ 図示																													
・	・	※ 図示																													
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）	・	※ 図示 ・撤去範囲すべて																													
・石綿含有保温材付配管	アモサイト トリセライト アグライト	※ 図示 ・撤去範囲すべて																													
・石綿含有配管フランジパッキン	・	※ 図示 ・撤去範囲すべて																													
・	・	※ 図示 ・撤去範囲すべて																													

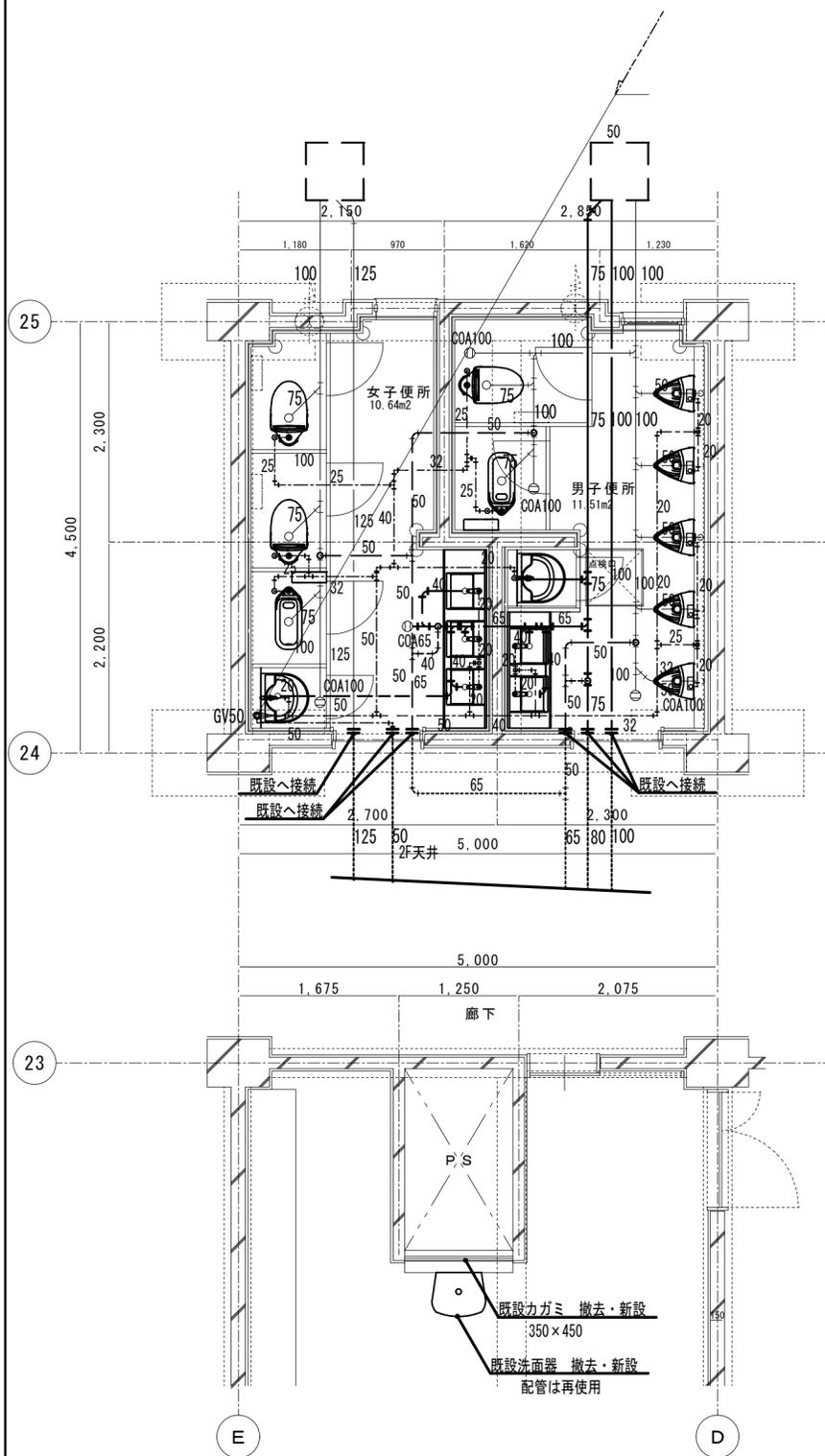
<p>＜作業フローチャート＞</p> <p>2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3） 建築物のダクトには、接合部に石綿含有物を使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではなく、特定粉じん飛散のおそれがない場合には、「特定粉じん等排出作業」には該当しない。</p> <p>＜作業フローチャート＞</p> <p>参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法 石綿含有パッキン、ダクトジョイントパッキン、ジョイントボックス、切断、紙締め、ダクト鉄板、切断</p> <p>参考図2 配管フランジパッキンの除去方法 石綿含有パッキン、切断、ガス管、切断</p> <p>3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル3一部レベル2） 直接石綿含有物に触れるわけではなく、レベル3で扱えばよいが、保温材等の劣化が見受けられる場合が多く、飛散のおそれがある。そこで、養生等について一部レベル2として取り扱う。ただし、石綿障害予防規則第5条の「作業届」が必要。</p> <p>＜作業フローチャート＞</p> <p>参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法 養生テープ、石綿含有保温材、ポリシート、養生テープ、切断、10cm程度、切断</p>	<p>設計年月日</p> <p>榎柳井設計</p> <p>富士見市 総合政策部 管財課</p> <p>課長 副課長 主幹 主任 担当</p> <p>縮尺</p> <p>工事名称 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)</p> <p>図面名称 機械設備工事特記仕様書-3</p> <p>図面番号 M-03</p>
--	---

新設器具表				二期工事管理棟便所							
器具名称	参考型番 (TOTO)	参考型番 (LIXIL)	仕様・参考型番	二期工事管理棟便所							二期 合計
				一階男子便所・他	一階女子便所	体育通路	二階男子便所	二階女子便所	三階男子便所	三階女子便所	
洋風大便器	CFS494NHNS	C-P25S	CF-T7114A, 普通便座CF49AT, CF-63HST, その他付属品一式共	1	2				2	8	13
洋風大便器	CFS494NHNS	C-P25S	CF-T7114A, ウォレット(貯湯式・音姫付), CF-63HST, その他付属品一式共				1	4			5
和風大便器	C755VU	C-852B	CF-610BUT, CF-63HST, その他付属品一式共	1	1		1	1	2	2	8
和風便器用耐火カバー	HG755E	R-40					1	1	2	2	6
小便器	UFS900JCS	U-A51AP	壁掛式、低リップタイプ、自動洗浄、その他付属品一式共	5			5		10		20
カウンター洗面器	MK50	MB500	L=2,000 洗面器x3 自動水栓 その他付属品共		1		1	1	2	2	7
カウンター洗面器	MK50	MB500	L=1,200 洗面器x2 自動水栓 その他付属品共	1							1
化粧鏡		KF-3545		2	3	1	3	3	6	6	24
洗面器	L210C		TLS01101J・付属品共			1					1
掃除用流し	SK507		T130AUN13C T9R+T8C+TK40P・付属品共	1	1		1	1	1	1	6
壁用換気扇			FE-1 30cm 1200m3/Hx31W 電気シャッター・SUSがカバー・取付枠共	1	1		1	1	2	2	8

* 型番は参考型番とし、同等品以上とする
 * 4階便所の大便器FVは低圧用FVとする。

撤去器具表			二期工事管理棟便所							
器具名称	型番	仕様・参考型番	二期工事管理棟便所							二期 合計
			一階男子便所・他	一階女子便所	体育通路	二階男子便所	二階女子便所	三階男子便所	三階女子便所	
和風大便器	C750VF	付属品一式共	1	2		1	4	2	8	18
洋風大便器	C21	付属品一式共	1	1		1	1	2	2	8
小便器	U57+FV	壁掛け式、その他付属品一式共	5			6		12		23
化粧鏡		450 x 360, 耐食鏡	2	2	1	3	3	6	6	23
洗面器		付属品一式共	1							1
ホーム水栓	F7-13		3	3		4	4	8	8	30
壁用換気扇		30cm 1200m3/Hx31W SUSがカバー共	1	1		1	1	2	2	8

* 和風大便器撤去後の穴埋め・補修は建築工事とする

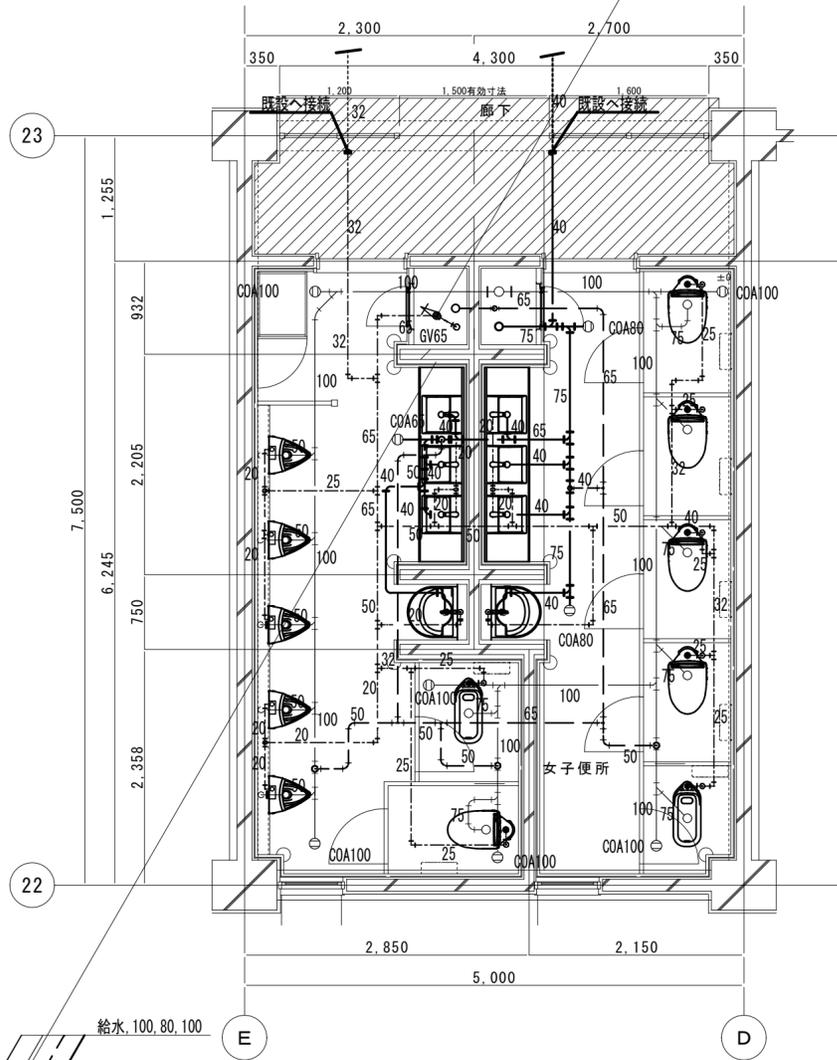


1階 改修後

平面図 S-1:50

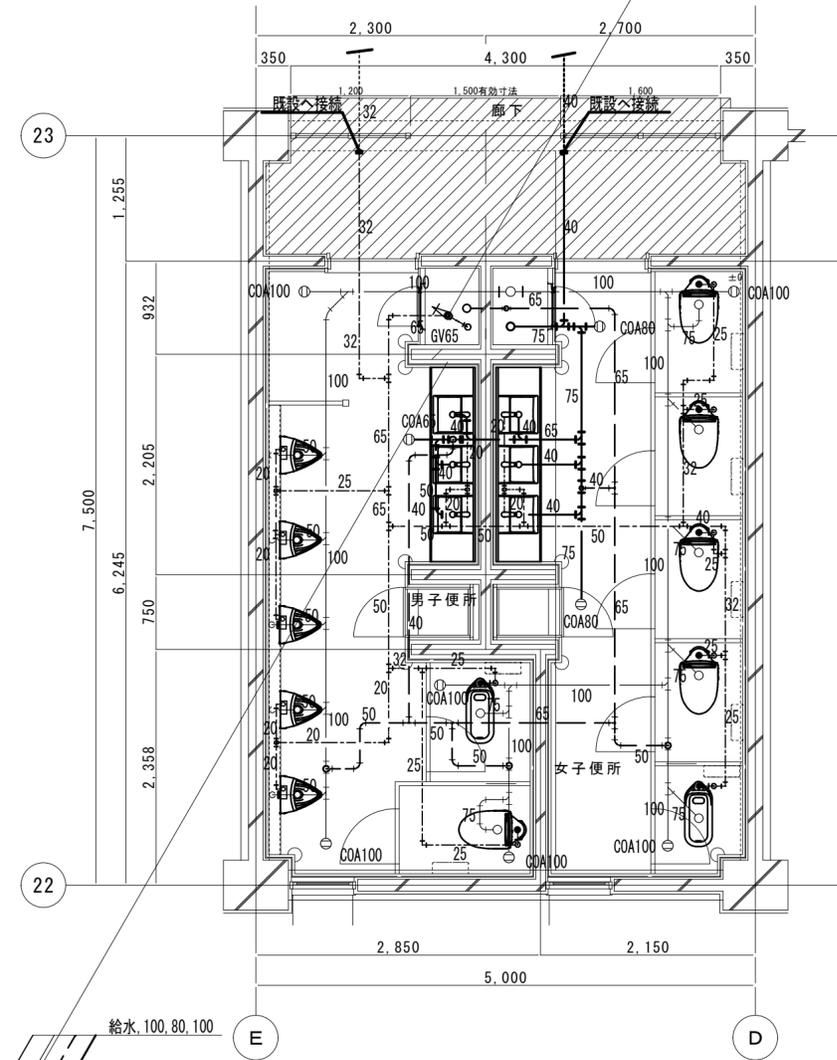
特記事項

- * 梁スリーブは既設を再使用する事。
- * 既設接続配管は既設配管口径に合わせる事。
- * 立て管は再使用する。
- * 床補修は建築工事とする。



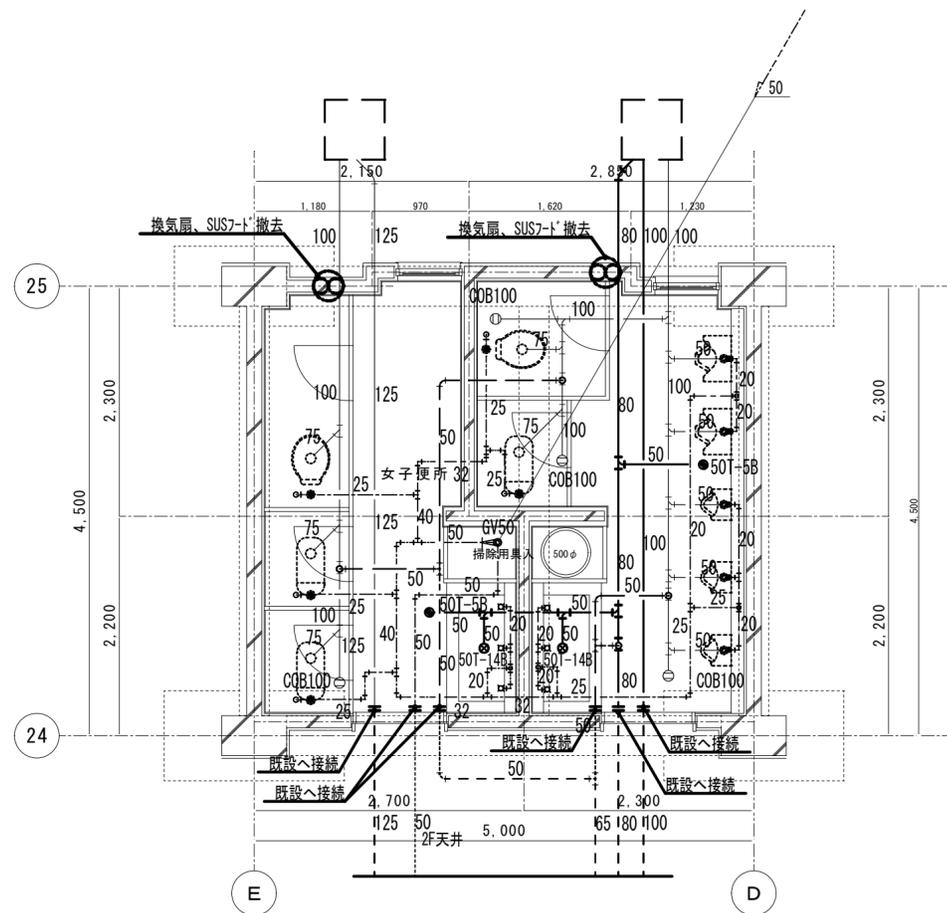
2、4階 改修後

平面図 S-1:50

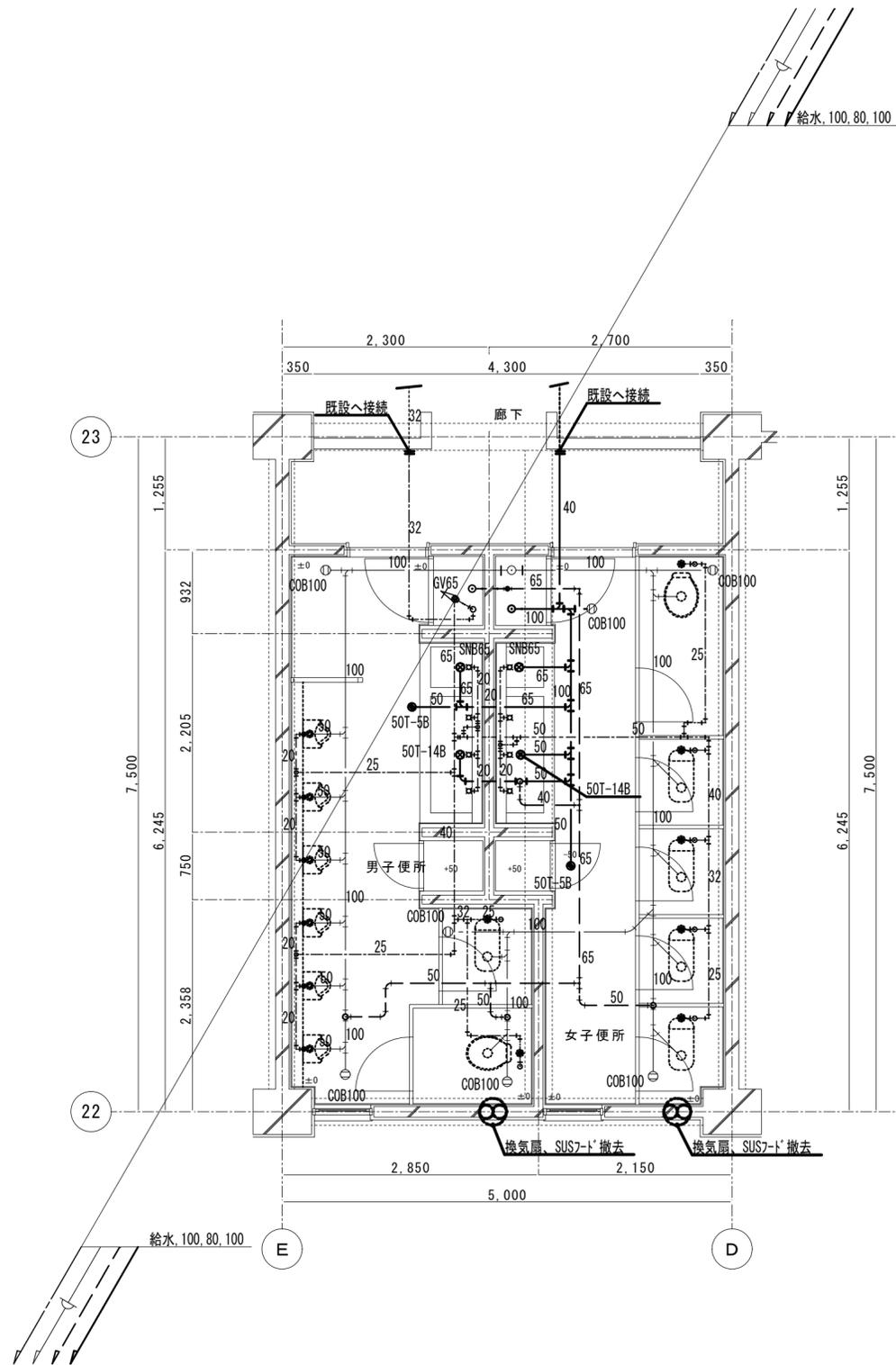


3階 改修後

平面図 S-1:50



1階 改修前
平面図 S-1:50



2-4階 改修前
平面図 S-1:50

特記事項
 * 便所内の器具・配管は全て撤去、新設とする。
 * 立て管は再使用する。